# 令和2年度

# 決 算 成 果 報 告 書 (主要な施策の成果)

桑名市

# 目 次

# 令和2年度決算成果報告書

1.	— f	设会計																	
	(1)	決 第	算 規	模 と	: 実	質	収 3	え の	状	況							•	•	1
	(2)	決		算			概			要	•	•	•		•		•	•	1
	(3)	主		な			増			減	•	•	•	•	•	•	•	•	1
	(4)	歳	入	の	ļ	款	別		•	覧	•	•	•	•	•	•	•	•	2
	(5)	歳	出	の	ļ	款	別		•	覧	•	•	•	•	•	•	•	•	3
	(6)	歳	出	Ø	性	質	別	1 3	分	類	•	•	•	•	•	•	•	•	4
2.	国	民健康	保険事	業特別	会計														
	(1)	決算	規模と	実質丩	又支、	一般	会計組	異入 金	€の∜	況	•	-	•	•	•	•	•	•	5
	(2)	決		算			概			要	•	-	•	•	•	•	•	•	5
	(3)	主		な			増			減	•	•	•	•	•	•		•	5
3.	住 <del>·</del>	宅新築	資金等	貸付事	業特別	別会計	-												
	(1)	決算:	規模と	実質丩	又支、	一般	会計組	異入 金	のり	況		•	•					•	5
	(2)	決		算			概			要									5
	(3)	主		な			増			減	•	•	•	•	•	•	•	•	5
4.	農業	業集落	排水事	業特別	会計														
	(1)	決算	規模と	実質丩	又支、	— 般	会計組	異入 金	€の∜	況		•	•					•	6
	(2)	決		算			概			要								•	6
	(3)	主		な			増			減	•	•	•	•	•	•	•	•	6
5.	介記	嬳保険	事業特	別会計	ŀ														
	(1)	決 算:	規模と	実質』	又支、	— 般	会計系	異入 金	€の∜	沅								•	6
	(2)	決		算			概			要									6
	(3)	主		な			増			減	•	•	•	•	•	•	•	•	6
6.	後期	胡高齢	者医療	事業特	<b>持別会</b> 詞	計													
	(1)	決 算 :	規模と	実質丩	又支、	— 般	会計組	異入 金	€の∜	沈									7
	(2)	決		算			概			要		-							7
	(3)	主		な			増			減									7

7.	地方独	虫立行词	政法.	人桑:	名市	総合	医	療セ	ンケ	ı —	施	設整	備等	貸	付	事	業	特	拐	归会	<b>⋛</b> ≣	+
	(1) 決	算規模	莫と	実 質	収戈	₹、.	— 舟	9 会	計綱	人	金	の状	況						•			7
	(2) 決			算	Ī			ŧ	既				要	•	•		•	•	•		•	7
	(3) 主			t	ì			ŧ	曽				減	•	•	•	•	•	•	•	•	7
8.	主要な	財政	指標等	等の	推移	;																
	(1) 経	常	収	支	比	率	(	普	通	. :	会	計	)	•	•	•	•	•	•	•	•	8
	(2) 健	全 化	上 判	断	比	率	•	資	金	不	足	比比	率	•	٠	٠	•	-	•	•	•	9 • 10
	(3) 地	方	交	付	税	ح		財	政	ナ	]	指	数	•	•	•	•	•	•	•	•	11
	(4) 基	金	0	D	年	度	:	末	Į	見	:	在	高	•	•	•				•	•	11
	(5) 市			秄	ź			Ţ	又				入	•			•	•	•	-	•	12
	(6) 地					方	ī						債	•	•	•	•	•	•	•	•	13
9.	市の債	責務残済	高(:	地方 <sup>。</sup>	債と	債務	負:	担行	為)													
	(1) 地	方債	残 高	포 3	年	度 以	降	支上	出 予	定	債	務負	担	•	•	•	•	•	•	•	•	14
	(2) 市	民	_	人	当	た	IJ	Ø	債		務	残	高	•	•	•	•	•	•	•		14
10.	地方	消費稅	交付	金か	で充っ	てられ	れる	☆社会	会保	障抗	包卸	きに要	ます .	る糸	圣耆	責	-	•	•	•	•	15
11.	決算	成果報	告書	<u>t</u>																		
	主	な	決	算	成	果	報	告	事	1	業	目	次	•	•	•	•	•	•	•	• 1	6 • 17
	決	<b>9</b>	算	成	<u>.</u>	果		幸	艮		告		書	•	•	•	•	•	•	•	•	18

# 1 一般会計

#### (1) 決算規模と実質収支の状況

(単位:千円)

	区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引額	翌年度へ繰り 越すべき財源	実質収支額
年度・比較	較	(A)	(B)	(A) - (B) = (C)	(D)	(C) - (D) = (E)
令 和 2	2 年 度	72, 695, 685	70, 056, 169	2, 639, 516	433, 817	2, 205, 699
令 和 テ	元 年 度	53, 647, 388	51, 418, 584	2, 228, 804	477, 522	1, 751, 282
増源	或 額	19, 048, 297	18, 637, 585	410, 712	<b>▲</b> 43, 705	454, 417
増源	戓 率	35. 5%	36. 2%	18. <b>4</b> %	▲9. 2%	25. 9%

#### (2) 決算概要

令和2年度決算は、新型コロナウイルス感染症の対策を機動的かつ重点的に取り組んだ結果、歳入・歳出総額は、平成16年度の市町合併による新市発足以来、過去最高となった。

歳入については、法人市民税が減少した一方で個人市民税及び固定資産税が増加した結果、市税は前年度から 1億204万9千円増加し、224億4、292万2千円となった。あわせて、令和元年10月より消費税率が引き上げられ たことにより、地方消費税交付金は前年度から5億5、847万2千円増加し、30億5、805万1千円となった。一方、 地方交付税算定の特例である合併算定替が令和元年度で終了し、一本算定へ移行したこと等により、地方交付税 が前年度から4億6、871万8千円減少し、44億7、203万2千円となった。また、新型コロナウイルス感染症対策と して、特別定額給付金事業補助金や、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などにより、国庫支出 金は前年度から166億9、448万9千円増加し、240億5、117万円となった。その他、新型コロナウイルス感染症の影響による減収補てん債の発行などに伴い、歳入総額は、前年度に比べ190億4、829万7千円、35.5%増加し、726 億9、568万5千円となった。

歳出については、特別定額給付金や新型コロナウイルス感染症対策事業費が皆増したこと等により、補助費等が前年度より136億5,646万6千円増加となったほか、会計年度任用職員制度の導入により、人件費が10億2,456万7千円増加した。また、昨年8月に桑名駅自由通路と橋上駅舎が供用開始となった桑名駅自由通路整備事業費が、12億1,088万6千円増加したこと等により、投資的経費は、前年度比で9億9,903万5千円増加した。その他、新型コロナウイルス感染症への対策事業の財源確保のための新型コロナウイルス感染症への対策基金の創設や巣ごもり需要によってふるさと応援寄附金が増えたことによるふるさと応援基金への積立金が増加したことで、積立金が17億7,846万6千円増加となった。結果、歳出総額は、前年度に比べ186億2,758万5千円、36,2%増加し、700億4,616万9千円となった。

基金については、財政調整基金が前年度末から2億4,516万6千円減少し、43億4,471万9千円となったが、一方で特定目的基金が13億1,258万6千円増加し、68億8,863万5千円となったことにより、令和2年度末の現在高は、前年度末から10億6,993万5千円増加し、116億8,931万8千円となった。

令和2年度の決算については、市内における企業立地の動向等により堅調な市税収入の状況や、これまでの行政改革の取り組みの成果により、新型コロナウイルス感染症による影響を受けつつも、特に経常収支比率では、平成16年度の市町合併による新市発足以来、最も改善を示す数値となった。

本市では、「防災力の強化」「スマート自治体への転換」「安定した財政基盤の確立」を3本の柱に、「誰ー 人取り残さない持続可能なまちづくり」を進めていくとともに、社会的な課題となっている「デジタル社会」や 「グリーン社会」にもしっかりと対応した取り組みを進めていく必要がある。

(3)	主な増減				(単位∶千円)
0	歳入	[増減額]	(前年度)		(本年度)
	特別定額給付金事業補助金	14, 188, 714	0	$\rightarrow$	14, 188, 714
	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	1, 224, 009	0	$\rightarrow$	1, 224, 009
	地方消費税交付金	558, 472	2, 499, 579	$\rightarrow$	3, 058, 051
•	市税 法人税割	<b>▲</b> 242, 792	750, 578	$\rightarrow$	507, 786
	普通交付税	<b>▲</b> 319, 459	4, 021, 588	$\rightarrow$	3, 702, 129
•	学校教育施設等整備事業債	<b>▲</b> 633, 000	826, 400	$\rightarrow$	193, 400
0	歳出	[増減額]	(前年度)		(本年度)
	特別定額給付金	14, 140, 400	0	$\rightarrow$	14, 140, 400
	桑名駅自由通路整備事業費	1, 210, 886	2, 039, 101	$\rightarrow$	3, 249, 987
	新型コロナウイルス感染症緊急対策基金	1, 163, 247	0	$\rightarrow$	1, 163, 247
	南医療センター解体撤去事業費	<b>▲</b> 309, 624	311, 780	$\rightarrow$	2, 156
•	桑名広域清掃事業組合負担金	<b>▲</b> 846, 193	1, 672, 561	$\rightarrow$	826, 368
•	空調設備整備事業費	<b>▲</b> 1, 059, 902	1, 075, 680	$\rightarrow$	15, 778

# (4) 歳入の款別一覧

( <del>+</del>   <del>+</del>   1   1   1   1   1   1   1   1   1
---

	年度・比較	令和2年度	構成比	令 和 元 年 度	構成比	(単位:十円) 増 減 額	増 減 率
区分	科目	(A)		(B)		(A) – (B)	
	1 市税	22, 442, 922	30. 9%	22, 340, 873	41.6%	102, 049	0. 5%
	13 分担金及び 負担金	1, 498, 024	2. 1%	1, 685, 488	3. 1%	<b>1</b> 87, 464	<b>▲</b> 11. 1%
自、	14 使用料及び 手数料	735, 211	1. 0%	847, 515	1. 6%	<b>▲</b> 112, 304	<b>▲</b> 13. 3%
主	17 財産収入	154, 517	0. 2%	175, 428	0. 3%	<b>▲</b> 20, 911	<b>▲</b> 11.9%
財	18 寄附金	687, 296	0. 9%	426, 833	0.8%	260, 463	61.0%
源	19 繰入金	2, 215, 027	3.0%	1, 289, 079	2. 4%	925, 948	71. 8%
<i>///</i> /\	20 繰越金	2, 228, 810	3. 1%	1, 805, 858	3. 4%	422, 952	23. 4%
	21 諸収入	516, 651	0. 7%	567, 353	1. 1%	<b>▲</b> 50, 702	▲8. 9%
	計	30, 478, 458	41.9%	29, 138, 427	54. 3%	1, 340, 031	4. 6%
	2 地方譲与税	414, 220	0. 6%	411, 635	0.8%	2, 585	0. 6%
	3 利子割交付金	25, 700	0.0%	24, 242	0.0%	1, <b>4</b> 58	6. 0%
	4 配当割交付金	119, 490	0. 2%	124, 119	0. 2%	<b>▲</b> 4, 629	▲3. 7%
	5 株式等譲渡 所得割交付金	130, 030	0. 2%	68, 065	0. 1%	61, 965	91. 0%
	6 法人事業税 交付金	113, 124	0. 2%	0	0. 0%	113, 124	皆増
	7 地方消費税 交付金	3, 058, 051	4. 2%	2, 499, 579	4. 7%	558, 472	22. 3%
依	8 ゴルフ場 利用税交付金	38, 671	0. 1%	44, 453	0. 1%	▲ 5, 782	<b>▲</b> 13. 0%
存品	9 環境性能割 交付金	47, 607	0. 1%	21, 773	0. 0%	25, 834	118. 7%
財源	10 地方特例 交付金	153, 483	0. 2%	369, 803	0. 7%	<b>▲</b> 216, 320	▲58.5%
<i>///</i> /\	11 地方交付税	4, 472, 032	6. 1%	4, 940, 750	9. 2%	<b>4</b> 468, 718	<b>▲</b> 9. 5%
	12 交通安全対策 特別交付金	16, 352	0. 0%	15, 141	O. 0%	1, 211	8. 0%
	15 国庫支出金	24, 051, 170	33. 1%	7, 356, 681	13. 7%	16, 694, 489	226. 9%
	16 県支出金	3, 371, 999	4. 6%	3, 244, 180	6. 1%	127, 819	3. 9%
	22 市債	6, 205, 271	8. 5%	5, 301, 200	9. 9%	904, 071	17. 1%
	24 自動車取得税 交付金	27	0. 0%	87, 340	0. 2%	▲ 87, 313	<b>▲</b> 100.0%
	計	42, 217, 227	58. 1%	24, 508, 961	45. 7%	17, 708, 266	72. 3%
	合計	72, 695, 685	100.0%	53, 647, 388	100. 0%	19, 048, 297	35. 5%

<主な増減> (単位:千円)

[増減額]	(前年度)		(本年度)
760, 376	363, 689	$\rightarrow$	1, 124, 065
422, 952	1, 805, 858	$\rightarrow$	2, 228, 810
<b>▲</b> 242, 792	750, 578	$\rightarrow$	507, 786
<b>▲</b> 142, 243	274, 699	$\rightarrow$	132, 456
[増減額]	(前年度)		(本年度)
14, 188, 714	0	$\rightarrow$	14, 188, 714
1, 224, 009	0	$\rightarrow$	1, 224, 009
<b>▲</b> 633, 000	826, 400	$\rightarrow$	193, 400
<b>▲</b> 319, 459	4, 021, 588	$\rightarrow$	3, 702, 129
	760, 376 422, 952 ▲ 242, 792 ▲ 142, 243 [增減額] 14, 188, 714 1, 224, 009 ▲ 633, 000	760, 376	760, 376

# (5) 歳出の款別一覧

					(単位:千円)	
年度・比較	令和2年度	構成比	令 和 元 年 度	構成比	増減額	増減率
区分・科目	(A)		(B)		(A) – (B)	
1 議会費	327, 367	0. 5%	344, 201	0. 7%	<b>▲</b> 16, 834	<b>▲</b> 4. 9%
2 総務費	22, 347, 656	31. 9%	5, 828, 110	11. 3%	16, 519, 546	283. 4%
3 民生費	18, 624, 946	26.6%	17, 717, 648	34. 5%	907, 298	5. 1%
4 衛生費	3, 905, 515	5.6%	4, 695, 197	9.1%	<b>▲</b> 789, 682	<b>▲</b> 16.8%
5 労働費	45, 237	0.1%	90, 600	0. 2%	<b>▲</b> 45, 363	<b>▲</b> 50. 1%
6 農林水産業費	793, 375	1. 1%	711, 415	1.4%	81, 960	11. 5%
7 商工費	739, 133	1. 1%	219, 001	0.4%	520, 132	237. 5%
8 土木費	7, 291, 867	10. 4%	5, 505, 217	10.7%	1, 786, 650	32. 5%
9 消防費	3, 279, 811	4. 7%	3, 086, 707	6.0%	193, 104	6. 3%
10 教育費	4, 727, 898	6. 7%	5, 271, 003	10. 2%	<b>▲</b> 543, 105	<b>▲</b> 10. 3%
11 公債費	5, 869, 010	8.4%	6, 109, 987	11.9%	<b>▲</b> 240, 977	<b>▲</b> 3. 9%
12 諸支出金	2, 000, 294	2.8%	1, 701, 840	3.3%	298, 454	17. 5%
14 災害復旧費	104, 060	0.1%	137, 658	0.3%	▲ 33, 598	<b>▲</b> 24. 4%
計	70, 056, 169	100.0%	51, 418, 584	100.0%	18, 637, 585	36.2%

2.3. L. 134.3.6.5				/W//
<主な増減>	F 134 5-8-4-7-3	/ <b>*</b>		(単位:千円)
〇 総務費	[増減額]	(前年度)		(本年度)
- 特別定額給付金	14, 140, 400	0	$\rightarrow$	14, 140, 400
- 新型コロナウイルス感染症緊急対策基金	1, 163, 247	0	$\rightarrow$	1, 163, 247
• 公共施設整備基金	<b>▲</b> 75, 578	108, 524	$\rightarrow$	32, 946
〇 民生費	[増減額]	(前年度)		(本年度)
• 多世代共生型施設整備事業費	279, 255	134	$\rightarrow$	279, 389
• 施設型給付費	237, 410	2, 051, 882	$\rightarrow$	2, 289, 292
• 保育管理費	<b>▲</b> 195, 403	195, 403	$\rightarrow$	0
				0
〇 衛生費	[増減額]	(前年度)		(本年度)
• 成人予防接種事業費	57, 161	81, 775	$\rightarrow$	138, 936
<ul><li>南医療センター解体撤去事業費</li></ul>	<b>▲</b> 309, 624	311, 780	$\rightarrow$	2, 156
• 桑名広域清掃事業組合負担金	<b>▲</b> 846, 193	1, 672, 561	$\rightarrow$	826, 368
〇 商工費	[増減額]	(前年度)		(本年度)
<ul><li> 商工費</li><li> 新型コロナウイルス感染症対策事業費</li></ul>	L増減額」 545,849	(前年度) 0	$\rightarrow$	(本年度) 545,849
			$\overset{\rightarrow}{\rightarrow}$	
<ul><li>新型コロナウイルス感染症対策事業費</li></ul>	545, 849 ▲ 8, 372	0	→ →	545, 849
<ul><li>新型コロナウイルス感染症対策事業費</li><li>企業等誘致奨励金</li></ul>	545, 849 ▲ 8, 372 [増減額]	0 29, 400	→ →	545, 849 21, 028
<ul><li>新型コロナウイルス感染症対策事業費</li><li>企業等誘致奨励金</li><li>土木費</li></ul>	545, 849 ▲ 8, 372	0 29, 400 (前年度)	$\begin{array}{c} \rightarrow \\ \rightarrow \\ \rightarrow \end{array}$	545, 849 21, 028 (本年度)
<ul><li>新型コロナウイルス感染症対策事業費</li><li>企業等誘致奨励金</li><li>土木費</li><li>桑名駅自由通路整備事業費</li></ul>	545, 849 ▲ 8, 372 [增減額] 1, 210, 886	0 29, 400 (前年度) 2, 039, 101	→ → → →	545, 849 21, 028 (本年度) 3, 249, 987
<ul><li>新型コロナウイルス感染症対策事業費</li><li>企業等誘致奨励金</li><li>土木費</li><li>桑名駅自由通路整備事業費</li><li>土地区画整備事業費</li></ul>	545, 849 ▲ 8, 372 [增減額] 1, 210, 886 384, 617	0 29, 400 (前年度) 2, 039, 101 1, 545, 396	→ → → →	545, 849 21, 028 (本年度) 3, 249, 987 1, 930, 013
<ul><li>新型コロナウイルス感染症対策事業費</li><li>企業等誘致奨励金</li><li>一土木費</li><li>桑名駅自由通路整備事業費</li><li>土地区画整備事業費</li><li>急傾斜地崩壊対策事業</li></ul>	545, 849 ▲ 8, 372 [增減額] 1, 210, 886 384, 617 ▲ 39, 068	0 29, 400 (前年度) 2, 039, 101 1, 545, 396 59, 068	→ → → → → → →	545, 849 21, 028 (本年度) 3, 249, 987 1, 930, 013 20, 000
<ul> <li>新型コロナウイルス感染症対策事業費</li> <li>企業等誘致奨励金</li> <li>土木費</li> <li>桑名駅自由通路整備事業費</li> <li>土地区画整備事業費</li> <li>急傾斜地崩壊対策事業</li> <li>消防費</li> </ul>	545, 849 ▲ 8, 372 [増減額] 1, 210, 886 384, 617 ▲ 39, 068 [増減額]	0 29, 400 (前年度) 2, 039, 101 1, 545, 396 59, 068	→ → → → → →	545, 849 21, 028 (本年度) 3, 249, 987 1, 930, 013 20, 000 (本年度)
<ul> <li>新型コロナウイルス感染症対策事業費</li> <li>企業等誘致奨励金</li> <li>土木費</li> <li>桑名駅自由通路整備事業費</li> <li>土地区画整備事業費</li> <li>急傾斜地崩壊対策事業</li> <li>消防費</li> <li>車両購入費</li> </ul>	545, 849 ▲ 8, 372  [增減額] 1, 210, 886 384, 617 ▲ 39, 068  [增減額] 269, 320	0 29, 400 (前年度) 2, 039, 101 1, 545, 396 59, 068 (前年度) 46, 218	→ → → → → →	545, 849 21, 028 (本年度) 3, 249, 987 1, 930, 013 20, 000 (本年度) 315, 538
<ul> <li>新型コロナウイルス感染症対策事業費</li> <li>企業等誘致奨励金</li> <li>土木費</li> <li>桑名駅自由通路整備事業費</li> <li>土地区画整備事業費</li> <li>急傾斜地崩壊対策事業</li> <li>消防費</li> <li>車両購入費</li> <li>防災行政無線整備費</li> </ul>	545, 849 ▲ 8, 372  [增減額] 1, 210, 886 384, 617 ▲ 39, 068  [增減額] 269, 320 ▲ 54, 470  [增減額]	0 29, 400 (前年度) 2, 039, 101 1, 545, 396 59, 068 (前年度) 46, 218 54, 470		545, 849 21, 028 (本年度) 3, 249, 987 1, 930, 013 20, 000 (本年度) 315, 538 0
<ul> <li>新型コロナウイルス感染症対策事業費</li> <li>企業等誘致奨励金</li> <li>土木費</li> <li>桑名駅自由通路整備事業費</li> <li>土地区画整備事業費</li> <li>急傾斜地崩壊対策事業</li> <li>消防費</li> <li>車両購入費</li> <li>防災行政無線整備費</li> <li>教育費</li> </ul>	545, 849 ▲ 8, 372  [增減額] 1, 210, 886 384, 617 ▲ 39, 068  [增減額] 269, 320 ▲ 54, 470	0 29, 400 (前年度) 2, 039, 101 1, 545, 396 59, 068 (前年度) 46, 218 54, 470 (前年度)	→ → → → → → →	545, 849 21, 028 (本年度) 3, 249, 987 1, 930, 013 20, 000 (本年度) 315, 538 0

# (6) 歳出の性質別分類

(単位:千円)

年度·比較	令和2年度	構成比	令 和 元 年 度	構成比	増減額	増 減 率
区分・科目	(A)		(B)		(A) – (B)	
1 人件費	9, 681, 858	13.8%	8, 647, 291	16. 8%	1, 034, 567	12.0%
2 物件費	7, 822, 848	11. 2%	7, 447, 716	14. 5%	375, 132	5. 0%
3 維持補修費	507, 915	0. 7%	494, 266	1. 0%	13, 649	2. 8%
4 扶助費	10, 691, 093	15.3%	9, 845, 627	19. 1%	845, 466	8. 6%
5 補助費等	20, 624, 304	29.4%	6, 967, 838	13. 6%	13, 656, 466	196.0%
6 投資的経費	7, 470, 629	10. 7%	6, 471, 594	12. 6%	999, 035	15. 4%
7 公債費	5, 895, 200	8.4%	6, 141, 820	11. 9%	<b>▲</b> 246, 620	<b>▲</b> 4.0%
8 積立金	3, 282, 222	4. 7%	1, 503, 756	2. 9%	1, 778, 466	118. 3%
9 投資及び出資金	0	0.0%	0	0. 0%	0	0.0%
10 貸付金	55, 000	0.1%	100, 000	0. 2%	<b>▲</b> 45, 000	<b>▲</b> 45. 0%
11 繰出金	4, 025, 100	5. 7%	3, 798, 676	7. 4%	226, 424	6.0%
計	70, 056, 169	100.0%	51, 418, 584	100.0%	18, 637, 585	36. 2%

<sup>※</sup>下記の事業費は、中事業費全体の金額ではなく、各性質ごとの金額を記載してあります。

<主な増減> (単位:千円)

	F1V + 0 ++= 3	(N = ±)		
〇人件費	[増減額]	(前年度)		(本年度)
- 会計年度任用職員給	1, 121, 640	0	$\rightarrow$	1, 121, 640
- 退職手当	66, 818	392, 120	$\rightarrow$	458, 938
- 一般職給	<b>▲</b> 261, 222	7, 538, 276	$\rightarrow$	7, 277, 054
〇 扶助費	[増減額]	(前年度)		(本年度)
• 施設型給付費	918, 018	1, 362, 147	$\rightarrow$	2, 280, 165
• 訓練等給付費	98, 395	651, 862	$\rightarrow$	750, 257
• 児童扶養手当給付費	<b>▲</b> 109, 028	485, 175	$\rightarrow$	376, 147
〇 補助費等	「増減額]	(前年度)		(本年度)
• 特別定額給付金	14, 140, 400	0	$\rightarrow$	14, 140, 400
<ul><li>新型コロナウイルス感染症対策事業費</li></ul>	363, 798	0	$\rightarrow$	363, 798
• 桑名広域清掃事業組合負担金	<b>A</b> 846, 193	1, 672, 561	$\rightarrow$	826, 368
〇 投資的経費	[増減額]	(前年度)		(本年度)
- 桑名駅自由通路整備事業費	1, 210, 886	2, 039, 101	$\rightarrow$	3, 249, 987
<ul><li>土地区画整備事業費</li></ul>	384, 617	1, 545, 396	$\rightarrow$	1, 930, 013
• 空調設備整備事業費	<b>1</b> , 059, 902	1, 075, 680	$\rightarrow$	15, 778
〇 積立金	[増減額]	(前年度)		(本年度)
- 新型コロナウイルス感染症緊急対策基金	1, 163, 247	0	$\rightarrow$	1, 163, 247
- ふるさと応援基金	214, 761	426, 201	$\rightarrow$	640, 962
• 公共施設整備基金	<b>▲</b> 75, 578	108, 524	$\rightarrow$	32, 946
〇 繰出金	[増減額]	(前年度)		(本年度)
<ul><li>後期高齢者医療事業特別会計(繰出金)</li></ul>	148, 712	1, 420, 835	$\rightarrow$	1, 569, 547
- 介護保険事業特別会計(繰出金)	80, 569	1, 490, 633	$\rightarrow$	1, 571, 202

# 2 国民健康保険事業特別会計

# (1) 決算規模と実質収支、一般会計繰入金の状況

(単位:千円)

		区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引額	翌年度へ繰り 越すべき財源	実質収支額	一般会計 繰入金
年度•.	比較		(A)	(B)	(A) - (B) = (C)	(D)	(C) - (D) = (E)	株八亚
令 和	2	年 度	12, 654, 229	12, 576, 836	77, 393	0	77, 393	775, 631
令 和	元	年 度	12, 972, 024	12, 920, 589	51, 435	0	51, 435	783, 417
増	減	額	<b>▲</b> 317, 795	<b>▲</b> 343, 753	25, 958	0	25, 958	<b>▲</b> 7, 786
増	減	率	▲2.4%	<b>▲</b> 2. 7%	50. 5%	_	50. 5%	<b>▲</b> 1.0%

#### (2) 決算概要

令和2年度決算は、歳入が126億5,422万9千円、歳出が125億7,683万6千円であり、前年度に比べ歳入で2.4%、歳出で2.7%減少した。国民健康保険制度の大幅な改正から3年が経過し、歳入・歳出ともに改正後初めての減少となった。主な要因は、歳入では、国民健康保険事業費の総額が減少したことによる県支出金が前年度に対し、1億5,089万4千円減少し、歳出では、国民健康保険事業費納付金が前年度に対し、2億818万8千円減少したことによるものである。

(3)	主な増減				(単位:千円)
	歳入 県支出金 繰入金 国民健康保険税	[増減額] ▲ 150,894 千円 ▲ 127,786 千円 ▲ 46,204 千円	(前年度) 8,923,411 1,163,417 2,740,549	$\begin{array}{c} \rightarrow \\ \rightarrow \\ \rightarrow \\ \rightarrow \end{array}$	(本年度) 8, 772, 517 1, 035, 631 2, 694, 345
	歳出 国民健康保険事業費納付金 保険給付費 総務費	[増減額] ▲ 208,188 千円 ▲ 146,183 千円 8,245 千円	(前年度) 3, 825, 555 8, 730, 212 152, 679	$\begin{array}{c} \rightarrow \\ \rightarrow \\ \rightarrow \\ \rightarrow \end{array}$	(本年度) 3,617,367 8,584,029 160,924

# 3 住宅新築資金等貸付事業特別会計

# (1) 決算規模と実質収支、一般会計繰入金の状況

(単位:千円)

年度・比	区	分 歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	歳入歳出 差引額 (A)-(B)=(C)	翌年度へ繰り 越すべき財源 (D)	実質収支額 (C)-(D)=(E)	一般会計 繰入金
令 和	2 年 度	7				11, 649	
令 和	元 年 度	₹ 15, 502	10, 926	4, 576	0	4, 576	0
増	減 額	1, 929	▲ 5, 144	7, 073	0	7, 073	0
増	減 率	12.4%	<b>▲</b> 47. 1%	154. 6%	_	154.6%	_

### (2) 決算概要

令和2年度決算は、前年度と比べて、歳入が増加し、歳出が減少したため、実質収支額は増加となった。 歳入については、定期償還等による完済や、高齢による収入低減などの理由で、少額分納へ変更する償還 者の増加に伴い、貸付事業収入は例年と同様に減少したものの、前年度からの繰越金(実質収支分)が生じ たため、増加となった。歳出については、当該事業の原資たる公的資金(起債) 償還額の逓減により、減少と なった。

(3) 主な増減				(単位:千円)
〇 歳入	[増減額]	(前年度)		(本年度)
<ul><li>繰越金</li></ul>	4,576 千円	0	$\rightarrow$	4, 576
• 貸付事業収入	▲ 2,648 千円	15, 487	$\rightarrow$	12, 839
〇 歳出	[増減額]	(前年度)		(本年度)
• 地方債元金償還金	▲ 4,441 千円	9, 008	$\rightarrow$	4, 567
• 一般管理事務費	▲ 449 千円	1, 470	$\rightarrow$	1, 021

# 4 農業集落排水事業特別会計

(1) 決算規模と実質収支、一般会計繰入金の状況

(単位:千円)

			_	区	分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引額	翌年度へ繰り 越すべき財源	実質収支額	一般会計 繰入金
L	年度	・比輔	賋	_		(A)	(B)	(A) - (B) = (C)	(D)	(C) - (D) = (E)	株八亚
	令 乖	□ 2	2	年	度	150, 597	150, 597	0	0	0	108, 688
	令 乖	ロ <i>テ</i>	T	年	度	146, 165	146, 165	0	0	0	103, 771
	増	浉	戓	客	Ą	4, 432	4, 432	0	0	0	4, 917
	増	浉	戓	격	<u>k</u>	3.0%	3. 0%	_	_	_	4. 7%

#### (2) 決算概要

令和2年度決算は歳入、歳出ともに1億5,059万7千円で前年度に比べ3.0%増加した。

主な要因としては、令和元年度消費税確定申告を行ったことにより中間申告回数・中間納付税額が増え、その増額分に伴い、一般会計繰入金も増加したことが挙げられる。

他要因では、歳入に関しては、基金からの繰入を行ったこと、歳出に関しては、施設維持管理費において 修繕箇所が増加したことが挙げられる。

(3)	主な増減	(単位:千円)

〇 歳入	[増減額]	(前年度)		(本年度)
<ul><li>一般会計繰入金</li></ul>	4,917 千円	103, 771	$\rightarrow$	108, 688
- 農業集落排水施設使用料	▲ 1,441 千円	42, 208	$\rightarrow$	40, 767
<ul><li>農業集落排水整備支援事業基金繰入金</li></ul>	823 千円	0	$\rightarrow$	823

〇 歳出 [増減額] (前年度) (本年度) 2,888 千円 6, 645 一般管理事務費 9.533 施設維持管理費 1,972 千円 52, 457 54, 429 • 地方債元金償還金 71, 915 73, 806 1,891 千円

# 5 介護保険事業特別会計

# (1) 決算規模と実質収支、一般会計繰入金の状況

(単位:千円)

	/	区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引額	翌年度へ繰り 越すべき財源	実質収支額	一般会計 繰入金
年度	・比較		(A)	(B)	(A) - (B) = (C)	(D)	(C)-(D)=(E)	が未入立
令 禾	2	年 度	10, 817, 793	10, 471, 994	345, 799	0	345, 799	1, 571, 202
令 乖	10元	年 度	10, 291, 559	10, 064, 986	226, 573	0	226, 573	1, 490, 633
増	減	額	526, 234	407, 008	119, 226	0	119, 226	80, 569
増	減	率	5.1%	4. 0%	52. 6%	_	52. 6%	5. 4%

### (2) 決算概要

令和2年度決算は、歳入が108億1,779万3千円、歳出が104億7,199万4千円であり、前年度に比べ歳入が5.1%、歳出が4.0%増加した。高齢化に伴う被保険者数及び要介護等認定者数の増加等により介護給付にかかる費用が増加していることから、歳入では、前年度に対し介護給付費負担金(国)が1億4,663万2千円の増加、支払基金交付金が1億470万7千円の増加となり、歳出では、前年度に対し介護サービス等諸費が3億2,086万8千円の増加、高額介護サービス等費が2,574万1千円の増加となった。

(3) 主な増減				(単位:千円)
〇 歳入	[増減額]	(前年度)		(本年度)
<ul><li>介護給付費負担金(国)</li></ul>	146, 632 千円	1, 625, 237	$\rightarrow$	1, 771, 869
• 支払基金交付金	104, 707 千円	2, 529, 996	$\rightarrow$	2, 634, 703
<ul><li>繰入金</li></ul>	80, 569 千円	1, 620, 633	$\rightarrow$	1, 701, 202
〇 歳出	「변減額」	(前年度)		(太年度)

・介護サービス等諸費
 ・高額介護サービス等費
 ・介護予防サービス等諸費
 220,868 千円
 25,741 千円
 221,175
 246,916
 132,704
 152,793

# 6 後期高齢者医療事業特別会計

### (1) 決算規模と実質収支、一般会計繰入金の状況

(単位:千円)

区分	歳入総額	歳出総額	歳 入 歳 出差 引 額	翌年度へ繰り 越すべき財源	実質収支額	一般会計 繰入金
年度・比較	(A)	(B)	(A) - (B) = (C)	(D)	(C)-(D)=(E)	(株/人立
令和2年度	3, 204, 117	3, 199, 828	4, 289	0	4, 289	1, 581, 988
令 和 元 年 度	3, 039, 819	3, 035, 311	4, 508	0	4, 508	1, 433, 629
増 減 額	164, 298	164, 517	▲ 219	0	▲ 219	148, 359
増 減 率	5.4%	5. 4%	<b>▲</b> 4. 9%	_	<b>▲</b> 4. 9%	10. 3%

#### (2) 決算概要

令和2年度決算は、歳入が32億411万7千円、歳出が31億9,982万8千円であり、前年度に比べ歳入、歳出ともに5.4%増加した。高齢者数の増加に伴って、後期高齢者医療保険の被保険者数が増加し、歳入では、繰 入金が前年度に対し、1億4,835万9千円増加し、また後期高齢者医療保険料が前年度に対し、8,151万7千 円増加した。歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金が前年度に対し、1億6,245万6千円増加し、また事 務処理システム経費を含む総務費が前年度に対し、219万5千円増加した。

(3) 主な増減 (単位:千円)

○ 歳入	[増減額]	(前年度)	$\begin{array}{c} \rightarrow \\ \rightarrow \end{array}$	(本年度)
・繰入金	148, 359 千円	1, 433, 629		1, 581, 988
・後期高齢者医療保険料	81, 517 千円	1, 526, 658		1, 608, 175
<ul><li>○ 歳出</li><li>・後期高齢者医療広域連合納付金</li><li>・総務費</li></ul>	[増減額] 162, 456 千円 2, 195 千円	(前年度) 3,000,000 34,270	$\begin{array}{c} \rightarrow \\ \rightarrow \end{array}$	(本年度) 3, 162, 456 36, 465

# │7│ 地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計

### (1) 決算規模と実質収支、一般会計繰入金の状況

(単位:千円)

	_	区	分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引額	翌年度へ繰り 越すべき財源	実質収支額	一般会計 繰入金
年度・」	比較	_		(A)	(B)	(A) - (B) = (C)	(D)	(C)-(D)=(E)	(株)へ並
令 和	2	年	度	1, 808, 632	1, 808, 632	0	0	0	32
令 和	元	年	度	896, 728	896, 728	0	0	0	20
増	減	割	Ą	911, 904	911, 904	0	0	0	12
増	減	玤	<u> </u>	101. 7%	101. 7%	_	_	_	60.0%

### (2) 決算概要

歳入は、新型コロナウイルス感染症の影響による資金不足を補填するための特別減収対策企業債を借り入れたことにより病院債が増加し、前年度比101.7%、9億1,190万4千円の増加となった。 歳出も歳入と同様に特別減収対策貸付金を新たに貸し付けたことにより、前年度比101.7%、9億1,190万

4千円の増加となった。

(3)	主な増減	(単位:千円)

0	歳入	[増減額]	(前年度)		(本年度)
	病院債	849, 600 千円	351, 100	$\rightarrow$	1, 200, 700
-	貸付金償還金	63, 152 千円	460, 161	$\rightarrow$	523, 313

〇 歳出	[増減額]	(前年度)		(本年度)
• 特別減収対策貸付金	841, 700 千円	0	$\rightarrow$	841, 700
- 病院事業債元金償還金	63, 147 千円	457, 426	$\rightarrow$	520, 573
<ul><li>器械備品整備事業貸付金</li></ul>	7,500 千円	29, 500	$\rightarrow$	37, 000

# | 8 主要な財政指標等の推移

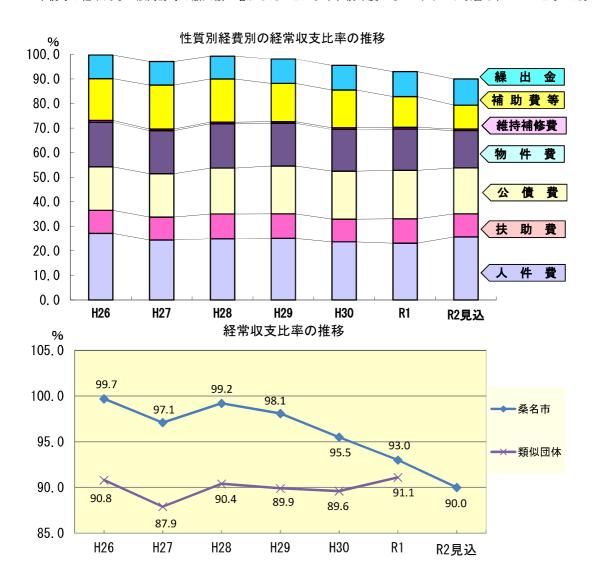
# (1) 経常収支比率(普通会計)

(単位	:	%)
-----	---	----

区分		年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
人	件	費	27. 1	24. 4	24. 9	25. 1	23. 7	23. 1	25. 7
扶	助	費	9. 4	9. 4	10. 1	10.0	9. 2	9. 9	9. 4
公	債	費	17. 7	17. 6	18. 7	19. 4	19.6	19. 8	18. 7
	小 計		54. 2	51.4	53. 7	54. 5	52.5	52. 8	53.8
物	件	費	18. 1	17. 5	18. 0	17. 4	16.9	16.8	15. 2
維	持補作	多費	0.8	0. 7	0. 7	0. 7	0.7	0. 7	0.6
補	助費	等	17. 0	17. 9	17. 6	15. 6	15.4	12. 5	9. 7
繰	出	金	9. 6	9.6	9. 2	9. 9	10.0	10. 2	10. 7
	合 計	а	99. 7	97. 1	99. 2	98. 1	95. 5	93. 0	90. 0
類	似団	体	90.8	87. 9	90. 4	89. 9	89. 6	91. 1	

# <決算概要>

主に公債費・補助費等で、経常的な一般財源を充当した歳出額が減少したことに加え、景気の動向等により市税等の経常的な一般財源等の歳入額が増加したことにより、前年度から3.0ポイント改善し、90.0%となった。

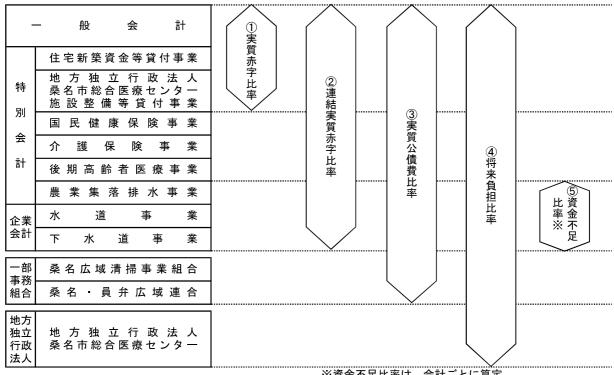


### (2) 健全化判断比率 資金不足比率

平成20年4月に施行された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」にもとづき、健全化判断比率(実質赤字比 率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの指標)と地方公営企業における資金不足比率を算定し 公表している。

この法律は、地方公共団体の財政危機の早期発見と健全化を促すことを目的としており、各指標のいずれかが基準以 上である場合には「財政健全化計画または財政再生計画」を策定し国や県の指導のもとに財政の健全化を図らなければ ならない。

#### 健全化判断比率と資金不足比率の対象範囲(令和2年度)



※資金不足比率は、会計ごとに算定

### ①実質赤字比率

一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率

※一般会計等の赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示す。

### ②連結実質赤字比率

全会計を対象とした実質赤字額または資金不足額の標準財政規模に対する比率

※各会計の赤字や黒字を合算し、全体としての赤字の程度を指標化し、地方公共団体全体としての財政運営の悪化の 度合いを示す。

#### ③実質公債費比率

各会計における地方債の元利償還金や、一部事務組合への負担金などを算出し、その実質的な償還額の標準財政規模 を基本とした額に対する比率

※収入に対し、どれだけを借入金の返済に充てているのかを指標化し、資金繰りの程度を示す。

#### 4 将来負担比率

将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率

※各会計から設立法人までの借入金(地方債)や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、 将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す。

#### ⑤資金不足比率

公営企業ごとの資金不足額の事業規模に対する比率

※公営企業の資金不足を、事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示す。

地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常的一般財源の規模を示す。

# 健全化判断比率 資金不足比率

#### ① 実質赤字比率

(単位:%)

年度 区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込	財政再生基準
実質赤字比率	-3.47	-5. 16	-5. 67	-5. 31	-4. 67	-5. 78	-7. 00	20.00
早期健全化基準	11.81	11.80	11. 79	11.80	11.80	11. 79	11. 76	

※値が負の場合は実質収支が黒字である(赤字が生じていない)ため、公表時は「─(ハイワン)」で表される。

#### ② 連結実質赤字比率

(単位:%)

年度 区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込	財政再生基準
連結実質赤字比率	-12.82	-13. 67	-12. 32	-13. 14	-14.69	-16.07	-19. 16	30.00
早期健全化基準	16. 81	16. 80	16. 79	16. 80	16. 80	16. 79	16. 76	

※値が負の場合は連結実質収支が黒字である(赤字が生じていない)ため、公表時は「― (ハイフン)」で表される。

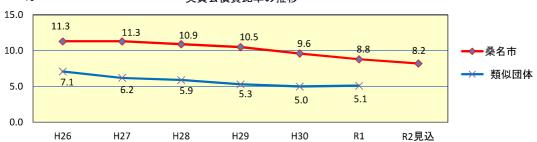
#### ③ 実質公債費比率

(単位:%)

年度 区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込	早期健全 化基準	財政再生 基準
実質公債費比率	11. 3	11. 3	10.9	10.5	9. 6	8.8	8. 2	25. 0	35. 0
類似団体	7. 1	6. 2	5. 9	5. 3	5. 0	5. 1			

※実質公債費比率は、3ヵ年の平均であるが、分母に算定される標準財政規模のうち標準税収入が増加したこと等により、前年度と比較すると0.6ポイント改善した。

#### 実質公債費比率の推移

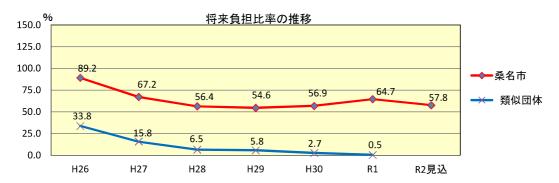


#### ④ 将来負担比率

(単位:%)

年度 区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込	早期健全化基準
将来負担比率	89. 2	67. 2	56. 4	54. 6	56. 9	64.7	57.8	350. 0
類似団体	33.8	15.8	6.5	5.8	2. 7	0.5		

※将来負担比率は、前年度と比較すると、充当可能財源である基金年度末現在高の増加や、標準財政規模のうち標準税収入の増加により、6.9ポイントの減となった。



### ⑤ 資金不足比率

(単位:%)

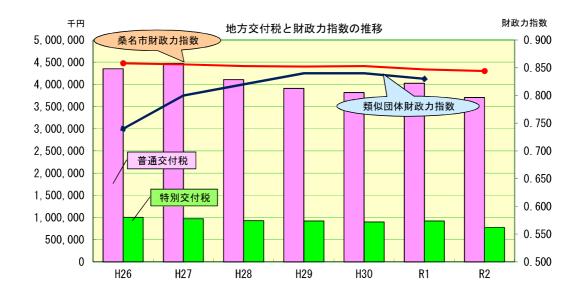
年度 区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込	経営健全化基準
農業集落排水事業特別会計	_	-	-	-	-	-	-	20.0
水道事業会計	-	-	-	-	-	-	-	20.0
下水道事業会計	ı	-	-	-	-	-	-	20.0

※資金不足比率は、資金不足額が生じていないため、算定されない。

#### (3) 地方交付税と財政力指数

(単位:千円)

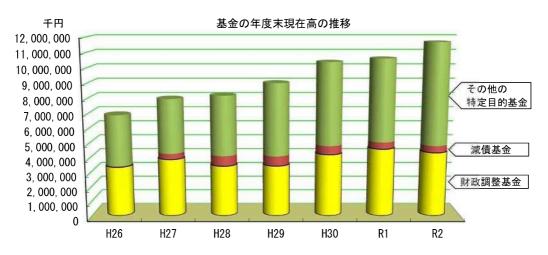
							TE: 1137
年度 区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
普通交付税	4, 351, 424	4, 469, 135	4, 105, 236	3, 908, 412	3, 814, 828	4, 021, 588	3, 702, 129
特別交付税	1, 002, 029	971, 308	925, 847	919, 378	896, 791	919, 162	769, 903
計	5, 353, 453	5, 440, 443	5, 031, 083	4, 827, 790	4, 711, 619	4, 940, 750	4, 472, 032
基準財政収入額	17, 358, 776	17, 963, 680	18, 852, 526	18, 852, 616	18, 840, 963	19, 052, 811	19, 856, 849
基準財政需要額	20, 222, 301	21, 241, 540	22, 044, 378	22, 081, 153	22, 169, 961	22, 742, 088	23, 517, 425
財政力指数	0. 858	0. 856	0.853	0. 852	0. 853	0.847	0. 844
類 似 団 体 財 政 力 指 数	0.74	0.80	0.82	0.84	0.84	0.83	



# (4) 基金の年度末現在高

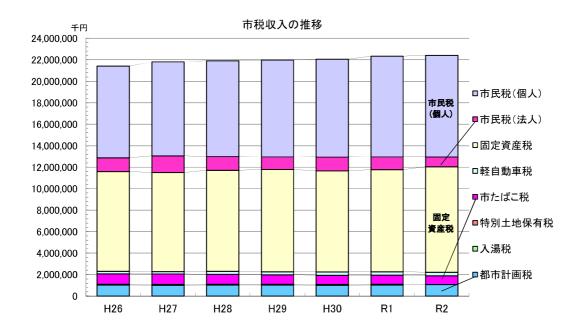
(単位:千円)

																	,	—		,
	区分	_	年度		H26	)	H27	'	H28		H2	9	Н	30		R1			R2	
郥	<b>才政</b> 訓	!整	基金	<u> </u>	3, 360,	418	3, 884,	825	3, 429,	532	3, 442	. 113	4, 21	6, 178	4, 5	589,	885	4, 3	44,	719
洞	<b>【</b>	基	甚 金	È	55,	944	387,	670	684,	054	654	, 863	58	0, 622	Z	<b>4</b> 53,	449	4	55,	964
そ	の他特	定目	的基金	<u> </u>	3, 455,	423	3, 681,	522	4, 051,	324	4, 916	, 152	5, 59	8, 109	5, 5	576,	049	6, 8	88,	635
		計		1	6, 871,	785	7, 954,	017	8, 164,	910	9, 013	128	10, 39	94, 909	10, 6	319,	383	11, 6	89,	318



(5) 市税収入 (単位:千円)

税目	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
市民税	(個人)	8, 547, 2	8, 745, 208	8, 916, 327	9, 029, 254	9, 113, 917	9, 387, 469	9, 461, 104
市民税	(法人)	1, 278, 5	1, 555, 535	1, 269, 749	1, 160, 162	1, 279, 158	1, 176, 585	904, 623
固定道	資 産 利	党 9, 284, 2	94 9, 221, 352	9, 417, 378	9, 527, 138	9, 413, 501	9, 506, 360	9, 818, 946
軽自動	動車和	党 229, 2	92 236, 154	273, 754	290, 390	303, 969	317, 168	337, 686
市たし	ばこ 私	党 968, 9	48 961, 327	927, 131	873, 596	858, 047	859, 608	817, 269
特別土均	也保有和	Ŕ	0 0	0	0	0	0	0
入	易和	党 76, 5	51 75, 146	76, 177	71, 288	70, 498	70, 314	34, 041
都市言	計画和	兑 1,024,9	07 1, 010, 966	1, 022, 764	1, 026, 540	1, 011, 524	1, 023, 369	1, 069, 253
合	計	21, 409, 7	58 21, 805, 688	21, 903, 280	21, 978, 368	22, 050, 614	22, 340, 873	22, 442, 922
対前年原	度増減率	_	1.8%	0. 4%	0.3%	0.3%	1. 3%	0. 5%
徴収率	(現年)	98.	7% 98.8%	98. 8%	98. 8%	98. 7%	98. 9%	98. 9%





# (6) 地方債

# ① 地方債発行額と地方債依存度

		円)	
(単位			

	区分		年	度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
臨	時則	才政 対 舒	賃債	Α	3, 000, 000	2, 460, 000	1, 850, 000	2, 024, 000	2, 055, 000	1, 745, 000	1, 868, 000
合	併特	寺例 事 ӭ	美債	В	1, 705, 100	1, 347, 600	2, 598, 800	4, 832, 900	1, 877, 900	1, 271, 800	1, 992, 800
そ		の	他	С	622, 500	2, 744, 400	3, 750, 300	9, 515, 200	1, 949, 600	2, 635, 500	3, 545, 171
地		債 発 行 A+B+C	額	D	5, 327, 600	6, 552, 000	8, 199, 100	16, 372, 100	5, 882, 500	5, 652, 300	7, 405, 971
歳	7	( 総	額	Е	49, 380, 697	52, 073, 677	55, 750, 343	64, 053, 910	53, 269, 526	54, 550, 289	74, 512, 401
地	方	债 依 存 D/E	度	F	10. 8%	12. 6%	14. 7%	25. 6%	11. 0%	10. 4%	9. 9%
臨財	地方	方 債 発 彳 D-A	了額	d	2, 327, 600	4, 092, 000	6, 349, 100	14, 348, 100	3, 827, 500	3, 907, 300	5, 537, 971
債を		入 総 E-A	額	е	46, 380, 697	49, 613, 677	53, 900, 343	62, 029, 910	51, 214, 526	52, 805, 289	72, 644, 401
除く	地方	方債依? d/e	7度	f	5. 0%	8. 2%	11. 8%	23. 1%	7. 5%	7. 4%	7. 6%

# ② 地方債元金償還額

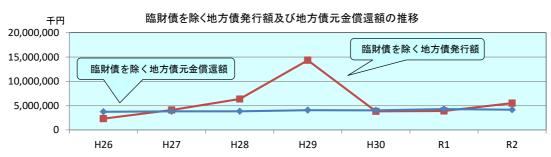
/ W/ LL		_	_ \	
(単位	•	千	ш.	)

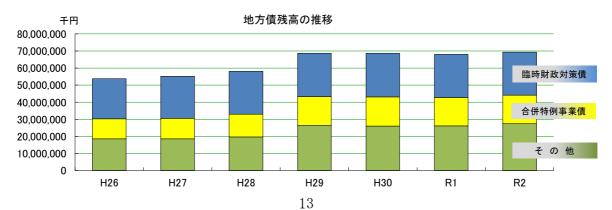
区分	年度	/ ^**	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
臨時財政対	策 債	G	1, 170, 902	1, 334, 187	1, 499, 983	1, 680, 811	1, 858, 842	2, 007, 708	2, 003, 348
合併特例事	業債	Н	941, 642	1, 107, 095	1, 265, 757	1, 373, 872	1, 544, 677	1, 817, 102	1, 906, 833
そ の	他	I	2, 803, 158	2, 720, 537	2, 575, 708	2, 707, 771	2, 485, 977	2, 478, 993	2, 249, 978
地方債元金償 G+H+I	還額	J	4, 915, 702	5, 161, 819	5, 341, 448	5, 762, 454	5, 889, 496	6, 303, 803	6, 160, 159
臨財債を除く 債元金償還額		j	3, 744, 800	3, 827, 632	3, 841, 465	4, 081, 643	4, 030, 654	4, 296, 095	4, 156, 811

# ③ 地方債残高

(単位: <del>-</del>	f円)	
-------------------	-----	--

区分	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
臨時財政対策	債イ	23, 554, 351	24, 680, 164	25, 030, 181	25, 373, 370	25, 569, 528	25, 306, 820	25, 171, 472
合併特例事業	債 口	11, 755, 022	11, 995, 527	13, 328, 570	16, 787, 598	17, 120, 821	16, 575, 519	16, 661, 486
そ の	他ハ	18, 538, 067	18, 561, 930	19, 736, 522	26, 543, 951	26, 007, 574	26, 164, 081	27, 459, 274
地 方 債 残 高イ+ロ+ハ	i	53, 847, 440	55, 237, 621	58, 095, 273	68, 704, 919	68, 697, 923	68, 046, 420	69, 292, 232
地 方 債 残 高 (臨財債を除く)	D+/\	30, 293, 089	30, 557, 457	33, 065, 092	43, 331, 549	43, 128, 395	42, 739, 600	44, 120, 760





# 9 市の債務残高(地方債と債務負担行為)

# (1) 地方債残高と翌年度以降支出予定債務負担

(単位:千円)

(単位:千円)

_ "		令和元	<b>元年度</b>	令和2	2年度
区分		地方債残高	翌年度以降支出 予定債務負担	地方債残高	翌年度以降支出 予定債務負担
一般会計	1	54,592,084	14,637,928	55,162,335	15,320,158
住宅新築資金等貸付事業	2	7,866	0	3,299	0
桑名市総合医療センター施設整備等 貸付事業 のうち、普通会計	3	13,446,470	337,000	14,126,598	0
普通会計(①~③)	4	68,046,420	14,974,928	69,292,232	15,320,158
桑名市総合医療センター施設整備等 貸付事業 のうち、想定企業会計	⑤	12,875	0	6,492	0
国民健康保険事業	6	0	186,940	0	160,550
後期高齢者医療事業	7	0	70,863	0	67,400
農業集落排水事業	8	547,110	0	473,305	0
水道事業	9	5,653,082	2,503,385	6,281,495	2,657,943
下水道事業	19	28,212,551	3,627,401	26,927,964	4,842,678
特別会計・企業会計(⑤~⑩)	11)	34,425,618	6,388,589	33,689,256	7,728,571
全会計(④+⑪)	12	102,472,038	21,363,517	102,981,488	23,048,729
合計	13	123,83	5,555	126,03	30,217

説明:⑤は、独法化前の桑名市民病院に係る地方債元利償還に関する経理を想定企業会計として統計処理するもの。

# (2) 市民一人当たりの債務残高

(単位:円)

(単位:円)

	令和力	元年度	令和2年度		
区分	R2.3.31人口	141,701人	R3.3.31人口	141,045人	
	地方債残高	翌年度以降支出 予定債務負担	地方債残高	翌年度以降支出 予定債務負担	
普通会計(①~③)	480,211	105,680	491,277	108,619	
特別会計・企業会計(⑤~⑩)	242,945	45,085	238,855	54,795	
全会計(④+⑪)	723,157	150,765	730,132	163,414	
合計(③)	873,	922	893,546		

説明:各年度末の人口は、外国人住民を含む。

# 10 地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる社会保障施策に要する経費

平成26年4月1日より消費税率(国・地方)が引き上げられたことに伴い、地方消費税交付金の増収分については、

その使途を明確化し、社会保障施策に要する経費に充てるものとされています。

令和2年度 桑名市一般会計決算における社会保障施策経費への充当状況については、下記のとおりです。

【歳入】地方消費税交付金(社会保障財源化分)

1,630,196千円

【歳出】地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる社会保障施策に要する経費

19,069,398千円

(単位:千円)

				A 7 5			財源	内 訳		(単位:十円)
				令和2年度		特定	財 源		— 般	財源
	大 区 分		小区分(事業名)	決算額	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	地方消費税 交付金 (社会保障財 源化分)	その他
		1	障害者福祉事業	2,751,916	1,261,788	607,055		133	153,167	729,773
		2	高齢者福祉事業	55,119		3,779		11,275	6,950	33,115
		3	児童福祉事業	8,107,187	3,883,927	1,315,512		269,173	457,725	2,180,850
1	1 社会福祉	4	母子福祉事業	42,070	13,633	5,705			3,943	18,789
		5	生活保護扶助事業	1,584,453	1,157,266	41,429		21,485	63,192	301,081
		6	その他	1,260,600	20,162	322,435		22,473	155,352	740,178
		小計		13,801,345	6,336,776	2,295,915	0	324,539	840,329	4,003,786
		1	健康増進事業	83,677	3,975	1,097		4,431	12,867	61,307
		2	病院事業	585,578				3,114	101,043	481,421
		3	救急医療対策事業	78,185		1,000		16,611	10,508	50,066
2	保健衛生	4	予防対策事業	444,738	26,574	4		12,626	70,350	335,184
		5	母子保健事業	144,187	10,317	3,762		1,952	22,232	105,924
		6	その他	2,867					497	2,370
			小計	1,339,232	40,866	5,863	0	38,734	217,497	1,036,272
		1	国民健康保険事業 特別会計(繰出金)	775,631	102,590	321,301			61,018	290,722
3	社会保険	2	介護保険事業 特別会計(繰出金)	1,571,202	7,700	3,850			270,560	1,289,092
"	社太体院	3	後期高齢者医療事業 特別会計(繰出金)	1,581,988		193,932			240,792	1,147,264
			小 計	3,928,821	110,290	519,083	0	0	572,370	2,727,078
		合	計	19,069,398	6,487,932	2,820,861	0	363,273	1,630,196	7,767,136

# 11 決算成果報告書

主な決算成果報告事業目次

款 名	目 名	大 事 業 名	中 事 業 名	所 属 名	頁数	×
一般会						
総務費	一般管理費	SDGs推進事業費	多文化共生推進事業費	政策創造課	18	13
4.6.3332	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	防犯カメラ設置補助金	防犯カメラ設置補助金	防災 危機管理課	19	15
	  人事管理費	スマート自治体推進事業費	働き方改革サポート事業費	人事課	20	17
	文書広報費	広報費	ホームページリニューアル事業費	秘書広報課	21	19
	企画費	ブランド推進事業費	ブランド推進事業費	ブランド推進課	22	21
			パブリックリレーション事業費	ブランド推進課	23	23
			ふるさと応援寄附推進事業費	ブランド推進課	24	25
		 SDGs推進事業費	地域コミュニティ推進事業費	地域コミュニティ課	25	27
		スマート自治体推進事業費	次世代モビリティ推進事業費	政策創造課	26	29
	├────────────────────────────────────	スマート自治体推進事業費	AI等活用推進事業費	デジタル推進課	27	35
	交通対策費	ブランド推進事業費	北勢線運営支援事業費	政策創造課	28	37
	74,27,751,75	公共交通対策費	コミュニティバス運行事業費	政策創造課	29	39
			養老線運営支援事業費	政策創造課	30	41
	まちづくり拠点施設費	施設整備費	安全管理対策施設整備事業費	地域コミュニティ課	31	43
	市民会館費	施設維持補修費	施設維持補修費	ブランド推進課	32	45
		WORK TO THIS OF	音響設備改修事業費	ブランド推進課	33	47
	 諸費	 市民活動推進事業費	市民活動センター管理運営委託事業費		34	49
			写真地番図更新経費	税務課	35	51
 民生費	社会福祉総務費	SDGs推進事業費	福祉総合相談事業費	福祉総務課	36	55
N X	社会福祉施設費	SDGs推進事業費		福祉総務課	37	57
	障害者福祉費			障害福祉課	38	59
	<u>                                     </u>	放課後児童対策事業費	学童保育所整備事業費	子ども未来課	39	61
		私立保育園運営費補助金		子ども未来課	40	63
			私立保育園整備補助金	子ども未来課	41	65
		スマート自治体推進事業費	子育て世帯オンライン申請推進事業費	子ども未来課	42	_
	  保育所費	スマート自治体推進事業費	IoT保育管理事業費	子ども未来課	43	67
		SDGs推進事業費	家庭での食育推進とパパママ家事時短事業費	子ども未来課	44	69
 衛生費	  保健衛生総務費		病院事業運営費負担金	保健医療課	45	71
H-12	N	新型コロナウイルス感染症対策事業費		保健医療課	46	
	  応急診療所費	施設管理運営費	PCR検体採取事業費	保健医療課	47	
	保健センター費	母子保健衛生事業費	母子健康包括支援センター事業費	子ども総合センター	48	73
		7 5152	新生児聴覚検査費用助成事業費	子ども総合センター	49	75
		  スマート自治体推進事業費	検診予約システム事業費	保健医療課	50	
	  塵芥処理費	東汰上埋立最終処分場等事業費	埋立最終処分場環境整備事業費	廃棄物対策課	51	77
農林水産業費	農林水産業振興費		有害鳥獣等対策事業費	農林水産課	52	81
		SDGs推進事業費	竹資源循環創出推進事業費	農林水産課	53	83
	  農地総務費	市単事業	土地改良事業費	農林水産課	54	85
	20,000,000	土地改良施設維持管理適正化事業費	土地改良施設維持管理適正化事業費	農林水産課	55	87
		多面的機能支払交付金事業費	多面的機能支払交付金事業費	農林水産課	56	89
		国土強靭化推進事業費	湛水防除事業費	農林水産課	57	91
			ため池等整備事業費	農林水産課	58	93

<sup>※</sup> 令和2年度当初予算参考資料(事業概要書)掲載頁数 (当初予算事業以外については"-"表示)

款	名	目 名	大 事 業 名	中 事 業 名	所 属 名	頁数	*
商工費	ŧ	商工業振興費	商工業振興事業費	企業等誘致奨励金	商工課	59	95
				MICE等誘致推進事業費	観光課	60	97
			新型コロナウイルス感染症対策事業費	新型コロナウイルス感染症対策事業費	商工課	61	_
土木引	ŧ	土木総務費	国土強靭化推進事業費	木造住宅耐震事業費	都市整備課	62	99
				避難路沿道建築物耐震支援事業費	都市整備課	63	101
				宅地耐震化推進事業	都市整備課	64	103
				地籍調査事業費	土木課	65	105
				狭あい道路整備等促進事業費	土木課	66	107
				急傾斜地崩壊対策事業	土木課	67	109
		道路維持費	スマート自治体推進事業費	ICT道路調査事業費	アセットマネジメント課	68	111
			地域カアップ支援事業費	道路施設管理費	アセットマネジメント課	69	_
		道路新設改良費	道路新設改良事業費	市道改良事業費	土木課	70	113
				道路ストック対策事業費	土木課	71	115
				道路老朽化対策事業費(公共施設等適正管理推進事業費)	土木課	72	117
				安全対策事業費	土木課	73	119
				スマートインターチェンジ推進事業費	土木課	74	
			国土強靭化推進事業費	森忠地区道路改良事業費	土木課	75	121
				江場中野小貝須線	土木課	76	123
			道路新設改良事業費(単独)(明許繰越分)	道路網整備事業費	土木課	77	
		橋りょう維持費	橋りょう維持補修費	<b>橋梁長寿命化対策事業費</b>	土木課	78	125
		河川総務費	国土強靭化推進事業費	緊急浚渫推進事業費	土木課	79	127
		河川新設改良費	国土強靭化推進事業費	河川改良事業費	土木課	80	129
		都市計画総務費	都市計画推進事業費	屋外広告物事業費	都市整備課	81	131
				多度町力尾地区緊急自然災害防止対策事業	都市整備課	82	
		街路事業費	街路整備事業費	桑部播磨線	土木課	83	133
		公園費	公園整備事業費	総合運動公園	土木課	84	135
		土地区画整理事業費	ブランド推進事業費	桑名駅周辺施設整備事業費	駅周辺整備課	85	137
				桑名駅自由通路整備事業費	駅周辺整備課	86	139
				桑名駅自由通路管理運営費	駅周辺整備課	87	141
			桑名駅西土地区画整理事業費	土地区画整備事業費	桑名駅西整備事務所	88	143
消防費	<b>1</b>	常備消防費	消防施設整備事業費	車両購入費	消防本部総務課	89	145
			消防水利施設整備事業費	消火栓整備費	消防本部総務課	90	147
			消防活動用機器整備費	消防活動用機器整備費	消防本部総務課	91	149
		災害対策費	防災施設整備費	備蓄資機材整備費	防災•危機管理課	92	151
			避難行動要支援者名簿更新事業費	避難行動要支援者名簿更新事業費	防災•危機管理課	93	153
			国土強靭化推進事業費	防災拠点施設整備事業費	防災•危機管理課	94	155
				津波避難施設整備事業費	防災•危機管理課	95	157
教育	<b>1</b>	教育振興費	児童生徒指導事業費	学校指導体制支援事業費	学校支援課	96	159
				英語教育プラン推進事業費	学校支援課	97	161
			教育情報化事業費	教育ICT環境整備事業費	教育総務課	98	163
			SDGs推進事業費	くわなの宝はまぐり体験事業費	学校支援課	99	165
				学校施設適正管理計画策定事業費		100	
	- 1	小中一貫校費	小中一貫校事業費	多度地区小中一貫校整備事業費	新たな学校づくり課	101	171
		学校管理費	学校管理運営費	教職員働き方改革推進事業費	教育総務課	102	173
		博物館費	ブランド推進事業費	特別展示費	ブランド推進課	103	175
		学校保健体育費	学校給食事業費	施設維持補修費	教育総務課	104	177
		社会体育振興費	スポーツイベント関係経費	国民体育大会開催準備経費	生涯学習・スポーツ課	105	179

所属: 政策創造課

			款	総務費
事 業	中事業	予 算	項	総務管理費
   名称	多文化共生推進事業費	区分	目	一般管理費
			大事業	\$ SDGs推進事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	世界に向けて開かれたまち	国内•国際交流	多文化共生の推進

#### 事業目的

外国人住民が年々増加している中、行政サービスの多言語化対応や外国人住民の地域社会との共生促進 を行うことで、外国人も含めた誰にとっても住みやすいまちづくりを進める。

#### 事業内容

- ○多文化共生に関する職員研修の実施 (やさしい日本語講座)
- ○多言語電話通訳サービスの導入(委託料)
- ○多言語による情報発信 (窓口対応シート(翻訳代含)、案内表示(翻訳代含))
- 〇外国人住民に対するヒアリング調査 (業務委託)

#### 事業成果

- 外国人住民が安心して生活できるよう取り組みを行った。
- ○多文化共生に関する職員研修の実施
- 令和2年11月12日 職員研修「やさしい日本語講座」開催
- ○多言語電話通訳サービスの導入
- ・令和2年5月~ 10言語による多言語電話通訳サービス導入 〇多言語による情報発信
- •令和3年3月 庁内窓口等で使用する窓口対応シート・案内チラシ等の翻訳及び設置
- ○外国人住民に対するヒアリング調査
- 令和2年10月9日~11月9日「桑名市外国人市民ニーズ調査」の実施

# 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分		
	計	1,433	1,265			
	国支出金					
事業費	県支出金					
→ 未 其   	地方債					
	その他	1,433	1,265			
	一般財源					
その他財源の内訳 ふるさと応援基金繰入金 1,265千円						

### 今後の方向性

桑名外国人市民ニーズ調査の結果からみえた課題に対して取り組みを行い、外国人も含めた誰にとっても 住みやすい環境づくりを推進していく。

所属: 防災•危機管理課

┃     ┃	事業 中事業 名称 防犯カメラ設置補助金	予算区分	<ul><li>款 総務費</li><li>項 総務管理費</li><li>目 一般管理費</li><li>大事業 防犯カメラ設置補助金</li></ul>
---------	----------------------	------	--

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	命を守ることが最優先	防犯-交通安全	防犯意識の向上と防犯の推進対策

#### 事業目的

安全・安心なまちづくりのため、自治会が設置する防犯カメラの設置費用の助成を行う。

#### 事 業 内 容

市民満足度調査でニーズの高かった「防犯対策」について、防犯カメラの設置を検討している自治会へ設置費用の一部を補助することで、設置を促進し地域防犯の向上を図る。

#### 事業成果

自治会が設置・運用する防犯カメラの購入設置費用に対して補助を行い、令和2年度は20自治会、計23台の防犯カメラを市内に設置した。

令和2年度に補助金制度を創設したことにより、防犯カメラの認知度が高まり、カメラ設置に積極的な自治会が増え、また既に自主的に防犯カメラを設置していた自治会についても設置台数を増やすことが出来た。防犯カメラの設置により、地域における見守り体制の強化につながり、防犯意識が高まっている。

登下校時の児童見守りや防犯パトロール等の人による見守り活動には時間や範囲などの限界があることから、活動を補完するものとして、防犯カメラを設置することは防犯対策として有効と考えられる。

#### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分		
	計	2,865	2,865			
	国支出金					
事業費	県支出金					
□ 尹 未 其 □	地方債					
	その他	1,432	1,432			
	一般財源	1,433	1,433			
その他財源の内訳 ふるさと応援基金繰入金 1,432千円						

### 今後の方向性

犯罪のない安全・安心な地域づくりを推進するため、地域における防犯活動への支援を行っている。防犯カメラの設置を希望する自治会を支援するため、今後も補助金の交付は継続していく。防犯カメラ設置時の相談内容や犯罪情報の共有を行うことで、市民と警察等関係団体と連携し、地域のさらなる防犯力向上を図る。

所属 : 人事課

г						· · ·
ı					款	総務費
	事 業	中事業	予	算	項	総務管理費
	名 称	働き方改革サポート事業費	区	分	目	人事管理費
					大事業	スマート自治体推進事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	納税者の視点で次の世代に責任ある財政に・行財政改革	全員参加型市政に向けた組織力と職員力の向上・ヒト	組織の見直し

#### 事業目的

社会環境が大きく変化する中、市民の多種多様なニーズに応え、市民サービスを持続的に提供していくためには、限られた財源や資源を有効に活用するとともに既存事業の見直しや発想の転換等が必要となる。このため、これまでの概ね固定的な職員配置に民間的な発想を取り入れ、複数年度、所管にまたがり繁忙の状況に合わせて人員数を調整することにより、各部署の要求を満たすだけでなく、課題解決のためのさらなる職員配置も可能とする組織力の向上を図る。

#### 事業内容

内部管理、とりわけ人事管理業務においては人事課を中心に、子ども未来局、教育委員会事務局等、関係所管と分担しながら、その適正執行に努めている。

(例)給与支払業務、雇用保険・社会保険関連業務、年末調整業務

この業務に従事、もしくは関連する職員及び、人事管理業務でなくても、繁忙期がある業務に従事する職員が目的達成するために必要なシステム等のツール確保について外部委託する。

(例)給与支払担当、福利厚生担当、各種申請等受付担当、民間的な発想に基づく効果的な運営システム当初1年5か月間は派遣形式で、職員と業者が共同従事し、その後3年間を委託形式で、職員監督の下で業者従事する、5年間の一括発注を予定する。

#### 事業成果

令和2年度中は、派遣形式により職員と共同で業務を進め、事務の引き継ぎ等を行いながら、マニュアルの 作成及び業務の整理等を行った。

#### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分		
	計	40,049	39,970			
	国支出金					
   	県支出金					
事業費	地方債					
	その他					
	一般財源	40,049	39,970			
その他財源の内訳						

### 今後の方向性

令和3年7月頃から委託形式での試験的運用を行いながら、委託内容や運用マニュアルの見直し等を行い、 10月から委託形式での運用を開始する。

所属 : 秘書広報課

				款	総務費
事 業	中事業	予	算	項	総務管理費
名称	ホームページリニューアル事業費	区	分	目	文書広報費
				大事業	広報費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	中央集権型から全員参加型市政に	コミュニケーション活動	広報・広聴活動の充実

#### 事業目的

・前回リニューアルは平成23年度(平成24年2月運用開始)であり、システムが古くなっていることから、運用面で不具合や使い勝手の悪さ等が見られる。また、平成28年4月施行の「障害者差別解消法」により、総務省通達でアクセシビリティ向上が義務付けられているが、その基準を満たす運用ができていない。・現在、全世代でスマートフォンが普及・活用がされている中、スマートフォン対応していない。

これらの課題を改善し、より良いホームページにするためリニューアルを実施する。

# 事業内容

ホームページリニューアルに係るアクセスログ解析や仕様書作成等の事前準備業務委託後、業者選定を行う。

業者決定後、サイト構造・デザインの見直し等を行い、ホームページを構築、試験を実施し、移行する。 リニューアル実施後、職員向けに研修を行う。

(令和2年度中に現在委託している業者がホームページ業務から撤退する。保守業務は、令和3年度まで対応可能)

※債務負担行為設定(令和2~3年度)

#### 事業成果

市ホームページのリニューアルに向け、アクセスログ解析や仕様書作成などを行い、新ホームページの構築業務に係る業者選定を行った。

アクセスログ解析や専門家による現在の市ホームページの評価・分析を行ったことで、問題点や課題、改善点などを把握することができ、それに沿った仕様書やCMS機能要件等を作成し、業者選定を行うことができた。

#### 決算額 (単位:千円)

	**************************************						
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分			
	計	2,036	2,026				
	国支出金						
事業費	県支出金						
争未复	地方債						
	その他						
	一般財源	2,036	2,026				
その他財源の内訳							

### 今後の方向性

選定した業者と令和4年2月公開に向け、ホームページのサイト構造、デザイン・各ページの見直し等を行い、新ホームページを構築、試験を実施し、移行する。 また、職員が円滑に操作できるよう操作研修等を行う。

所属 : ブランド推進課

			款	総務費
事 業	中事業	予 算	項	総務管理費
名 称	ブランド推進事業費	区分	目	企画費
			大事業	ジランド推進事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	桑名をまちごとブランドに	プロモーション活動	観光事業の魅力向上 住吉地区および七里の渡し周辺のまちづくり

#### 事業目的

桑名に訪れたい、住みたい、住み続けたいと思う人を増やすため、本市が有する地域資源の魅力や価値を 学ぶことができるプログラムの集まりである「桑名ほんぱく」を実施する。

その他、地方創生推進交付金事業・忠勝プロジェクトを通して桑名市のブランドカ向上を図っていく。

#### 事業内容

○桑名ほんぱく(桑名本物力博覧会)の実施 926千円

市民や来訪者が桑名を深く知るための体験交流型プログラムを開催し、その運営人材を育成する。

〇地方創生推進交付金事業 15,000千円

住吉地区及び七里の渡し周辺のまちづくり推進事業委託(インフォメーションショップ運営・コンシェルジュ研修・ブランドポータルサイトの構築運営・桑名ほんぱく一部委託等)

- ○忠勝プロジェクト 130千円
- 地方創生交付金事業とも連携を図り、本多忠勝にまつわる歴史講演会等を実施していく。
- 桑名時代まつりの運営補助金の交付

#### 事業成果

### ○桑名ほんぱくの実施

- 平成30年度:53プログラム、参加者のべ1,214人
- 令和元年度: 56プログラム、参加者のべ1,303人
- 令和2年度: 42プログラム、参加者のべ646人
- 〇地方創生推進交付金事業
- ・七里の渡しインフォメーションショップの運営(ショップ入店者数 1,678人)
- ・ブランドポータルサイトの構築
- •「桑名コンシェルジュスト―リ―ブック」の作成

#### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分	
	計	16,360	16,204		
	国支出金	7,500	7,500		
事業費	県支出金				
□ 尹 未 頂 □	地方債				
	その他	8,860	8,704		
	一般財源				
その他財源の内訳 ふるさと応援基金繰入金 7,673千円、広告料 730千円 新型コロナウイルス感染症緊急対策基金繰入金 301千円					

### 今後の方向性

- 桑名ほんぱくの事務局を民間に移管するため、自主財源と運営を担う人材の確保が必要となる。自主財源の確保については、平成29年度から公式ガイドブックへの企業広告の掲載を始め、平成30年度からパートナーよりエントリー料を徴収している。
- 平成30年度の社会実験によって住吉地区及び七里の渡し周辺の有効性が実証できた。新たに地域のまちづくりを行う協議会が民間主導で設立されており、協議会を中心にまちづくりが進展するように後押ししてい

所属 : ブランド推進課

			款	総務費
事業	中事業	予算	項	総務管理費
名称	パブリックリレーション事業費	   区分	目	企画費
			大事業	き ブランド推進事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	桑名をまちごとブランドに	プロモーション活動	桑名ブランドの推進

#### 事業目的

マスメディアに幅広く市の魅力を情報発信する等プロモーション活動を行い、紙面・テレビ番組等のメディアに露出させることで、市の認知度・イメージ向上を図る。

#### 事業内容

- ○首都圏パブリックリレーションズ業務 7,343千円
- -PR会社が有するネットワーク・ノウハウ等を活用し、首都圏を拠点としたマスメディアに情報発信する。
- ○桑名フィルムコミッション事業 4,600千円
- ・映画・ドラマ等の撮影誘致・支援を行うことで、地域活性化を図る。

#### 事業成果

- ○首都圏パブリックリレーションズ業務:プレスリリースを10本配信、「Discover Japan」誌掲載および特別編の作成を行った。また、新作講談「長島軍記~伊勢長島一向一揆450年~」を制作し、動画の再生回数は約10万回だった。
- 〇桑名フィルムコミッション事業:WOWOW開局30周年記念連続ドラマ「華麗なる一族」、中京テレビ「前略、大とくさん」撮影の受入れ等を行い、これらの直接的経済効果は約3,202千円であった。
- ○フィルムコミッション設立10周年記念事業:映画「クハナ!」の上映会と秦監督リモートトークショーを開催し、150名の観客が来場した。六華苑にて、フィルムコミッション10年の軌跡展としてパネル展示を行った。「くわなロケ旅ガイド」を制作した。

#### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分
	計	12,113	11,985	
	国支出金			
古光串	県支出金			
事 業 費	地方債			
	その他	11,943	11,942	
	一般財源	170	43	
その他財源の内訳 ふるさと応援基金繰入金 11,942千円				

### 今後の方向性

東京PR事業については令和3年度から新たに3年間の債務負担行為を設定して、首都圏におけるプロモーション活動を進めていく。

桑名フィルムコミッションについては令和2年度に撮影された作品が令和3年度に放送、公開されるので引き続きPR活動を進めるほか、撮影誘致等の活動についても引き続きプロモーション活動を進めていく。

所属 : ブランド推進課

 事業
 中事業
 予算
 歳 総務費項

 名称
 ふるさと応援寄附推進事業費
 区分
 目 企画費

 大事業 ブランド推進事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	納税者の視点で次の世代に責任ある財政に・行財政改革	効率的・安定的な財政経営・カネ	新たな歳入確保の推進

#### 事業目的

ふるさと応援寄附金の返礼品の充実により本市の魅力をPRし、本市に対する寄附意欲を高めることで、歳入の確保と市内事業者の収益向上による経済の活性化を図る。

また、市外の寄附者へ返礼品を贈ることで、「桑名市」及び「特産品等」の認知度を高め、ブランドカの向上につなげていく。

#### 事業内容

寄附者に対し、本市の特産品や魅力を伝えられる記念品または本市のPRや来訪・交流につながる記念品等を返礼品として贈る。

- ※特産品等は、市内事業者等から募集し提供していただく。提供に要する費用は市が負担する。
- ※寄附金は、ふるさと応援基金に積立て、翌年度以降、寄附者の希望する事業等に充当する。

#### 事業成果

#### 令和2年度実績額 寄附件数:47,031件 寄附金:681,671千円

令和2年2月以降の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う巣ごもり消費の影響により、お米の申込みが殺到し、寄附金額が大幅に伸びた。また、こめ油や精肉、蛤等、本市の人気の特産品についても例年よりも寄附額が伸びたため、本市としては令和元年度に引き続き、過去最高の寄附金額となった。

#### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分	
	計	450,892	355,858		
	国支出金				
   	県支出金				
事業費	地方債				
	その他	352,500	275,863		
	一般財源	98,392	79,995		
その他則	 オ源の内訳	地域振興基金繰入金 275,819千円、発送事務負担金 33千円 ふるさと応援寄附記念品料徴収金 11千円			

### 今後の方向性

総務省によるふるさと納税の指定制度の枠組を遵守しつつ、魅力ある返礼品を新たに発掘し、既存返礼品も含めPRを行っていく。巣ごもり消費の影響により全国的にふるさと納税の寄附額は伸びているとみられるため、適切なタイミングで効果的な情報の発信を行ったり、他自治体と差別化を図れるような商品を開拓したりすることで、寄附金額の増加に努めていくとともに、桑名市の魅力ある特産品を全国に周知していく。

所属: 地域コミュニティ課

					款	総務費
事	業	中事業	予	算	項	総務管理費
名	称	地域コミュニティ推進事業費	区	分	目	企画費
					大事業	SDGs推進事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	中央集権型から全員参加型市政に	市民と行政のパートナーシップ	市民自治の推進および地域運営組織の形成

#### 事業目的

地域運営組織(まちづくり協議会)の形成に向けた取り組みを促進し、総合計画に掲げる市民の個性が活かせる地域コミュニティを確立する。

#### 事業内容

- 地域住民及び職員に向けて講演会や研修会を開催し、意識の醸成とまちづくり活動の促進を図る。また、まちづくり協議会設立調査準備補助金を引き続き交付し、地域運営組織の立ち上げに向け財政支援を行う。 - 生活支援体制整備事業における「生活支援コーディネーター」に対し、地域福祉分野の知識とネットワークを持つ地区担当「コミュニティワーカー」として、包括的に地域運営組織の形成に向けた支援業務を委託する。
- 制度設計および組織形成に係るアドバイザリー業務を外部有識者に委託する。

#### 事業成果

- まちづくり協議会設立に向けた地域説明会や職員研修を開催し、意識の醸成を図った。
- まちづくり協議会設立準備組織18地区中、「まちづくり協議会設立調査準備補助金」を16地区に交付し、会議の開催及び試行的なソフト事業の実施により、意識の醸成及びまちづくり協議会形成に向けて機運を高めることにつながった。
- ・社会福祉協議会と「地域力強化推進事業」の業務委託契約を締結し、社会福祉協議会の「コミュニティワーカー」と連携して、地域住民を主体とした地域づくりの実現を図った。

#### 決算額 (単位:千円)

	* *** * * * * * * * * * * * * * * * *						
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分			
	計	14,204	13,267				
	国支出金	1,910	1,909				
 	県支出金						
事業費	地方債						
	その他						
	一般財源	12,294	11,358				
├────────────────────────────────────							

#### 今後の方向性

引き続き、まちづくり協議会設立を目指して、各地区への情報発信に努めるとともに、地域担当職員を中心に地域のまちづくりに対する側面的な支援を行っていく。 また、財政面の支援として、交付金制度を周知し活用を図っていく。

所属: 政策創造課

				款	総務費
事 業	中事業	予	算	項	総務管理費
名 称	次世代モビリティ推進事業費	区	分	目	企画費
				大事業	スマート自治体推進事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	地理的優位性を活かした元気なまち	公共交通	バス輸送の確保・維持

#### 事業目的

少子高齢化社会の進展に伴う、労働人口の減少や公共交通機関の運転手不足、また、高齢者の免許返納

者の増加により公共交通へのニーズが高まっている。 これらの社会情勢の変化に対応するため、従来の移動手段に代わる新たな交通ネットワークの検討及び自 動運転の実現可能性を研究し、持続可能な公共交通を目指す。

#### 事業内容

#### ○自動運転バス実証実験

- ■自動運転バスを走行させ、実証実験から得られる技術的データ、アンケート等の検証を行う。
- ○桑名市次世代モビリティ社会実装研究会
- ・自動運転等、次世代モビリティ導入による持続可能な交通手段の可能性、新たな交通ネットワーク構築に 関する課題、政策について協議する。

#### 事業成果

#### ○自動運転バス実証実験

- 実施時期:令和2年9月26日~28日
- \*走行場所:大山田団地内の周回ルート(約2.5km)
- ・参加人数:190名
- ○桑名市次世代モビリティ社会実装研究会
- 第1回(令和2年8月21日):令和元年度実証実験の振り返り及び令和2年度実証実験実施内容の共有
- 自動運転バス実証実験の結果報告

#### 決算額 (単位:千円)

				_
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分
	計	7,504	7,322	
	国支出金			
事業費	県支出金	3,000	3,000	
争未复	地方債			
	その他	4,504	4,322	
	一般財源			
その他則	その他財源の内訳 ふるさと応援基金繰入金 4,322千円			

### 今後の方向性

自動運転等、次世代モビリティを活用した移動サービスの実用化に向け、初期投資や運営コストにも留意し つつ、これまでのバスタイプに限定せず、乗用車タイプの自動運転車両等、最適な車両を活用した実証実験 を実施することで、事業モデルの検討につなげていく。

引き続き、桑名市次世代モビリティ社会実装研究会などを通じて、実証実験から得られた技術面、ビジネス 面の課題を整理していく。

所属: デジタル推進課

			款	総務費
事 業	中事業	予 算	項	総務管理費
名称	AI等活用推進事業費	区分	目	情報推進費
			大事業	スマート自治体推進事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	納税者の視点で次の世代に責任ある財政に 行財政改革	その他	その他

#### 事業目的

AI等のICT活用を推進し、定型的で業務量の多い事務作業や会議等の業務効率化を図る。

#### 事業内容

AI等のICTの活用により、業務の効率化、利便性の向上、新型コロナウイルス感染症対策を行う。

- ■定型業務の効率化を図るため、RPA(Robotic Process Automation )及びAI-OCRを活用
- 効率的に議事録を作成するため、AIを活用した議事録作成支援システムを導入
- ・WEB会議を円滑に進めるため、ディスプレイ、スピーカー等の機器を導入 ・在宅勤務が行えるよう、セキュリティ機能を備えたテレワークシステムを導入
- 自宅等で手続きができるオンライン申請システム及び窓口におけるキャッシュレス決済機器を導入

#### 事業成果

- -RPA及びAI-OCRの活用により業務時間の削減(約2,800時間)、また、AI議事録作成支援システムの活用 により、定型業務の効率化を図った。
- -WEB環境の整備によるオンライン会議の実施やテレワークシステムの活用による在宅勤務の実施を行うと ともに、オンライン申請等の活用による密の解消や利用者の利便性の向上を図った。

#### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分
	計	9,072	8,123	
	国支出金	2,901	2,367	
事業費	県支出金			
争未复	地方債			
	その他	6,171	5,756	
	一般財源			
その他則	その他財源の内訳 ふるさと応援基金繰入金 5,754千円 新型コロナウイルス感染症緊急対策基金繰入金 2千円			· 円

### 今後の方向性

RPA対象業務やオンライン申請業務を順次拡大し、業務の効率化と利便性の向上を図っていく。

所属: 政策創造課

			款	総務費
事 業	中事業	予 算	項	総務管理費
名 称	北勢線運営支援事業費	区分	目	交通対策費
			大事第	美 ブランド推進事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	地理的優位性を活かした元気なまち	公共交通	鉄道輸送の確保・維持

#### 事業目的

市内外から人が集まり活発な交流が展開される、にぎわいと活力のある中心市街地の形成を図るとともに、朝夕の効率的な大量輸送によって交通渋滞の緩和と環境負荷を減らすために、基幹交通である鉄道輸送の維持、確保に取り組む。

#### 事業内容

- ○北勢線を運営する三岐鉄道株式会社に対して運営費の補助を行う。
- 運営支援補助金の交付 102,507千円(支援要請額94,587千円+固定資産税概算額7,920千円)
- ■支援要請額の負担割合:桑名市47.35% 東員町19.70% いなべ市32.95%
- ・駅舎、駐車場、駐輪場用地の維持管理等 7,743千円

蓮花寺駅:駅舎 駐車場(31台) 星川駅北:駅舎 駐車場(35台) 星川駅南:駐車場(33台)

- 北勢線事業運営協議会負担金の交付(桑名市47.35% 東員町19.70% いなべ市32.95%) 2,600千円
- 利用促進イベントの運営協力

#### 事業成果

- 令和2年度年間利用者数2,006,168人(令和元年度 2,551,724人 前年度比 545,556人、21.4%減少)
- 運行本数 90本/日
- ・沿線市町は、北勢線に対する平成31年4月~令和3年3月までの継続支援について、三岐鉄道株式会社と 合意

#### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分	
	計	118,609	113,034		
	国支出金				
<b>声</b>	県支出金				
事業費	地方債				
	その他	118,609	113,034		
	一般財源				
その他則	その他財源の内訳 地域振興基金繰入金 112.295千円 土地、その他貸付収入 739千円				

### 今後の方向性

朝夕の効率的な大量輸送によって交通渋滞の緩和と環境負荷を減らし、基幹交通の維持確保に取り組む必要がある。新型コロナウイルス感染症に伴う生活スタイルの変化により、令和2年度は大幅な減収となったことを受け、三岐鉄道株式会社、いなべ市、東員町とも協議しつつ、持続可能な公共交通となるような支援の在り方について検討していく。

所属 : 政策創造課

			款	総務費
事 業	中事業	予 算	項	総務管理費
   名称	コミュニティバス運行事業費	区分	目	交通対策費
			大事業	公共交通対策費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	地理的優位性を活かした元気なまち	公共交通	バス輸送の確保・維持

#### 事業目的

高齢社会を迎える中、車を利用できない方の買い物や通院、通学、今後運転できなくなる高齢者や増加傾向にある免許返納者の市民生活を支える交通環境を整えるために、より身近な移動手段であるバス輸送の確保、維持に取り組む。また、平成30年度市民満足度調査における「重要度は高いが、満足度は低い」という結果を受けて、交通空白地域の解消や多度地区・長島地区からの桑名地区への乗り入れ、交通結節点の更なる充実等、地域の実情に応じて運行することにより、市民満足度の向上を図る。

#### 事業内容

- 〇コミュニティバスの運行を民間事業者に委託する。(運休日:日曜日、12月29日~1月3日)139,055千円 ・運賃:乗車1回100円(未就学児は無料)
- 8ルート運行

桑名地区6ルート(桑名駅・医療施設・商業施設等を巡回)

多度地区1ルート(多度駅・地区市民センター・医療施設等を巡回)

- 長島地区1ルート(長島駅・健康福祉センター・各集会所等を巡回)
- 令和2年度見直し点

要望等に基づきルート・ダイヤ等変更

〇生活路線バスを維持する。 6,602千円

#### 事業成果

- 令和2年度コミュニティバス年間利用者数 89,992人※前年度比41,829人減
- 令和2年度見直し点

要望等に基づきルート・ダイヤ等変更

- ①桑名駅自由通路の供用開始に合わせ、暫定西口広場が変更となったことに伴い、広場ロータリー内にコミュニティバスが発着できるよう、東部ルートを改正
- ②桑名市健康増進施設「神馬の湯」オープンに伴い、多度ルート、北部ルートが乗り入れ可能となるよう路線を変更
- ・生活路線バスを維持する:桑名城南線

#### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分
	計	147,270	146,543	
	国支出金			
<b>声</b>	県支出金			
事業費	地方債			
	その他		1	
	一般財源	147,270	146,542	
その他則	その他財源の内訳 選挙人移動支援収入 1千円			

#### 今後の方向性

超高齢社会を迎える中、車を利用できない方の買い物や通院、通学、今後運転できなくなる高齢者や増加傾向にある免許返納者の市民生活を支える交通環境を整えるためには、より身近な移動手段であるバス輸送の維持、確保を行っていく必要があることから、年度ごとに運行状況等の見直しを図りつつ、今後も適切にコミュニティバスを運行する。

所属: 政策創造課

事業	中事業	予算	款項	総務費 総務管理費
名称	養老線運営支援事業費	区分	目 大事業	交通対策費 公共交通対策費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	地理的優位性を活かした元気なまち	公共交通	鉄道輸送の確保・維持

#### 事業目的

市内外から人が集まり活発な交流が展開される、にぎわいと活力のある中心市街地の形成を図るとともに、朝夕の効率的な大量輸送によって交通渋滞の緩和と環境負荷を減らすために、基幹交通である鉄道輸送の維持、確保に取り組む。

#### 事業内容

- 養老鉄道活性化協議会事務費負担金 5千円
- -一般社団法人養老線管理機構負担金 109,740千円
- -一般社団法人養老線管理機構補助金 7,371千円
- -養老線地域公共交通再生協議会負担金 400千円

#### 事業成果

- -令和2年度利用者数4,927千人(令和元年度6,167千人 前年度比1,240千人減少)
- 運行本数 156本/日

#### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分		
	計	118,343	118,035			
	国支出金					
事業費	県支出金					
尹未复	地方債					
	その他	118,343	118,035			
	一般財源					
その他財源の内訳		地域振興基金基金繰入金				

# 総務管理費寄付金 200千円 今後の方向性

新型コロナウイルス感染症に伴う生活スタイルの変化により大幅な減収となったものの、安全対策の実施等により持続可能な公共交通となるよう一般社団法人養老線管理機構(第3種鉄道事業者)の経営に参画し、養老線の運行を行っていく。

所属: 地域コミュニティ課

事 業 名 称	中事業 安全管理対策施設整備事業	費	予区	算 分	総務費 総務管理費 まちづくり拠点施設費 施設整備費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	命を守ることが最優先	防災	防災体制および災害対策機能の強化

# 事業目的

地震等の安全管理対策として、まちづくり拠点施設の窓ガラスにガラス飛散防止フィルム施工工事を行い、 利用者の安全確保とともに、避難所としての機能向上を図る。

#### 事業内容

まちづくり拠点施設 窓ガラス飛散防止フィルム施工工事 (地域減災力強化推進補助金対象事業 補助率:50%)

施工場所:深谷まちづくり拠点施設 当初予算事業費:1,925千円

#### 事業成果

地域活動の拠点かつ指定避難所であるまちづくり拠点施設に窓ガラス飛散防止フィルムを施工することで、災害発生時の利用者の安全確保、及び避難所運営時の安全性を向上させることができた。

### 決算額 (単位:千円)

<b>次</b> 弃识 (千世·十二)						
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分		
	計	1,738	1,738			
	国支出金					
事業費	県支出金	865	865			
尹未复	地方債					
	その他					
	一般財源	873	873			
その他財源の内訳			•			

### 今後の方向性

平成25年度から始めて、これまでに13施設施工済であり、残りの6施設についても順次施工予定である。

所属 ブランド推進課

			款	総務費
事 業	中事業	予算	項	総務管理費
名 称	施設維持補修費	区分	目	市民会館費
		. , , ,	大事業	<b>纟施設維持補修費</b>

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	桑名をまちごとブランドに	文化・スポーツ	文化芸術活動の推進

#### 事業目的

市民会館を適正に管理し、市民がいつでも使用できる状態を維持する。

#### 事業内容

- ①経年劣化による雨漏りに対する大ホールの屋根防水の修繕 34,662,100円
- ②法改正による駐車場のエレベーター保護装置取付 451,000円 ③法改正による会館棟のエレベーター保護装置取付 451,000円×2基
- ④設備老朽化による駐車場管制機取替 12,636,800円
- ⑤設備老朽化による小ホール調光設備の修繕 4,345,000円
- ⑥設備老朽化による非常用発電機の修繕 10,450,000円 ⑦設備老朽化による大ホール調光設備の修繕 2,640,000円
- ⑧設備老朽化による空調設備の中央監視盤取替 17,000,500円

#### 事業成果

- ①の大ホールの屋根防水改修工事を行い、施設の長寿命化を図った。
- ②・③のエレベータ保護装置を取り付けることによって、より安全に市民が利用できるようになった。

#### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分			
	計	36,016	36,015				
	国支出金						
事業費	県支出金						
尹未复	地方債	34,555	34,555				
	その他						
	一般財源	1,461	1,460				
その他財源の内訳							

### 今後の方向性

④~⑧の工事を行うことによって市民会館を適正に管理し、市民がいつでも使用できる状態を維持する。

所属 : ブランド推進課

事業名称	中事業 音響設備改修事業費	予 算区 分	款 項 目 大事業	総務費 総務管理費 市民会館費 施設維持補修費
総合計画	ビジョン	基本計画		基本事業
の体系	姦々たまた デレブランバニ	女化・フポーツ		文化芸術活動の推進

# 事業目的

市民会館を適正に管理し、市民がいつでも使用できる状態を維持する。

# 事業内容

音響設備の老朽化及び電波法改正に伴いワイヤレス装置の更新が必要になったため改修を行う。 ※債務負担行為設定(令和2~3年度)

### 事業成果

設計積算後入札を行い施工業者と契約し、令和3年度の工事完成に向けて準備を行った。

#### 決算額 (単位:千円) うち2年度決算額 2 年 度 2 年 度 予算現額(繰越含) 決算額(繰越含) 繰越分 計 28.187 26,200 国支出金 県支出金 事業費 地方債 24.842 24.842 その他 一般財源 3,345 1,358 その他財源の内訳 今後の方向性

# 令和4年2月に完成予定である。

所属: 地域コミュニティ課

事業	中事業	予 算	款項	総務費 総務費管理費
名称	市民活動センター管理運営委託事業費	区分		諸費 市民活動推進事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	中央集権型から全員参加型市政に	市民と行政のパートナーシップ	市民活動環境の充実

#### 事業目的

市民活動センターにより多くの人が集まり、情報共有・発信ができ、これらの機能を果たすことができるよう民間事業者等のアイデアとノウハウを活用し、市民サービスの向上や業務の効率化を図る。

#### 事業内容

市民活動センターは、市民活動の活動拠点として、平成19年に公設公営で週6日開所し、情報収集・発信、機器の提供、人材育成・登録など、また、平成28年度からは公民連携の提案制度により、市民活動センター事業の一部を市民活動団体に委託し、活動の支援を行っている。令和2年度より、市民活動センターをメディアライヴ内会議室に移転し、センターの管理運営も含めて委託し、民間のノウハウの活用と質の向上を図る。

### 事業成果

市民活動センターを民間に委託することで、センターの運営、市民や市民活動団体に対する支援業務の質の向上を図り、市民活動環境の充実を図った。

### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分	
	計	6,183	6,183		
	国支出金				
<b>声                                    </b>	県支出金				
事 業 費	地方債				
	その他	215	208		
	一般財源	5,968	5,975		
その他財源の内訳		コピー使用料 208千円	•		

# 今後の方向性

引き続き、民間のノウハウを活用して市民活動の支援業務を行っていく中で、委託業者と情報交換・委託業務内容の見直しを適宜行いながら、市民活動環境の充実を図っていく。

所属 : 税務課

				款	総務費
事 業	中事業	予	算	項	徴税費
   名称	写真地番図更新経費	区	分	目	賦課徴収費
		_		大事業	賦課事務費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	納税者の視点で次の世代に責任ある財政に・行財政改革	効率的・安定的な財政経営・カネ	新たな歳入確保の推進

#### 事業目的

令和3年度の評価替えに向け、適正な評価と課税の確保のためには、市内全域の土地・建物の状況を的確に把握する必要がある。実地調査だけでは限られた時間内ですべての状況を把握することは不可能であり、また実地にて確認することが容易でない物件も空中写真により把握可能となることから、3年に一度の評価替えに向け空中写真を更新し活用することで、引き続き適正な課税と評価の確保のため事業を行う。本事業は経費削減のため三重県市町総合事務組合の一括発注により共同撮影(県内11市町)を予定している。

#### 事業内容

- -空中写真撮影業務負担金(三重県市町総合事務組合による一括発注 県内11市町が参加)
- ・空中写真データセットアップ業務委託

#### 事業成果

令和3年1月1日前後の空中写真撮影の完了により、令和3年度固定資産税の評価替えに向けた適正な評価と課税の確保が可能となった。

- 令和3年1月1日前後に空中写真撮影
- 県内11市町が参加し、三重県市町総合事務組合による一括発注により空中写真撮影業務を行う。 三重県市町総合事務組合への負担金 5,053千円
- ・空中写真データの取込み
- 空中写真撮影データをGISシステムへセットアップを行う。
- 航空写真データセットアップ業務委託費 341千円

### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分	
	計	5,750	5,394		
	国支出金				
古 ** 弗	県支出金				
事業費	地方債				
	その他				
	一般財源	5,750	5,394		
その他財源の内訳			•		

# 今後の方向性

次回、評価替えは令和6年度のため、令和6年1月1日現在の空中写真撮影を検討している。

所属 : 福祉総務課

			款	民生費
事 業	中事業	予 算	項	社会福祉費
名称	福祉総合相談事業費	区分	目	社会福祉総務費
			大事業	SDGs推進事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	命を守ることが最優先	介護保険・高齢者福祉	地域包括ケアシステムの深化・推進

#### 事業目的

介護、障害、子育て等、複雑化する福祉分野の相談に対して包括的に対応する。

#### 事業内容

福祉なんでも相談センター(大山田地区)において地域包括支援センターの業務と介護・障害・子育て等、複雑化する福祉分野の相談に包括的に対応する福祉の総合相談事業を一体的に実施する。令和2年度中に多度地区・長島地区においても同様の相談窓口を開設し、運営する。それぞれの福祉総合相談窓口に配置する職員(各1名)については、地域包括支援相談員を兼務する。

#### <事業費の内訳>

- 総事業費 28,635千円
- ・うち介護保険事業特別会計分 9,150千円

#### 事業成果

- -年間相談延べ人数 6,869人
- ■専門職による相談(予約制) 41件

福祉なんでも相談センターを大山田地区に加え、令和2年8月3日から多度地区、長島地区にも増設し、福祉関係の困りごとを解決するために必要な制度やサービス、手続等を利用者に紹介することに加えて、必要に応じて関係部署や外部機関との連携を図った。

### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分		
	計	19,485	19,485			
	国支出金	11,250	11,250			
<b>声 **</b> 弗	県支出金					
事業費	地方債					
	その他	8,235	8,235			
	一般財源					
その他財源の内訳 ふるさと応援基金繰入金 8,235千円						

# 今後の方向性

相談内容や支援の過程で見えてくる地域の課題から、必要な社会資源の検討・創出につなげていく。令和4年度から「重層的支援体制整備事業」における多機関協働事業実施を担いつつ、より地域に根差したサービスを提供していく。

所属: 福祉総務課

名 称 多世代共生型施設整備事業費 区 分 目 社会福祉施設費				款	民生費
	事業	中事業	予 算	項	社会福祉費
	   名称	多世代共生型施設整備事業費	区分	目	社会福祉施設費
大事業 SDGs推進事業費				大事業	SDGs推進事業費

ビジョン 基本計画 基本事業 総合計画 の体系 中央集権型から全員参加型市政に 地域をつなげる場づくり 地域福祉

#### 事業目的

高齢者・障害者・子ども等に対して、通所や入所、相談等を包括的に提供する多世代共生型施設の整備を、 事業予定地である(仮称)堂ヶ峰公園の整備と一体的に実施する。

#### 事業内容

多世代共生型施設の整備に当たっては、既存事業の民営化と合わせた建替え(施設の複合化・多機能化) を公民連携の手法により進める。

令和元年度にプロポーザルによって決定した事業者へ、一体的に整備する公園及び事業予定地開発の設 計等を委託するとともに、令和3年度の竣工に向けて着工する。

- -設計等業務委託 41,789千円
- -工事請負委託(前払金のみ支出) 237,600千円

※工事請負委託料について債務負担行為設定(令和2~3年度)限度額 688,356千円

#### 事業成果

- 令和元年度:実施事業者の選定、基本協定締結
- ・令和2年度:公園及び事業予定地開発の設計、開発・公園整備工事の着工・令和3年度:事業予定地の開発、公園の整備、民間への事業移管、事業者による多世代共生型施設の整
- 令和4年度: 供用開始

#### 決算額 (単位:千円)

	7.74.74						
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分			
	計	312,198	279,389				
	国支出金						
<b>声 **</b> 弗	県支出金						
事業費	地方債	300,000	269,263				
	その他						
	一般財源	12,198	10,126				
その他財	 †源の内訳						

# 今後の方向性

実施事業者と総合的な福祉施策や福祉サービスを提供できる施設となるよう協議し、令和4年度からの供用 開始に向けて事業を推進する。

所属: 障害福祉課

事 業 名 称	中事業 障害者福祉計画策定事業費		予区	算 分	款 項 目 大事業	民生費 社会福祉費 障害者福祉費 障害者福祉一般事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	命を守ることが最優先	障害者•障害児福祉	福祉サービスと相談支援の充実

#### 事業目的

障害者基本法等に基づいて、令和元~2年度の2か年で第4期桑名市障害者計画及び第6期障害福祉計画 並びに第2期障害児福祉計画を策定し、障害者施策の推進及び障害福祉サービス等の提供体制の確保を 図る。

# 事業内容

障害者等を対象とした障害福祉に関するアンケートの実施とその分析を行い、令和3年度以降の障害者福祉施策と障害福祉サービスの利用量の見込みを定める。 ・障害者計画及び障害福祉計画策定業務委託 2,998千円

#### 事業成果

令和元年度に実施したアンケート結果の回答を基に、第4期障害者計画・第6期障害福祉計画・第2期障害 児福祉計画を策定した。

### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分			
	計	2,998	2,998				
	国支出金						
<b>事業</b>	県支出金						
事業費	地方債						
	その他	2,998	2,998				
	一般財源						
その他則	その他財源の内訳 ふるさと応援基金繰入金 2,998千円						

# 今後の方向性

障害福祉サービス量の見込みを定める第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画は、3年後(令和5 年度)に見直しを行う。基本計画である第4期障害者計画は、6年後(令和8年度)に見直しを行う。

所属 : 子ども未来課

			款	民生費
事業	中事業	予 算	項	児童福祉費
名 称	学童保育所整備事業費	区分	目	児童福祉総務費
			大事業	放課後児童対策事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	こどもを3人育てられるまち	子ども・子育て支援	子どもの安全な居場所づくりの推進

# 事業目的

学童保育所の需要は年々増加傾向にあり、現在の設置場所では受入れが困難になりつつある場所が生じている。児童の受入れ数確保を図るため、公共施設を有効活用した学童保育所の移転整備を、優先順位を付けて順次検討を行っており、令和2年度については長島北部小学校の空き教室を改修し、学童保育所として整備する。

# 事業内容

児童の利便性の向上及び公共施設を有効活用するため、長島北部小学校の空き教室を改修し、学童保育所として整備する。

- <事業費内訳>
- 改修費用: 2,160千円
- 備品類: 490千円

#### 事業成果

改修及び整備は年度内に終了した。学童保育所も長島北部小学校内に移転して開設された。

決算額 (単位:千円)						
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分		
	計	3,784	2,650			
	国支出金	833	833			
事業費	県支出金	833	833			
□ 尹 未 頂 □	地方債					
	その他	2,118	984			
	一般財源					
その他則	その他財源の内訳 公共施設整備基金繰入金 984千円					
4.6 - 1.4 19						

# 今後の方向性

今後も、公共施設を活用した学童保育所の移転を継続的に検討する。

所属 : 子ども未来課

事 業 名 称	中事業 待機児童対策事業費補助金	<u>:</u>	予 区	算 分	款項目	民生費 児童福祉費 児童福祉総務費
					大事業	私立保育園運営費補助金
	. * * * .	_	+ 1 = 1 :			# _ + #

総合計画		基本計画	基本事業
の体系	こどもを3人育てられるまち	子ども・子育て支援	就学前の教育・保育の充実

#### 事業目的

待機児童対策として、私立保育園の低年齢児保育等に事業補助を行い、低年齢児の受入れ数を拡大する。

#### 事業内容

〇補助事業名

- 〇補助内容
- ①低年齡児保育量拡大事業費補助金
- ①0歳児、1歳児を預かる保育士の人件費補助
- ②障害児加配保育士人件費補助金 ③アレルギー除去食対応補助金
- ②市が認定した障害児を保育するための人件費補助 ③市が認定したアレルギー児を対応するための人件費補助

#### 事業成果

当該補助金により、保育需要の高いO歳児、1歳児の受入れを促し、待機児童の抑制につながった。

#### (単位:千円) 決算額 2 年 度 2 年 度 うち2年度決算額 予算現額(繰越含) 決算額(繰越含) 繰越分 計 85.726 80.851 国支出金 県支出金 事業費 地方債 その他 一般財源 85,726 80,851 その他財源の内訳

# 今後の方向性

低年齢児、障害児の保育需要が伸びているため、引き続き受入れに注力していく。

所属 : 子ども未来課

				款	民生費
事 業	中事業	予	算	項	児童福祉費
名 称	私立保育園整備補助金	区	分	目	児童福祉総務費
				大事業	民間社会福祉施設等整備助成事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	こどもを3人育てられるまち	子ども・子育て支援	就学前の教育・保育の充実

#### 事業目的

待機児童対策のため、既存保育園の建て替えに対し、厚生労働省の補助メニューである保育所等整備交付金事業に沿って補助事業を行う。

# 事業内容

既存保育園の施設整備を行う。利用定員を増やすことで、市の待機児童対策に合致することから補助を行う。

(子育て安心プラン適用の場合、負担割合が国県2/3・市1/12・事業者1/4)

#### 〇補助対象者

社会福祉法人蓮華会(桑名市大字矢田180番地) ※養泉寺保育園

〇事業内容

既存保育園の建て替えに対し、厚生労働省の補助メニューである保育所等整備交付金事業に沿って補助事業を行う。

### 事業成果

〇保育園舎の建て替えが完了し、令和3年4月から開園した。

### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分			
	計	175,541	175,541				
	国支出金	152,195	156,038				
   	県支出金						
事業費	地方債						
	その他						
	一般財源	23,346	19,503				
その他財源の内訳			•				

# 今後の方向性

各施設の老朽化が進行していること等から、今後も必要に応じて事業を実施する。

所属: 子ども未来課

				款	民生費
事 業	中事業	予	算	項	児童福祉費
名 称	子育て世帯オンライン申請推進事業費	区	分	目	児童福祉総務費
				大事業	スマート自治体推進事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	命を守ることが最優先	地域医療・健康づくり	感染症の予防およびまん延防止

#### 事業目的

来庁のうえ、一定の時間を要する保育所入所手続きなど、子育て世帯が必要とする手続きにオンライン申請を導入することで、子育て世帯の申請手続きに関する利便性向上及び新型コロナウイルス感染症拡大防止を図る。

#### 事業内容

○オンライン化委託料、それに付随する事務費

- 管理運営利用ライセンス使用料 1,155千円
- オンライン申請機能の開発初期費用 3,300千円
- ・オンライン面談用消耗品・備品購入費 257千円

#### 事業成果

- 子ども未来局内の下記手続きについて、必要事項の入力と書類等を写真に撮り送信する「自宅に居ながら手続きを済ませる」新たな申請手続きを実現した。子どもを連れての移動の負担軽減、市民の利便性の向上、コロナ禍での3密を避けることに成功した。
- 保育支援室: 令和3年4月の保育所(園)の一斉申し込み(全国の自治体初)、窓口受付の来庁予約。LINE活用率は70%を超えた。
- ・子ども未来課:子ども・一人親家庭等医療費助成の県外医療機関での医療費申請、保険証の変更届、受給資格証の再交付。LINEでの申請数は多い月で100件程度あった。
- ・子ども総合センター: 県外医療機関での妊婦健診・産婦健診の費用助成申請の手続き、毎月のLINE活用率は全体の30~40%程度であった。

### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分			
	計	5,791	4,712				
	国支出金	4,424	4,424				
事業費	県支出金						
	地方債						
	その他	1,367	288				
	一般財源						
その他財源の内訳 新型コロナウイルス感染症緊急対策基金繰入金 288千円			<del></del>				

# 今後の方向性

デジタル推進課と連携して、効果を検証しながら方向性を検討する。

所属: 子ども未来課

			款	民生費
事 業	中事業	予 算	項	児童福祉費
名 称	IoT保育管理事業費	区分	目	保育所費
			大事業	ミスマート自治体推進事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	こどもを3人育てられるまち	子ども・子育て支援	就学前の教育・保育の充実

# 事業目的

年々、二一ズの高まりのある保育業務に、新たにAI機能を含めた情報通信技術を導入し、登降園管理、保育日誌、資料作成等に活用することで、保育士の事務を効率化する。

#### 事業内容

#### ■ICTシステムの導入

〇導入保育所

桑陽保育所・長島中部保育所(措置人員が多い2か所)

〇導入時期

令和2年1月よりPCを導入(ネットワーク整備)、令和2年4月1日システム本稼働

#### 事業成果

作業の効率化による保育士の業務負担の軽減、情報共有の円滑化等を推進していくための基盤が導入された。既存の業務運用手順の見直し、システム操作の習熟を図るため、今後は登降園管理や保育日誌等の一部機能から更なる活用を進めていく。

# 決算額 (単位:千円)

	八升段 (十四.117)						
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分			
	計	1,592	1,480				
	国支出金						
* * #	県支出金						
事業費	地方債						
	その他	1,592	1,480				
	一般財源						
その他財源の内訳 ふるさと応援基金繰入金 1,480千円							

# 今後の方向性

導入済みの保育所2か所においてシステムを用いた新しい業務運用のノウハウを蓄積しつつ、システム機能の利用範囲を順次拡大し、保育業務全体での運用改善につなげていく方針である。他の公立保育所への導入も検討していく。

所属: 子ども未来課

				款	民生費
事 業	中事業	予	算	項	児童福祉費
名 称	家庭での食育推進とパパママ家事時短事業費	区	分	目	保育所費
				大事業	SDGs推進事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	こどもを3人育てられるまち	子ども・子育て支援	子育て家庭への支援サービスの充実

#### 事業目的

保育所に通う子ども達が、食に対しての知識・興味を持ち、望ましい食習慣の定着や食を通じた豊かな人間 性、心身の健全育成を図る観点から、食の提供を通じて、食育の実践・推進を図る。また、帰宅が遅くなる保護者の買い物時間や夕食の準備時間を短縮することで、家事の負担を軽減する。

#### 事業内容

家庭での食育の推進及び保護者の家事の時間を軽減するため、夕方、新たに調理したおかずを保護者に予 約制で提供する。

- ①提供時間 18時00分から18時45分(予約制) 1パックあたり200円(レシピを配布) ②参加費
- 3実施場所 延長保育の利用者が多い厚生館保育所、山崎乳児保育所、桑陽保育所

#### 事業成果

- 令和2年2月 試行及び家事に費やす時間などのアンケートを実施 令和2年4月~ 事業開始、計7回実施、1,792食提供

その他財源の内訳

### 決算額 (単位:千円)

				_
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分
	計	1,008	874	
	国支出金			
事 業 費	県支出金			
尹 未 其   	地方債			
	その他	1,008	363	
	一般財源		511	

# 今後の方向性

食育PR事業保護者負担金 358千円、公立保育所延長保育負担金 5千円

家庭での食育の推進及び家事時短支援の充実を図るため、令和3年度も継続して実施する。

所属 : 保健医療課

			款	衛生費
事 業	中事業	予 算	項	保健衛生費
名称	病院事業運営費負担金	区分	目	保健衛生総務費
			大事業	(地独)桑名市総合医療センター経費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	命を守ることが最優先	地域医療・健康づくり	救急医療体制の整備および充実

#### 事業目的

地方独立行政法人である桑名市総合医療センターが実施する高度医療、救急医療、小児医療等の病院事 運営経費の一部について、設立団体である市が負担することにより、桑名市総合医療センターの経営の適 正化を図り、市民への医療提供体制の向上につなげる。

#### 事業内容

地方独立行政法人法第85条に基づき、桑名市総合医療センターの高度医療、救急医療、小児医療等に係る 費用について、設立団体である市が負担する。

#### 〇負担金

- •令和元年度普通交付税算入分:466,265千円
- ・平成30年度特別交付税算入分:54,045千円

#### 事業成果

平成21年10月1日に桑名市民病院が地方独立行政法人となり、市が示した中期目標に基づき中期計画、年度計画を作成し、より効率的な経営を行うとともに病院運営の充実に取り組んでいるところであり、病院事業運営費負担金により、効果的な病院運営の推進が図られる。

### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分			
	計	520,310	520,310				
	国支出金						
事業費	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	520,310	520,310				
その他則	 オ源の内訳		-				

# 今後の方向性

今後も、桑名市総合医療センターの経営の適正化を図り、市民への医療提供体制を向上することができるよう継続していく。

所属 : 保健医療課

事業名称	中事業 診療体制整備支援負担金	予区	算 分	款項目工事業	衛生費 保健衛生費 保健衛生総務費 新型コロナウイルス感染症対策事業費
				人争未	新空コロアプイルへ您未近対東事業員 

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	命を守ることが最優先	地域医療・健康づくり	地域医療体制の整備および充実

#### 事業目的

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザが同時に流行した場合においても、できるだけ多くの発 熱患者が適切に診療を受けられるよう、市内医療機関の診療体制の確保を支援する。

# 事業内容

三重県が指定する「診療・検査医療機関」に参加し、発熱患者の診療及び新型コロナウイルス感染症の検査を行う医療機関へ、桑名医師会を通じて支援金を支給する。

### 事業成果

発熱患者の診療と新型コロナウイルス感染症の検査を行う医療機関を支援することにより、医療提供体制の維持を図った。

令和2年度は、48医療機関が「診療・検査医療機関」に参加し、支援金支給期間内には、全体で6,405件の発 熱患者の診療及び検査が実施された。

### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分		
	計	40,650	40,650			
	国支出金	37,536	37,536			
事業費	県支出金					
□ 尹 未 頂 □	地方債					
	その他	3,114	3,114			
	一般財源					
その他財源の内訳 新型コロナウイルス感染症緊急対策基金繰入金 2,982千円 社会福祉費寄付金 132千円						

# 今後の方向性

令和2年度で事業は終了している。

所属: 保健医療課

	事業名称	中事業 PCR検体採取事業費	予算区分		款 項 目	衛生費 保健衛生費 応急診療所費
	10 11%			J		施設管理運営費

ビジョン 基本計画 基本事業 総合計画 の体系 命を守ることが最優先 地域医療・健康づくり 地域医療体制の整備および充実

#### 事業目的

桑名保健所、桑名医師会と協力してPCR検査の検体採取体制を確保することにより、新型コロナウイルス感 染症の感染拡大による医療供給体制の崩壊を予防する。

#### 事業内容

新型コロナウイルス感染症のPCR検査の検体採取場所として、桑名市応急診療所を閉所日に提供すること により、PCR検査体制を確保し、地域の医療機関の負担軽減を図る。

### 事業成果

PCR検査の実施により、市内医療機関の負担軽減と一般患者の感染リスクの低減が図られた。

- 令和2年度PCR検査: 1,745件

#### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分
	計	7,383	7,383	
	国支出金	3,509	3,509	
事業費	県支出金			
→ 未 其   	地方債			
	その他	3,874	3,874	
	一般財源			
その他則	 オ源の内訳	応急診療所収入 3,571千F 新型コロナウイルス感染症		<b>千</b> 四

# 今後の方向性

新型コロナウイルス感染症緊急対策基金繰入金 303千円

新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえた医療提供体制を維持するため、桑名保健所及び桑名医師 会と協力してPCR検査体制を継続する。

所属 : 子ども総合センター

				款	衛生費
事 業	中事業	予	算	項	保健衛生費
名称	母子健康包括支援センター事業費	区	分	目	保健センター費
				大事業	母子保健衛生事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	こどもを3人育てられるまち	子ども・子育て支援	安心して子どもを産み育てられる環境の整備

#### 事業目的

母子保健法第22条の改正で、「母子健康包括支援センター」(子育て世代包括支援センター)が新たに規定され、市町村は令和2年度末までに同センターを設置するように努めるとされた。同センターは、主に妊産婦及び乳幼児の実情を把握し、妊娠・出産・子育てに関する各種の相談に応じ、必要に応じて支援プランを策定する。また、地域の保健医療または福祉に関する機関との連絡調整を行い、母子保健施策と子育て施策との一体的な提供を通じて、妊産婦及び乳幼児の健康の保持・増進に関する包括的な支援を行うことを目的としている。

#### 事業内容

- ・母子健康手帳の発行時、必要に応じて支援プランを策定し、地域の保健医療または福祉に関する機関との連絡調整を行い、妊産婦及び乳幼児の健康の保持・増進に関する包括的な支援を実施
- ・妊娠・出産・子育ての各種相談を実施するために、プライバシーを配慮した場所を確保
- 母子保健システムの導入、管理で切れ目のない支援を提供
- ポケトークなどの翻訳機器を利用して、増加している外国人の妊娠・出産・子育ての相談に対応

#### 事業成果

令和2年10月に、母子健康包括支援センターを開設した。

- 令和2年度は950人に母子健康手帳を交付、妊婦とともに子育てケアプランを作成するなど相談支援を行った。
- 子育て支援センターや医療機関等、地域の関係機関との連携を図った。また、母子保健システムを導入し、 妊娠時からの状況を記録し、関係機関との情報共有を進めながら切れ目のない支援につなげている。
- 多言語電話通訳や翻訳機器を用い、多言語への対応に努めた。

### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分
	計	619	573	
	国支出金	195	174	
<del>+</del>	県支出金	248	225	
事業費	地方債			
	その他			
	一般財源	176	174	
その他財源の内訳				

#### 今後の方向性

地域の子育てや保健医療または福祉に関する関係機関とも連携を図るとともに、妊産婦及び乳幼児の健康の保持・増進に関する包括的な支援に取り組む。

所属: 子ども総合センター

					款	衛生費
	事 業	中事業	予	算	項	保健衛生費
l	名 称	新生児聴覚検査費用助成事業費	区	分	目	保健センター費
l					大事業	母子保健衛生事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	命を守ることが最優先	地域医療・健康づくり	母子保健の推進

#### 事業目的

聴覚障害は、早期に発見され適切な支援が行われた場合には、音声言語発達等への影響が最大限に抑えられる。世帯の所得状況により、新生児聴覚検査が行えず、早期に発見することができなくなることを防止するため、生活保護世帯、非課税世帯の子どもに対し、新生児聴覚検査費用の助成を実施する。

# 事 業 内 容

- ・新生児聴覚検査の実施後、対象者に申請書を提出してもらい、1件につき5,000円を上限に助成
- 母子手帳発行時に、対象者に費用助成を説明 ホームページ、窓口などで周知

#### 事業成果

令和2年度:助成決定件数3件

令和2年度は、当初の見込みよりも少なく推移した。

#### 決算額 (単位:千円)

		4771 =24		_
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分
	計	50	15	
	国支出金			
事業費	県支出金			
事 未 貸 	地方债			
	その他			
	一般財源	50	15	
その他財源の内訳				

# 今後の方向性

令和3年度以降もホームページや広報等を用いて広く告知するとともに、窓口での母子手帳交付時にも事業 の周知を継続して進める。

対象者の拡大に関しては、新生児聴覚検査の実施状況や近隣市町の動向を注視しながら検討する。

所属 : 保健医療課

				款	
事業	中事業	予	算	項	保健衛生費
名称	検診予約システム事業費	区	分	目	保健センター費
				大事業	スマート自治体推進事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	命を守ることが最優先	地域医療・健康づくり	予防を重視した市民が主役の健康づくり事業の推進

# 事業目的

がん検診の申し込みをオンライン化することにより、検診受診率の向上と業務効率化を図る。検診受診率が向上することで、がんの早期発見と早期治療が可能となり、市民の健康と命を守ることにつなげる。

# 事 業 内 容

集団がん検診について、従来の郵送やFAX、窓口での申し込みに加え、スマートフォンやパソコンで24時間申し込みができるオンライン受付を導入することで、業務効率化を図るとともに、スマートフォン利用率の高い若年層の受診率向上や受診者の利便性の向上を図る。

### 事業成果

令和元年度と令和2年度の同時期を比較すると検診申込者が約1割増加した。申込者全体の約25%がWEB 予約を利用し、年代別では20代から40代の方の約55%、50代の方の約40%、60代の方の16%となり、検診受診率の向上と業務効率化が図られた。

### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分		
	計	2,162	2,022			
	国支出金	1,871	1,871			
事業費	県支出金					
争未复	地方債					
	その他	291	151			
	一般財源					
その他則	D他財源の内訳 新型コロナウイルス感染症緊急対策基金繰入金 151千円			 千円		

# 今後の方向性

今後もWEB予約での受付について市民に周知啓発を図り、検診受診率向上と業務効率化に努める。

所属 廃棄物対策課

				款	
事業	中事業	予	算	項	清掃費
名称	埋立最終処分場環境整備事業費	区	分	目	塵芥処理費
				大事業	東汰上埋立最終処分場等事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	命を守ることが最優先	環境•廃棄物対策	廃棄物の適正な処理

#### 事業目的

桑名市一般廃棄物埋立最終処分場計画書に基づき、東汰上埋立最終処分場に擁壁を設置することで、周 辺の道路及び田畑への土砂等の流出等の危険性を排除し、安全で適正な施設管理を継続する。

#### 事業内容

供用開始から30年以上を経過していることから、埋立最終処分場の適正管理の向上を図るとともに、収容能 力の向上を図るため、擁壁設置に向け、令和2年度は、地盤調査、測量及び工事設計を行うものである。また、地元自治会に対し、適正な事業運営や環境保全への協力を行うものである。

#### 事業成果

桑名市一般廃棄物埋立最終処分場に擁壁を設置し埋立容量を拡充するため、埋立最終処分場の地質調査 と土砂等埋立保管量の測量を実施し、その内容を踏まえて、擁壁を設置するための予備設計を行った。

- -桑名市埋立最終処分場地質調査業務委託(株式会社KGS三重営業所) 5,076千円
- 桑名市埋立最終処分場擁壁設置工事予備設計・測量業務委託(株式会社見取コンサルタント桑名営業所) 4,544千円
- ・地元自治会に対し、適正な事業運営や環境保全への協力を行った。9,000千円

### 決算額 (単位·千円)

	WYSTER (TEXT III)						
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分			
	計	19,670	18,620				
	国支出金						
車 業 弗	県支出金						
事業費	地方債						
	その他						
	一般財源	19,670	18,620				
├────────────────────────────────────							

# 今後の方向性

次のとおり、桑名市一般廃棄物埋立最終処分場に擁壁を設置する予定である。

- 令和3年度 桑名市一般廃棄物埋立最終処分場擁壁設置工事実施設計、周辺地域家屋調査(事前) 令和4年度 桑名市一般廃棄物埋立最終処分場擁壁設置工事 令和5年度 桑名市一般廃棄物埋立最終処分場擁壁設置工事 令和5年度 桑名市一般廃棄物埋立最終処分場擁壁設置工事、周辺地域家屋調査(事後)

所属 : 農林水産課

事業名称	中事業 有害鳥獣等対策事業費	予算区分	項 目	農林水産業費 農林水産業費 農林水産業振興費 農業振興費
<i>*</i> 0 ∧ =1 <del>-</del> -	ドジョン	ドジョン		<b>基本事業</b>

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	桑名をまちごとブランドに	農林業	有害獣対策の推進および強化

#### 事業目的

地域と協働した追い払いや、狩猟免許所持者による捕獲・駆除を行う事で、野生獣による農作物の被害軽減を図る。

#### 事業内容

- 〇野生獣等による農作物の被害防止活動として、追い払いや捕獲・駆除を行う。
- 桑名支部猟友会員と駆除委託契約を結び、シカ・イノシシを対象に生息数の減を図る。
- ・地域住民による自主的な被害防止活動を支援するため、駆逐用煙火やジャンボタニシ用の駆除薬を配付する。
- ・特定外来生物であるヌートリア・アライグマを対象にした駆除委託を行う。
- 多度山及び周辺の山林に設置した侵入防止柵を修繕する自治会へ補修用の柵を提供する。
- ・県が行うCSF(豚コレラ)対策に協力し、感染拡大を防止する。

#### 事業成果

- ・シカ、イノシシ対策事業 <駆除頭数>イノシシ107頭、シカ148頭
- •中・小型動物対策事業<駆除頭数>サル10頭、アライグマ32頭、ハクビシン23頭、ヌートリア24頭
- ·動物駆逐用煙火(T-3)配付数2,028本
- ・ジャンボタニシ駆除薬剤購入数 1,000袋/2kg (配付先:農家組合59団体・認定農業者・集落営農者26団体)

### 決算額 (単位:千円)

	八升成 (十四:11)						
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分			
	計	13,364	13,185				
	国支出金						
事 業 費	県支出金	1,584	1,584				
	地方債						
	その他	11,780	11,601				
	一般財源						
その他則	その他財源の内訳 ふるさと応援基金繰入金 11,601千円						

# 今後の方向性

猟友会の協力によるシカ・イノシシの駆除を継続していく他、地域住民による追い払い活動や侵入防止柵の 補修に必要な資材の提供を行うとともに、電気柵の設置や電動ガンによる追い払い等、被害防止手段の情 報を発信していく。

また、サルやアライグマ等の中・小型動物の捕獲を市職員が実践しながら、地域住民にも狩猟免許の取得を勧め、捕獲従事者の増を目指す。

所属 : 農林水産課

事業名称	中事業 竹資源循環創出推進事業費		予算区分	款 項 目 大事業	農林水産業費 農林水産業費 農林水産業振興費 SDGs推進事業費
総合計画	ビジョン	基本計画			基本事業
の体系	桑名をまちごとブランドに	農林業			桑名ブランドの推進

#### 事業目的

産官学等の関係者による桑名の竹を活用した事業を推進することで、放置竹林の解消を図るとともに地域内循環を促進し、持続可能な社会の実現を目指す。関係者がSDGsの理念に基づき取り組み、未来に向けた農業や経済活動を推進する。

#### 事業内容

- ・放置竹林の整備(1.5ha)を桑竹会に委託する。
- 桑竹会と市内工業高校による環境教育の実施と、生徒による竹林整備から商品販売までの取り組みを支援する。
- ・桑竹会と民間事業者が開発したバイオマスプラスチック新商品のPR活動を実施する。
- 民間事業者(商社)と連携し、地域内企業による竹資源を活用した事業の創出を支援する。

#### 事業成果

- ・播磨地区、力尾地区を中心とした放置竹林の整備(1.5ha)を桑竹会に業務委託。
- ■桑竹会と桑名工業高校による課題研究を21回実施し、生徒による竹林整備や竹製品の試作等の取り組みを支援。
- 民間事業者(商社)と連携し、地域内企業による竹資源を活用した事業の創出を支援するなかで、令和3年 2月に地域企業、NPO等で構成する桑名竹取物語事業化協議会が設立された。

決算額 (単位:千円)						
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分		
	計	5,203	5,086			
	国支出金					
事業費	県支出金	4,500	4,500			
□ 尹 未 頂 □	地方債					
	その他	703	586			
	一般財源					
その他則	その他財源の内訳 ふるさと応援基金繰入金 586千円					

#### 今後の方向性

本事業の目的及びみえ森と緑の県民税市町交付金の主旨に沿う事業を今後も展開する。竹林整備を進めることで、タケノコの生産量を増やすとともに、整備のために伐採した竹を資源に変えるべく新たな循環システムを構築する。また、産官学等での事業を展開することで、SDGsの推進に寄与する。

所属 : 農林水産課

			款	農林水産業費
事 業	中事業	予 算	項	農林水産業費
名称	土地改良事業費	区分	目	農地総務費
		, ,,	大事業	市単事業

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	桑名をまちごとブランドに	農林業	農業生産基盤の強化および整備

#### 事業目的

安定的な農業経営の持続のため、高生産性農業を可能とする農業生産基盤を整備する。

#### 事業内容

用排水路及び農道等の整備を行うことにより農業基盤を充実させることはもとより、地域特性を生かした農業の推進を図る。また、下流の家屋や公共施設等に被害を与える可能性のあるため池について改修を行う。 各地区要望や農業用施設の状態監視をもとに現地確認を行い、優先順位をつけて事業を推進していく。

- 用排水路等改修工事
- -農道舗装工事
- •ため池改修工事
- •林道改修工事
- 井戸ポンプ修繕委託

### 事業成果

農業用施設及び林道の機能復旧・保持及び向上に寄与する改修等を行った。(全21箇所)

#### (単位:千円) 決算額 2 年 度 2 年 度 うち2年度決算額 予算現額(繰越含) 決算額(繰越含) 繰越分 計 15.211 15.115 国支出金 県支出金 事業費 地方債 その他 一般財源 15,211 15,115 その他財源の内訳

農業用施設等の改修整備を施工することにより、生産性の向上を図る。

今後の方向性

所属 : 農林水産課

			款	農林水産業費
事業	中事業	予 算	項	農林水産業費
   名称	土地改良施設維持管理適正化事業費	区分	目	農地総務費
			大事業	土地改良施設維持管理適正化事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	桑名をまちごとブランドに	農林業	農業生産基盤の強化および整備

#### 事業目的

土地改良施設(頭首工、ポンプ場、樋門、ため池、水路等)の整備補修により、低下した機能を回復し適正な維持管理を図る。

#### 事業内容

#### く桑名>

- ・大山田2号ゲート整備補修工事・大鳥居排水機場 φ 900ポンプ整備補修工事
- ・城南排水機場 Φ 1200ポンプ整備補修工事
- ・大鳥居排水機場バッテリー・冷却水ポンプ整備補修工事

#### く長島>

- 千倉排水機場 φ 1100ポンプ整備補修工事
- 福豊排水機場除塵機整備補修工事

その他財源の内訳

※事業負担割合: 国30%、県30%、市30%、地元(改良区)10%

### 事業成果

年次計画及び定期点検に基づき設備の状態を監視しながら補修等を行い、機能回復を図った。

決算額

#### 2 年 度 2 年 度 うち2年度決算額 予算現額(繰越含) 決算額(繰越含) 繰越分 計 76.340 75.340 国支出金 県支出金 事業費 地方債 その他 60,300 60,300 一般財源 16,040 15,040

(単位:千円)

# 今後の方向性

土地改良施設維持管理適正化事業交付金 60,300千円

機能低下した施設を計画的に機能回復し、施設の適正な維持管理を図る。

所属 : 農林水産課

総合計画			·画	7 7 7 7 7	基本事業
				大事業	多面的機能支払交付金事業費
   名称	多面的機能支払交付金事業費		分	目	農地総務費
事業	中事業	予	算	項	農林水産業費
				款	農林水産業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	桑名をまちごとブランドに	農林業	農業生産基盤の強化および整備

#### 事業目的

多面的機能支払交付金を財源として、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進する。

# 事業内容

農地維持支払交付金及び資源向上支払交付金に係る活動について、事業計画の認定を受けた活動組織に対し、対象面積に応じた交付金を支払う。 国負担分(1/2)、県負担分(1/4)及び市負担分(1/4)を合わせて活動組織に交付する。

### 事業成果

28の活動組織に交付金を交付することにより、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行った。

# 決算額 (単位:千円)

	<b>从</b> 弃识 (平位:11]/						
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分			
	計	56,343	56,342				
	国支出金						
事業費	県支出金	42,277	42,277				
尹未复	地方債						
	その他						
	一般財源	14,066	14,065				
その他則	 オ源の内訳						

# 今後の方向性

当該交付金を活用している28組織が、今後も継続して活動に取り組むことができるようサポートしていくとともに、新規地区の掘り起こしも行っていく。

所属: 農林水産課

			款	農林水産業費
事 業	中事業	予 算	項	農林水産業費
名称	湛水防除事業費	区分	目	農地総務費
			大事業	国土強靭化推進事業費

ビジョン 基本計画 基本事業 総合計画 の体系 桑名をまちごとブランドに 農林業 農業生産基盤の強化および整備

# 事業目的

農作物や農業用施設、一般家庭、公共・公益施設等を湛水被害から未然に防止するため、排水機場の新設 または改修を行う。

#### 事業内容

三重県が主体で行う県営事業

長島中部地区(大島排水機場):旧機場撤去ほか

事業負担割合: 国55%、県35%、市10%

桑名市が主体で行う事業計画作成

下深谷 福豊排水機場事業計画書作成業務委託

事業負担割合:国100%

# 事業成果

- <長島中部地区(大島排水機場)> ・新機場が稼働し、湛水被害の防止を図ることができた。また、旧機場の撤去工事を実施した。
- ・下深谷・福豊の排水機場の更新に向けた事業計画書を作成した。

### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分
	計	56,100	38,015	18,015
	国支出金			
事業費	県支出金	44,000	26,000	18,000
尹未复	地方債	10,800	10,800	
	その他			
	一般財源	1,300	1,215	15
その他財	 オ源の内訳			

# 今後の方向性

県営事業を継続し、長島中部地区については令和3年度の事業完了を目指し事業の進捗を図る。 また、他の排水機場についての更新を進める。

所属: 農林水産課

事業	中事業 ため池等整備事業費	予算	款項	農林水産業費 農林水産業費 農地総務費
名 称	/この/心寺笠伽事未負	区分	目 大事業	展 <sup>也認例</sup> 員 国土強靭化推進事業費
1		#		++ -1- ++ suc

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	桑名をまちごとブランドに	農林業	その他

#### 事業目的

農業用ため池の決壊・漏水による、農作物や農業用施設、一般家庭、公共・公益施設等の洪水被害を未然 に防止するため、改修を行う。

#### 事業内容

- <蛎塚大ため池地区> 三重県が主体で行う県営事業
- 堤体等工事
- 事業負担割合: 国55%、県35%、市10%

# 桑名市が主体で行う事業

- 馬の頭新ため池更新事業計画書作成業務委託
- 馬の頭ため池耐震調査業務委託

事業負担割合: 国100%

### 事業成果

- ・豪雨時の氾濫や大型地震による決壊を未然に防止するための改修工事の進捗を図った。
- 馬の頭新ため池・馬の頭ため池の更新に向けた事業計画書の作成及び耐震調査を実施した。

#### (単位:千円) 決算額 2 年 度 2 年 度 うち2年度決算額 予算現額(繰越含) 決算額(繰越含) 繰越分 計 35.580 31.179 7.009 国支出金 県支出金 20.600 16.200 7.000 事業費 地方債 14.500 14.500 その他 一般財源 480 479 9 その他財源の内訳

# 今後の方向性

蛎塚大ため池地区の事業を継続し、令和4年度の事業完了を目指し事業の進捗を図る。 また、他のため池について更新を進める。

所属 : 商工課

			款	商工費
事 業	中事業	予 算	項	商工費
名 称	企業等誘致奨励金	区分	目	商工業振興費
		. ,,	大事業	<b>:</b> 商工業振興事業費

 
 総合計画 の体系
 ビジョン
 基本計画
 基本事業

 企業誘致の推進

#### 事業目的

本市における企業及び研究所等の立地を促進するために、必要な奨励措置を講ずることにより、本市の産業構造の高度化及び多様化を促すとともに、市内の中小企業の振興を図り、産業の健全な発展と市勢の進展に寄与する。

#### 事 業 内 容

テックベース桑名、多度第2工業団地等に立地(増設)した民間企業に対して、企業立地奨励金を交付する。

<固定資産税相当額に対する助成>

期間:3年間限度額:3億円

■税額に対する補助割合:1年目100%、2年目75%、3年目50%

# 事業成果

# <交付実績>

令和2年度:3社 21,028千円

(内訳) 13,134千円 1年目100% テックベース桑名 3,478千円 1年目100% 多度第2工業団地

4,416千円 2年目 75% 東方地内

<参考>

平成27年度: 1社 1,855千円 平成28年度: -

平成29年度:2社 45,418千円

平成30年度: 2社 32,300千円 令和元年度: 3社 29,400千円

# 決算額 (単位:千円)

_		0 5 5	0 F E	740年成功体标
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分
	計	21,028	21,028	
	国支出金			
事業費	県支出金			
尹 未 其   	地方債			
	その他	21,028	21,028	
	一般財源			
その他財源の内訳 ふるさと応援基金繰入金 21,028千円				

#### \_\_\_\_\_ 今後の方向性

本市における企業及び研究所等の立地を促進するために、必要な奨励措置を講じている。さらなる立地促進のため、本市への企業立地のニーズを把握し、市内企業の動向も踏まえて、奨励措置の拡充もしくは新規事業としての実施を検討する。

所属 : 観光課

				款	商工費
事 業	中事業	予算	算	項	商工費
   名称	MICE等誘致推進事業費	区分	分	目	商工業振興費
				大事業	商工業振興事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	桑名をまちごとブランドに	プロモ―ション活動	広域連携による誘客

#### 事業目的

これまで、本市では、主にインバウンドによる消費を促すことで地方創生を目指し、MICEの誘致を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、国を超えての移動が制限され、従来通りの事業の推進が困難となってきた。

そこで、コロナ禍においても事業の推進を継続させるため、リモートでの視察を開始する等、持続的な収益を 得るための仕組みを構築する。

#### 事業内容

### <産業観光協議会事務局運営業務>

- ・産官学で構成している「桑名市産業観光まちづくり協議会」(以下「協議会」という。)の事務局機能を担う。
- ■海外の企業の方を対象に、コロナ禍で現地視察が困難となっているため、リモートでの視察を実施する。
- -リモートでの視察を行う際の撮影補助、動画作成等の各種支援や、企業の視察内容に合わせた産業観光 プログラムの磨き上げを実施する。
- ・視察の受入れ環境を整備するため、ホームページから視察の予約がワンストップでできる仕組みづくりを行う。

#### 事業成果

#### <産業観光協議会事務局運営業務>

- ・協議会において、リモートでの視察を実施した実績は、視察件数15件、参加者数約7,400人、視察収益1,375 千円であった。
- ・リモートでの視察を実施したことにより、海外の企業の経営者や管理者といった多様な層の方が参加しやすくなり、参加者の幅を広げることができた。
- コロナ禍でのリモート視察を経て、飲食企業の作業工程等、これまで現地では視察が難しかったところをリモートを使って見学することができるようになった。

#### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分		
	計	2,049	2,028			
事業費	国支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	2,000	2,000			
	一般財源	49	28			
その他財源の内訳 国際化推進基金繰入金 2,000千円						

#### 今後の方向性

afterコロナにおける産業観光のあり方について、エージェントと協議・調整をする中で、コロナ禍で視察のための移動距離や接触機会を減らすため、本市内を中心に多様な企業を視察したいという要望があることから、参加者にとって参加意欲が高まるようにコンテンツを磨き上げ、市内の消費へつなげることで、事業の継続及び発展を図る。

所属 : 商工課

				款	商工費
事 業	中事業	予	算	項	商工費
名 称	新型コロナウイルス感染症対策事業費	区	分	目	商工業振興費
				大事業	新型コロナウイルス感染症対策事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	桑名をまちごとブランドに	商業	商業経営環境の整備

#### 事業目的

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている市内事業者を切れ目なく支援し、地域経済の活性化を図る。

#### 事業内容

#### プレミアム付き応援食事券

最も大きな影響を受けた業種の一つである飲食業を対象に、プレミアム付き応援食事券を発行する。

・新型コロナ感染拡大防止対応補助金

事業者が実施する感染防止対策や業務改善・売上向上につながる取組に必要な経費に対して補助する。

キャッシュレス決済ポイント還元事業

市内対象店舗において、消費者がPayPayキャッシュレス決済を利用した場合にポイント還元する。

- 桑名商工会議所等が実施する商品発行事業への補助

桑名商工会議所等が実施する商品券発行事業に対し、プレミアム分と事務費の一部を補助する。

·休業要請協力金負担金

三重県緊急事態措置による休業要請・依頼に協力した中小事業者へ、県と協調して協力金を交付する。

#### 事業成果

市内経済の動向に注視し、切れ目なく支援を実施することができた。

- -プレミアム付き応援食事券:登録店舗 325店舗 全体消費額 293,754千円
- 新型コロナ感染拡大防止対応補助金・交付件数 1,517件 補助金交付額 131,450千円
- キャッシュレス決済ポイント還元事業:ポイント還元額 70,647千円 全体消費額 381,180千円
- 桑名商工会議所等が実施する商品発行事業への補助:
- 登録加盟店 452店舗(中小421店舗・大型31店舗) 換金額 299,071千円
- -休業要請協力金負担金: 県内事業者 614件 153,500千円 県外事業者 83件 16,848千円

### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分			
	計	553,269	545,849				
	国支出金	511,308	511,308				
事業費	県支出金						
	地方債						
	その他	41,961	34,541				
	一般財源						
その他財源の内訳 新型コロナウイルス感染症緊急対策基金繰入金 34,441千円 総務管理費寄附金 100千円				41千円			

# 今後の方向性

刻々と変化する状況の中、地域の経済の回復、活性化を支援した。今考え得る対策を、今実行に移し、切れ 目ない事業者支援を実施することで、地域経済を守り抜く。

所属: 都市整備課

大事業 国土強靭化推進事業費	1 1	中事業 木造住宅耐震事業費	予 区	算 分	款 項 目 大事業	土木費 土木管理費 土木総務費 国土強靭化推進事業費
----------------	-----	------------------	--------	--------	--------------------	-------------------------------------

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	命を守ることが最優先	防災	市民・企業などの自助・共助の災害対策促進

#### 事業目的

旧耐震基準の木造住宅について、住宅の耐震化(耐震基準に満たない木造住宅の低減)を促進し、地震の 揺れから家屋の倒壊を防ぎ、市民の命を守る。

# 事業内容

旧耐震木造住宅の除却支援、耐震診断、耐震補強設計・工事等による耐震化促進事業 9,550千円

#### 事業成果

以下の項目により、耐震化促進を支援した。

- 木造住宅耐震啓発業務委託 1式
- 木造住宅耐震診断業務委託 30件
- •木造住宅耐震補強設計事業補助金 1件
- -木造住宅耐震補強事業補助金 3件
- ・木造住宅耐震補強事業補助金併用リフォーム補助 2件
- •木造住宅除却補助金 17件
- ・木造住宅(空き家)除却補助金 4件

### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分				
	計	11,050	9,550					
	国支出金	5,034	4,383					
事業費	県支出金	2,248	1,899					
	地方債							
	その他							
	一般財源	3,768	3,268					
その他財	 †源の内訳							

# 今後の方向性

耐震診断や耐震補強事業(耐震工事)の実績数は、減少傾向にあるが、これは、大規模地震からの経年による市民の意識の薄れと考えられる。しかし、旧耐震基準の木造住宅は、未だ相当数あることが推測でき、今後想定される南海トラフ巨大地震等に備え、市民の減災力向上の支援として事業を継続して実施していく必要がある。

所属: 都市整備課

事業名称	中事業 避難路沿道建築物耐震支援	<b>賽事業費</b>	予区	算 分	款 項 目 大事業	土木費 土木管理費 土木総務費 国土強靭化推進事業費
	ハナネロエルがしばたテネス					

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	命を守ることが最優先	防災	防災体制および災害対策機能の強化

#### 事業目的

三重県地域防災計画に定める第一次緊急輸送道路に対し、地震によって倒壊することにより道路を閉鎖する恐れのある建築物(要安全確認計画記載建築物)の耐震診断に要する費用に対する補助を実施し、耐震化を促進することで、円滑な避難を図る。

#### 事業内容

桑名市内で耐震診断が義務付けられた要安全確認計画記載建築物の耐震診断に関わる事業1,540千円

\*事業期間は平成30年度から令和7年度まで 桑名市内の要安全確認計画記載建築物は、10件で、耐診断費用の総事業費 38,371千円

### 事業成果

第1次緊急輸送道路に対し、要安全確認計画記載建築物の耐震診断に要する費用に対する補助を1件実施した。

決算額	(単位:千円)
クトナーロス	\ <del>+</del>   <del>2</del> ·     1 /

	V 12 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分				
	計	1,788	1,540					
	国支出金	715	616					
事業費	県支出金	536	462					
	地方債							
	その他							
	一般財源	537	462					
その他則	排の内訳							

# 今後の方向性

避難路沿道建築物耐震支援事業は、令和2年までの時限事業であったが、令和7年に延長された。残る対象1件は、引き続き事業者に診断を促して行く。

所属 : 都市整備課

事業	中事業	予算	款項	土木費 土木管理費
名 称	宅地耐震化推進事業 	区分	目	土木総務費 国土強靭化推進事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	命を守ることが最優先	その他	その他

#### 事業目的

当該事業は、造成宅地防災区域の指定等に必要な調査であり、大規模盛土造成地の変動予測調査や、滑動崩落防止工事を支援するものである。

東日本大震災等の際、谷や沢を埋めたりした造成宅地で滑動崩落を生ずるなど、造成宅地における崖崩れ等による災害が生じていることから、既存の造成宅地について大規模盛土造成地の位置の把握と、それらの安全性の確認を進めることが目的である。

#### 事業内容

第二次スクリーニングを計画的に進めるため、造成年代調査等の基礎資料整理、現地踏査、並びに第二次スクリーニングの評価を行い、その結果を宅地カルテとしてまとめた。

### 事業成果

委託業務により第二次スクリーニング計画の作成を行った。

- 基礎資料整理
- •現地踏査
- ・第二次スクリーニング優先度評価
- 宅地カルテ等の作成

### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分			
	計	7,000	5,236				
	国支出金	3,500	2,618				
事業費	県支出金						
争未复	地方債						
	その他						
	一般財源	3,500	2,618				
その他財	 †源の内訳						

# 今後の方向性

調査した大規模盛土造成地において経過観察を行い、変状が見られた場合は、簡易地盤調査若しくは第二次スクリーニングの実施を行う。

所属 : 土木課

			款	土木費
事 業	中事業	予 算	項	土木管理費
名称	地籍調査事業費	区分	目	土木総務費
			大事業	国土強靭化推進事業費

総合計画<br/>の体系ビジョン基本計画基本事業都市デザイン魅力ある住環境の推進

#### 事業目的

土地の最も基礎的な情報である地籍を明らかにし、その結果を記録することにより、課税の適正化、公共事業の円滑化、災害復旧の迅速化等を図る。

#### 事業内容

一筆ごとに、地番、地目、所有者の調査や境界及び地籍に関する測量を行い、正確な「地籍図」及び「地籍簿」を作成する。

### 事業成果

多度御衣野④: E2工程(現地調査)0.03km FⅡ-1工程(一筆地測量)0.03km

FⅡ-2工程(原図作成)0.03km G工程(地積測定)0.03km G工程(地積測定)0.03km

H1工程(地籍簿案作成等)0.03 km FR工程(復元測量)0.03km 多度御衣野⑤: D工程(地籍図根多角測量)0.14km E1工程(調査図素図等作成)0.14km

福岡町② : FI工程(細部図根測量)0.17km FR工程(現況測量)0.17km 福岡町③ : FI工程(細部図根測量)0.16km FR工程(現況測量)0.16km

福岡町④ : E1工程(調査図素図等作成)0.22km

# 決算額 (単位:千円)

八升限 (十世:117)							
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分			
	計	6,847	6,274				
	国支出金						
事 <del>業</del> 弗	県支出金	4,134	4,134				
事 業 費	地方債						
	その他						
	一般財源	2,713	2,140				
その他則	 オ源の内訳						

# 今後の方向性

2地区(多度町御衣野・福岡町)の地籍調査業務を継続していく。

所属 : 土木課

			款	土木費
事業	中事業	予 算	項	土木管理費
名 称	狭あい道路整備等促進事業費	区分	目	土木総務費
			大事業	国土強靭化推進事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	地理的優位性を活かした元気なまち	道路	生活道路などの整備

# 事業目的

幅員4m未満の道路(建築基準法第42条第2項道路)等の「狭あい道路」は、十分な幅員がある道路に比べて車や人がすれ違う際の危険性が高く、緊急時の避難・救助活動が遅れる原因となってしまうことがある。このような「狭あい道路」を解消するため、敷地の一部を道路として広げ、防災性に優れた安全な住宅市街地の形成と居住環境の向上を図る。

# 事業内容

< 令和2年度事業費> 報奨金 1,844千円 分筆測量費等補助金他 1,731千円 整備工事費 5,387千円 消耗品及び調査費等 145千円

### 事業成果

令和2年度狭あい道路整備事業に係る申請が10件あり、176mの狭あい道路が解消され、それに伴い寄付を受けた後退面積のうち194㎡を整備することができた。

	<b>//</b>						
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分			
	計	9,275	9,107				
	国支出金	4,186	4,186				
事業費	県支出金						
争未复	地方債	2,600	2,600				
	その他						
	一般財源	2,489	2,321				
その他則	 オ源の内訳						

# 今後の方向性

当事業は今年度から新たに社会資本総合整備計画「三重県における市街地の安全性の向上(防災・安全)」 の5か年計画を策定・実施しており、令和5年度まで国費の交付を受けて狭あい道路解消を推進していく。

所属 : 土木課

事業	山車業	予算	款	土木費
	中事業   急傾斜地崩壊対策事業	区分	項 目	土木管理費 土木総務費
			大事業	国土強靭化推進事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	命を守ることが最優先	防災	防災体制および災害対策機能の強化

# 事業目的

降雨等により崖崩れが懸念される非常に危険な急傾斜地に、擁壁、法枠等を施工することにより、崩壊危険 箇所における民家及び公共施設への影響を未然に防止し、緊急対応が必要な地区については対策工事を 施工する。

# 事業内容

事業主体は三重県であり、市は負担金を支払う。

上野地区 総延長 1,100m -工事費(1工区) 三重県事業費 100,000千円 桑名市は上記事業費の20%を負担 20,000千円

### 事業成果

上野地区(1工区)の対策工事を実施し、民家及び公共施設への影響を未然に防止する対策を進められた。

### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分			
	計	20,000	20,000				
	国支出金						
事業費	県支出金						
→ 未 其   	地方債	20,000	20,000				
	その他						
	一般財源						
その他則	 オ源の内訳						

# 今後の方向性

降雨等により崖崩れが懸念される非常に危険な急傾斜地であるため、住民の安全・安心を図るため早期に 対策工事を実施していく。

所属 アセットマネジメント課

事業名称	中事業 ICT道路調査事業費		算 分	款項目	土木費 道路橋りょう費 道路維持費
				大事業	スマート自治体推進事業費

総合計画 の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	地理的優位性を活かした元気なまち	道路	道路舗装・付属施設の維持管理

#### 事業目的

道路施設の不備による事故等を未然に防ぐために、市内道路状況を調査、把握して市内全域を対象とした計画的な道路施設の修繕につなげる。

#### 事業内容

桑名市が管理する市道における路面の段差や劣化状況をICT等の新技術を利用し、データ収集及び解析を行い、路面の状況を把握するとともに修繕の候補箇所を抽出し、劣化状況を評価する。これにより、効率的かつ計画的な修繕を行うために必要な情報を得ることができ、道路施設の不備による事故等を未然に防止する。

#### 事業成果

- •業務委託契約締結日 令和元年11月29日
- ▶履行期間 令和元年12月1日~令和4年3月31日
- 走行回数と走行距離
- パトロール回数 985件 走行距離 42,427.4km
- ・管理路線における走行率 92.3%

### 決算額 (単位:千円)

V V I I I V V I I I V V V						
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分		
事業費	計	1,500	1,478			
	国支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,500	1,478			
その他財源の内訳						

# 今後の方向性

市道の路面状況を客観的かつリアルタイムに把握し、効率的かつ計画的な修繕を行うために必要な情報を得ることで、道路施設の不備による事故等を未然に防止する。

所属: アセットマネジメント課

事業		予算	<b>1</b>	款	土木費
# *	中事業	]′ <del>]1</del>	+	項	道路橋りょう費
名 称	道路施設管理費	区分	}	目	道路維持費
				大事業	地域カアップ支援事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	中央集権型から全員参加型市政に	市民と行政のパートナーシップ	市民自治の推進および地域運営組織の形成

### 事業目的

藤が丘まちづくり協議会設立準備委員会との街路樹木維持管理作業に関する協定を締結し、公民連携による「地域カアップ」に向けた支援モデル事業として進める。

#### 事業内容

藤が丘まちづくり協議会設立準備委員会は地区内に植樹されている街路樹木(高木499本・寄植剪定約1,250㎡・除草約1,690㎡)の維持管理作業を、一年を通じ、地域コミュニティにおける主体的な活動として、自らの判断と裁量により行い、市は協力金を支払う。

### 事業成果

### •協定期間

令和2年5月1日~令和3年3月20日まで

#### 内容

樹木の下枝剪定及び車道・歩道側の下枝高さ管理及び寄植剪定、枯枝処理並びに植樹枡内除草・落葉清 帚

•樹木維持管理本数

高木剪定(常緑樹·落葉樹) 499本 寄植剪定(低木) 約1,250㎡ 植樹枡内及び植樹帯除草 約1,690㎡

## 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分
	計	1,900	1,900	
	国支出金			
事業費	県支出金			
争未复	地方債			
	その他			
	一般財源	1,900	1,900	
その他財源の内訳				

### 今後の方向性

他の地区でも取り組みを進め、モデル事業を水平展開していく。

所属 : 土木課

± **		=	/s/s	款	土木費
事業	中事業	予	算	項	道路橋りょう費
名称	市道改良事業費	区	分	目	道路新設改良費
				大事業	道路新設改良事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	地理的優位性を活かした元気なまち	道路	道路舗装・付属施設の維持管理

### 事業目的

市道改良事業により、計画的な改良及び補修を図り、円滑な通行と安全確保を行う。

#### 事業内容

〇市道江場中野小貝須線外道路改良工事 16,311千円 (うち、令和元年度前払済額 5,600千円) 施工延長 267.9m(側溝工、集水桝工)

- 〇市道東汰上6号線道路詳細設計業務 10,822千円
  - ・門型ラーメン詳細設計
- 〇市道東汰上6号線道路改良工事(沢北橋8号橋) (当初請負金額 45,078千円) 18,000千円(令和2年度前払額)

### 事業成果

計画的な道路施設の補修及び浸水対策となる側溝等の改良工事を行ったことにより、円滑な通行と安全確保が図られた。(市道江場中野小貝須線外)

狭小な橋梁を緊急車両等が通行できる橋梁に改良するため、令和元年度の予備設計に引き続き詳細設計を実施し、工事を着手した。(市道東汰上6号線)

決算額	(単位:千円)
クトナーロス	\ <del>+</del>   <del>2</del> ·     1 /

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分
	計	85,374	39,533	11,973
	国支出金			
事業費	県支出金			
争未复	地方債	79,600	36,282	10,100
	その他			
	一般財源	5,774	3,251	1,873
その他則	└──── オ源の内訳		1	

## 今後の方向性

市道東汰上6号線:令和3年6月竣工

今後の市道改良事業については、別の起債を利用し、今後も計画的な改良及び補修を図り、円滑な通行と安全確保を行う。

所属 : 土木課

事業名称	中事業 道路ストック対策事業費	予算区分	目	土木費 道路橋りょう費 道路新設改良費 道路新設改良事業費
	1225-5	#+ələ		#+#*

総合計画<br/>の体系ビジョン基本計画基本事業地理的優位性を活かした元気なまち道路道路舗装・付属施設の維持管理

### 事業目的

道路ストック総点検に基づき、今後の老朽化に備え、計画的な維持管理及び補修を行い、円滑な通行と安全確保を図る。

### 事業内容

- 〇坂井多度線道路改良工事 13,809千円 施工延長 120m
- 〇坂井多度線舗装修繕工事 242千円 施工延長 2.9m (段差解消 5箇所)

### 事業成果

総点検結果等により、老朽化した土木施設について改良を行い、円滑な通行と安全確保を図るため、舗装工事を実施した。

	決算額 (単位:千円)					
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分		
	計	36,564	14,051			
	国支出金	17,782	6,782			
事業費	県支出金					
尹 未 其 	地方債	17,100	6,100			
	その他					
	一般財源	1,682	1,169			
その他則	が原の内訳					

### 今後の方向性

交通量の増大による道路の損傷が発生しているため、引き続き道路補修を行い、安全で円滑な交通の確保 を図る。

所属 : 土木課

					款	土木費
1	事業	中事業	予	算	項	道路橋りょう費
;	名 称	道路老朽化対策事業費	区	分	目	道路新設改良費
		(公共施設等適正管理推進事業費)			大事業	道路新設改良事業費

総合計画<br/>の体系ビジョン基本計画基本事業地理的優位性を活かした元気なまち道路道路舗装・付属施設の維持管理

### 事業目的

道路ストック総点検に基づき、今後の老朽化に備え、計画的な維持管理及び補修を行い、円滑な通行と安全確保を図る。

## 事 業 内 容

〇道路舗装修繕工事 14,776千円 -2路線(大山田星川線、坂井多度線) 総延長 415m

### 事業成果

総点検結果等により、老朽化した土木施設について改良を行い、円滑な通行と安全確保を図るため、舗装工事を実施した。

### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分
	計	15,000	14,776	
	国支出金			
事業費	県支出金			
争 未 負	地方債	15,000	14,700	
	その他			
	一般財源		76	
その他財	 t源の内訳			

### 今後の方向性

交通量の増大による道路の損傷が発生しているため、引き続き道路補修を行い、安全で円滑な交通の確保 を図る。

所属 : 土木課

生活道路などの整備

事 業 名 称	中事業安全対策事業費		予 算区 分	款 項 目 大事業	土木費 道路橋りょう費 道路新設改良費 道路新設改良事業費
総合計画	ビジョン	基本計画			基本事業
の体系	地理的優位性を活かした元気なまち				生活道路などの整備

## 事業目的

道路

大規模な住宅開発により、通勤・通学に伴う交通量の増加が見込まれる地域において、通学路の安全対策 を行い、また、改良すべき踏切道に指定されている伊勢朝日第2号踏切について、歩道設置工事を行い、車 両と歩行者が安全・安心に通過できる道路空間の整備を図るものである。

### 事業内容

〇東金井2号線設計業務(近鉄伊勢朝日第2号踏切)

地理的優位性を活かした元気なまち

### 事業成果

改良すべき踏切道に指定されている伊勢朝日第2号踏切について、歩道設置工事を行い、車両と歩行者が 安全・安心に通過できる道路空間の整備を行うべく詳細設計を行った。

	決算額 (単位:千円) 2 年 度 <b>2</b> 年 度 うち2年度決算額						
		2 年 度 予算現額(繰越含)					
	計	42,971	24,348	21,100			
事業費	国支出金	23,359	13,200	11,605			
	県支出金						
	地方債	17,000	9,574	8,400			
	その他						
	一般財源	2,612	1,574	1,095			
その他財源の内訳							

### 今後の方向性

令和2年度の詳細設計をもとに鉄道事業者と協議を進め、工事に着手し車両と歩行者が安全・安心に通過 できる道路空間の整備を目指す。

所属 : 土木課

事業名称	中事業 スマートインターチェンジ推済	事業 マートインターチェンジ推進事業費		算 分	款 項 目 大事業	土木費 道路橋りょう費 道路新設改良費 道路新設改良事業費
総合計画	ビジョン	ā	基本計画	画		基本事業
の体系	047		道路			幹線道路などの整備

### 事業目的

都市計画マスタープランに位置づけられた、多度地域南部及び、インターチェンジ周辺の産業誘導ゾーンへの企業立地をサポートする広域交通網の充実、都市内幹線道路の整備を図る。

### 事業内容

大山田PAの周辺道路における現況調査等の広域的検討を行い、スマートインターチェンジの必要性を確認し、国による新規事業化の推進を図る。

令和2年度:大山田PAスマートインターチェンジ実施計画書作成等業務委託

### 事業成果

スマートインターチェンジの必要性を確認し広域的検討を行うため、業務委託を発注し交通量推計等の業務に着手した。

### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分	
	計	9,200	2,300		
	国支出金				
事業費	県支出金				
→ 未 其   	地方債				
	その他	9,200	2,300		
	一般財源				
その他則	オ源の内訳	ふるさと応援基金繰入金 2	2,300千円		

### 今後の方向性

国、中日本高速道路株式会社、三重県等の関係機関と協議を重ね、準備会、地区協議会を順次行う。

所属 : 土木課

事 業 名 称	中事業森忠地区道路改良事業費	予算区分	目	土木費 道路橋りょう費 道路新設改良費 国土強靭化推進事業費
	ب دیا	甘木計画		<b>甘★</b> 車衆

総合計画<br/>の体系ビジョン基本計画基本事業地理的優位性を活かした元気なまち道路道路舗装・付属施設の維持管理

### 事業目的

近年多発するゲリラ豪雨に対し、浸水常襲地域に雨水管を整備することにより浸水被害を軽減し、安全・安 心な生活基盤の提供を図る。

### 事業内容

〇森忠地区浸水対策工事 側溝設置 延長 28.6m 暗渠排水管 延長 7.5m

### 事業成果

現況浸水箇所への雨水の流入を分散させ、既設排水施設の負担を軽減させることにより、浸水被害の軽減を行う工事を実施した。

決算額	(単位:千円)
クトナーロス	\ <del>+</del>   <del>2</del> ·     1 /

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分
	計	9,500	4,422	
	国支出金			
<b>声                                    </b>	県支出金			
事業費	地方債	9,000	4,200	
	その他			
	一般財源	500	222	
その他財源の内訳			•	

### 今後の方向性

令和3年度も暗渠排水管による対策工事を実施し、安全・安心な地域づくりに努める。

所属 : 土木課

事業名称	中事業 江場中野小貝須線		予 算区 分	款 項 目 大事業	土木費 道路橋りょう費 道路新設改良費 国土強靭化推進事業費
総合計画	ビジョン	基	本計画		基本事業
の体系	地理的優位性を活かした元気なまち		道路		道路舗装・付属施設の維持管理

## 事 業 目 的

近年多発するゲリラ豪雨に対し、浸水常襲地域に雨水管を整備することにより浸水被害を軽減し、安全・安心な生活基盤の提供を図る。

## 事 業 内 容

〇市道江場中野小貝須線外道路改良工事 側溝設置 施工延長 82.8m

### 事業成果

現況水路の流下方向を分散させ、既設排水施設の負担を軽減させることにより、浸水被害の軽減を行う工事を実施した。

決算額 (単位:千円)						
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分		
	計	6,279	5,878			
事業費	国支出金					
	県支出金					
	地方債	5,789	5,789			
	その他					
	一般財源	490	89			
その他財源の内訳						

令和2年度にて事業完了した。

所属 : 土木課

名 称   道路網整備事業費 区 分
--------------------

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	地理的優位性を活かした元気なまち	道路	幹線道路などの整備

## 事業目的

国道、県道の整備による交通量の増大に対し、通過交通を中心とした路線の整備を行い、渋滞慢性箇所の 改善を図る。

## 事 業 内 容

- ●道路調査検討業務委託 2,145千円
- •旅行時間調査、整備効果検討

### 事業成果

大山田PAに計画するスマートインターチェンジの整備効果について、産業活動、渋滞緩和、近隣住民の通勤 通学の利便性と言った視点から検討を行った。

### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分
	計	2,215	2,145	2,145
	国支出金			
<b>声 **</b> #	県支出金			
事 業 費	地方債			
	その他			
	一般財源	2,215	2,145	2,145
その他則	 オ源の内訳		-	

### 今後の方向性

大山田PAへのスマートインターチェンジ連結許可のため、国、中日本高速道路株式会社、三重県等の関係機関と協議を行う。

所属 : 土木課

事業	中事業	予 算	款	土木費
<sup>子                                   </sup>	中事業 橋梁長寿命化対策事業費	区分	項目	道路橋りょう費 橋りょう維持費
			大事業	橋りょう維持補修費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	地理的優位性を活かした元気なまち	道路	橋りょうの維持管理

### 事業目的

これまでの橋梁の維持管理は、主に致命的な損傷や機能不全に陥った段階で、大規模な補修や橋りょうを架け替える等、事後的な補修を行ってきた。今後、橋梁の老朽化が急速に増加していくことから、事後的補修では維持管理費が増大する。このため、従来の事後的補修から致命的な損傷が顕在化する前に計画的な補修及び耐震補強を実施し、長寿命化を図る。

## 事 業 内 容

令和2年度:計画策定橋梁数 607橋

- 〇修繕計画、設計積算
- 令和2年度:修繕計画、設計積算 8橋
- 〇修繕·補強工事
- · 令和2年度:修繕·補強工事 8橋
- 〇法定点検
- 令和2年度: 橋梁点検 240橋

### 事業成果

法定点検を実施し橋梁の損傷、劣化等の判定を行い、早期の対策が必要な橋梁には計画的な修繕をしたことにより、今後のコスト縮減及び安全・安心な道路交通の確保を進めた。

決算額 (単位:千円)						
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分		
	計	106,982	106,893	5,449		
	国支出金	58,437	58,437	2,887		
事業費	県支出金					
□ 尹 未 其 □	地方債	34,877	34,877	2,100		
	その他					
	一般財源	13,668	13,579	462		
その他則	<b>計源の内訳</b>					

### 今後の方向性

橋梁長寿命化修繕計画の見直しを行い、計画的な補修及び耐震補強を行う。それとともに法定点検の実施、修繕及び架け替えにかかる費用の縮減を図るため、損傷が大きい橋梁を優先的に修繕設計、修繕工事を進め、円滑な通行と安全確保に努める。

所属 : 土木課

事業	中事業	予 算	款項	土木費 河川費
名 称	緊急浚渫推進事業費 	区分	日	河川総務費 国土強靭化推進事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	命を守ることが最優先	河川	管理者による改修と維持管理

### 事業目的

全国的に河川氾濫等の大規模な浸水被害が多発する中、地方団体が単独事業として緊急的に河川等の浚渫が実施できるよう、新たに地方財政計画に計上され、当該経費について特例措置として令和2年度からの5年間、地方債の発行が創設される。(地方債充当率:100%、元利償還金に対する交付税措置率:70%)そこで、この地方債を活用し、河川内に堆積した土砂及び樹木等を除却することで、円滑な流下能力を維持し、市民生活の安全・安心を確保する。

### 事業内容

〇堆積土砂撤去工事 5河川(力尾谷川、山江川、砂出川、宇路田川、長島川) 堆積土砂量 2,040㎡

### 事業成果

河川内に堆積した土砂及び樹木等を除却したことで、円滑な流下能力を維持し、市民生活の安全・安心を確保した。

### 決算額 (単位:千円)

	77 TE 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分				
	計	30,000	26,620					
	国支出金							
事業費	県支出金							
尹未复	地方債	30,000	26,620					
	その他							
	一般財源							
その他則	 オ源の内訳							

### 今後の方向性

引き続き流下能力を阻害している河川については同様に施工し、浚渫することで市民の安全・安心を確保していく。

所属 : 土木課

事 業 名 称	中事業河川改良事業費		算 分	目	土木費 河川費 河川新設改良費 国土強靭化推進事業費
				八爭未	<b>四</b> 工强初 10 推延争未复

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	命を守ることが最優先	河川	管理者による改修と維持管理

### 事業目的

河川・水路の環境保全と降雨時における冠水を防止し、市民の安全確保を行う。

### 事業内容

#### ○設計業務

設計業務(山江川)(当初請負金額 8,107千円) 2,400千円(令和2年度前払額)

### 〇河川改良工事

奥赤沢川 L型水路工 30m、橋梁撤去復旧 1橋(当初請負金額 4,598千円) 1,800千円(令和2年度前払額)

### 事業成果

L型ブロックにて改良を施工することで河積不足を解消し、環境保全と降雨時における冠水を防止し、治水上の安全を確保した。

#### (単位:千円) 決算額 2 年 度 2 年 度 うち2年度決算額 予算現額(繰越含) 決算額(繰越含) 繰越分 計 18.918 4,200 国支出金 県支出金 事業費 地方債 15.500 4.080 その他 一般財源 3,418 120

### 今後の方向性

引き続き河川改修を行い、治水上の安全確保を図る。

その他財源の内訳

所属 : 都市整備課

			款	土木費
事 業	中事業	予 算	項	都市計画費
名称	屋外広告物事業費	区 分	目	都市計画総務費
			大事業	<b>:都市計画推進事業費</b>

総合計画<br/>の体系ビジョン基本計画基本事業概名をまちごとブランドに都市デザイン魅力ある住環境の推進

### 事業目的

良好な景観の形成、風致の維持、公衆に対する危害の防止を目的として、三重県屋外広告物条例が定められており、令和2年度から屋外広告物に関する業務が三重県から権限移譲された。 よって、屋外広告物の設置場所や大きさその他の規格について必要な規制を行う。

### 事業内容

屋外広告物に関する許認可事務を行うもので、許可等申請に基づき、屋外広告物の設置場所や大きさその他の規格について現地点検を行う。

また、違反広告物の簡易除却及び取り締まりのためのパトロールを行う。

### 事業成果

許可件数 3,235件

許可手数料 6,054,140円(調停、収入済額)

5,223,120円(基準日を許可日とした場合の手数料)

違反広告物の簡易除却件数 25件

受付台帳システム作成

### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分
	計	5,898	5,727	
	国支出金			
<del>+</del> * #	県支出金			
事業費	地方債			
	その他	5,898	5,727	
	一般財源			
その他則	 †源の内訳	屋外広告物許可手数料 5	 .727千円	

### 今後の方向性

良好な景観の形成、風致の維持、公衆に対する危害の防止を行うため、今後も継続して事業を実施していく。

所属 : 都市整備課

			款	土木費
事業	中事業	予 算	項	都市計画費
名称	多度町力尾地区緊急自然災害防止対策事業	区分	目	都市計画総務費
			大事業	:都市計画推進事業費 

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	命を守ることが最優先	防災	防災体制および災害対策機能の強化

### 事業目的

令和元年9月4日の豪雨により発生した市管理の緑地の土砂崩落について、緊急自然災害防止対策事業債における林地崩壊防止事業(交付税措置率70%)を活用することとし、当地の復旧及び再度災害を防止することにより、市民の安全・安心を図る。

### 事業内容

当地は事業中である桑名市多度力尾土地区画整理事業の施行区域内であることから、その対策について同組合と協定を締結し、組合において事業を実施するため建設事業負担金を拠出する。

内訳: 施工面積 約12,750㎡、土工 約28,000㎡、法面工 約12,240㎡、他

### 事業成果

### 繰越分

測量、地質調査、設計:完了

現年分

工事:契約済みであり、前払金のみ支出済

### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分
	計	329,027	131,973	31,477
	国支出金			
事業費	県支出金			
争未复	地方債	325,900	131,000	31,300
	その他			
	一般財源	3,127	973	177
その他財源の内訳			•	

### 今後の方向性

令和3年度は令和2年度に引き続き対策工事(土工、法面工)を行い事業完了の予定である。

所属 : 土木課

事業名称	中事業 桑部播磨線	予算区分	d a	土木費 都市計画費 街路事業費 事業 街路整備事業費
	A - A			11 1

 総合計画
 ビジョン
 基本計画
 基本事業

 の体系
 地理的優位性を活かした元気なまち
 道路
 幹線道路などの整備

### 事業目的

桑部播磨線は、桑名市を南北に縦断する幹線道路として都市計画決定を受けており、みえ朝日ICや四日市市方面へのアクセス道路としての役割を担っている。本路線については、自動車交通の広域的分散に貢献し、渋滞緩和や産業振興を図る重要な路線として整備する。

### 事業内容

当該路線の未整備区間である国道421号から桑部橋南交差点付近までを県事業で整備する。 ・建設事業負担金(橋梁詳細設計、建物調査、地質調査、用地買収等) 535,000千円(県事業費) 89,167千円(市負担金)

- ・事業主体は三重県であり、市は負担金を支払う。(負担率1/6)
- -総事業費:約73億円

### 事業成果

未整備区間の用地買収を進め、橋梁詳細設計、建物調査、地質調査等を実施し、工事着手までの進捗を図った。

決算額 (単位:千円)						
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分		
	計	89,167	89,167			
	国支出金					
事業費	県支出金					
<b>尹</b> 未 其	地方債	84,300	84,300			
	その他					
	一般財源	4,867	4,867			
その他則	†源の内訳					

今後の方向性

今後は令和2年度同様に用地買収を進め、事業の進捗を図る。

所属 : 土木課

			款	土木費
事業	中事業	予 算	項	都市計画費
名 称	総合運動公園	区分	目	公園費
			大事業	公園整備事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	桑名をまちごとブランドに	都市デザイン	緑地、緑化の保全形成

### 事業目的

総合運動公園は、陽だまりの丘に隣接し、桑名市及び広域的な周辺地域の住民利用を目的とした、子どもから高齢者までの幅広い方々のライフスタイルに応じた生涯スポーツ実践の場として平成4年6月に事業認可を受けた。

本事業では、総合運動公園について、「緑の中のスポーツ・レクリエーション」をコンセプトとして、緑豊かな自然環境を活かし、多様な利用ができる公園づくりを目指し整備を行う。

#### 事 業 内 容

### 総合運動公園整備事業(桑名市大字播磨地内)

## ○第二工区

- 園路 透水性脱色アスファルト舗装 434㎡ 張芝工 1,490㎡

・エントランス整備:透水性平板ブロック舗装 767㎡

### 事業成果

子どもから高齢者までの幅広い方々のライフスタイルに応じ多様な利用ができる公園づくりを推進していくため、令和元年度の中央駐車場エントランス整備に引き続き、令和2年度はエントランス整備及び園路整備を行った。

決算額 (単位:千円)						
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分		
	計	46,758	46,755			
	国支出金	21,000	21,000			
     事業費	県支出金					
争未复	地方債	21,000	19,255			
	その他					
	一般財源	4,758	6,500			
その他則	 オ源の内訳					

### 今後の方向性

令和3年度も引き続き第二工区の疎林広場等の整備を行う予定である。

所属: 駅周辺整備課

事業名称	中事業 桑名駅周辺施設整備事業費	<u>}</u>	予算区分	款 項 目 大事業	土木費 都市計画費 土地区画整理事業費 ブランド推進事業費
	ビジョン	j	 基本計画	•	基本事業

 総合計画
 ビジョン
 基本計画
 基本事業

 の体系
 地理的優位性を活かした元気なまち
 中心市街地
 都市交流拠点の整備

### 事業目的

桑名駅周辺地区整備構想及び桑名駅自由通路整備に合わせ、桑名駅周辺を再編することにより、都市機能の集積を図り、利便性・安全性の向上及びにぎわいと活力ある拠点づくりを進める。

### 事業内容

- 桑名駅周辺整備に係る事業者選定のためのプロポーザル審査委員会を開催(令和2年7月21日)
- 桑名駅東口駅前広場(第2期)設計業務及び整備工事
- -桑名駅自由通路及び橋上駅舎完成式典の開催(令和2年8月29日)
- 桑名駅周辺複合施設等整備事業に係る調査等業務(境界確定、面積算定、地歴調査)
- 桑名駅周辺複合施設等整備事業に係る実施協定素案作成

### 事業成果

- -優先交渉権者に決定された長島観光開発株式会社と令和2年7月28日に桑名駅周辺複合施設等整備事業に関する基本協定書を締結した。
- 桑名駅自由通路供用開始に合わせ、桑名駅東口駅前広場(第2期)整備工事を施工し、桑名駅周辺複合施設等整備までの暫定的な歩行者動線を確保した。

決算額 (単位:千円)						
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分		
	計	39,395	32,178	11,848		
	国支出金	1,000	1,000			
事業費	県支出金					
争未复	地方債	900	900			
	その他					
	一般財源	37,495	30,278	11,848		
その他財源の内訳						
		4 46 -				

### 今後の方向性

令和4年1月の桑名駅周辺複合施設等整備事業に関する実施協定締結を目指す。

所属 : 駅周辺整備課

事業	中事業	予算	款	土木費
	│ <sup>中 更 未</sup> │ 桑名駅自由通路整備事業費	区分	· 項   目	都市計画費 土地区画整理事業費
			大事業	ジランド推進事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	地理的優位性を活かした元気なまち	中心市街地	都市交流拠点の整備

## 事 業 目 的

桑名駅周辺は、鉄道により東西に分断され、周辺の踏切等を利用せざるを得ない状況であり、利便性や踏 切通過の安全性の観点から交通機能の整備が求められている。

桑名駅自由通路及び橋上駅舎を整備することにより、高齢者等の移動の円滑化、踏切事故の防止、災害時の緊急避難経路の確保等、地域住民の安全性・利便性の向上及び都市基盤や交通結節点としての機能強化を図る。

### 事業内容

○桑名駅自由通路整備工事に関すること(通路部等)

<事業費内訳(繰越含)>

自由通路等整備工事委託 819,195千円

○桑名駅自由通路整備工事に関すること(橋上駅舎等)

<事業費内訳(繰越含)>

橋上駅舎等整備工事委託 2,407,332千円

物件移転補償 23,460千円

### 事業成果

令和2年8月30日に桑名駅自由通路及び橋上駅舎の供用を開始した。

	決算額 (単位:千円)						
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分			
	計	3,987,174	3,249,987	2,648,544			
	国支出金	1,066,088	932,771	893,540			
事業費	県支出金						
尹未良	地方債	1,967,300	1,660,000	1,476,000			
	その他						
	一般財源	953,786	657,216	279,004			
その他則	オ源の内訳						

### 今後の方向性

旧駅舎の解体撤去工事及び旧駅舎撤去箇所のホーム上屋の整備を進め、令和3年度に事業を完了する。

所属: 駅周辺整備課

事 業 名 称	中事業 桑名駅自由通路管理運営費	Ž		算 分	款 項 目 大事業	土木費 都市計画費 土地区画整理事業費 ブランド推進事業費
総合計画	ビジョン		本計画	Ī		基本事業

の体系 地理的優位性を活かした元気なまち 中心市街地 都市交流拠点の整備

### 事業目的

桑名駅自由通路の供用開始に伴い、適切に維持管理を行い、利用者の安全・安心を確保する。

#### 事業内容

桑名駅自由通路を安全に利用するための維持管理を行う。

- -清掃道具等消耗品購入
- •消火器購入
- •自由通路内照明等電気代
- ・エレベーター保守点検 ・自由通路清掃業務
- ■機械警備(火災監視)業務
- 消防用設備等点検業務

### 事業成果

桑名駅自由通路を安全に利用するための維持管理を行った。

#### (単位:千円) 決算額 うち2年度決算額 2 年 度 2 年 度 予算現額(繰越含) 決算額(繰越含) 繰越分 計 2.914 2.670 国支出金 県支出金 事業費 地方債 その他 一般財源 2,914 2,670 その他財源の内訳

今後の方向性

引き続き桑名駅自由通路の維持管理を行い、駅利用者の安全・安心を確保する。

所属 : 桑名駅西整備事務所

			款	土木費
事 業	中事業	予 算	項	都市計画費
   名称	土地区画整備事業費	   区分	目	土地区画整理事業費
		. ,,	大事業	桑名駅西土地区画整理事業費

総合計画<br/>の体系ビジョン基本計画基本事業地理的優位性を活かした元気なまち中心市街地にぎわいある中心市街地の整備

### 事業目的

桑名駅西土地区画整理事業区域はJR・近鉄桑名駅の西側に隣接した桑名市の玄関口であるが、駅へのアクセス道路や駅前広場が未整備で木造密集市街地が連続するなど、早急な都市基盤整備が望まれる地域である。

このため、土地区画整備事業により道路・公園・駅前広場・下水道等の公共施設を整備し、ゆとりのある生活環境の造成、駅西口への交通処理の円滑化を図る。

#### 事業内容

- 〇土地区画整理事業に伴う建物等移転補償等を行う。
- 建物等調査積算業務委託(完了件数51件)
- -建物移転補償(完了件数35件) 代替駐車場整備工事
- 〇土地区画整理事業区域内のインフラ整備を行う。
- 電線共同溝詳細設計業務委託 特殊道路6-1号他実施設計業務委託
- -西口駅前線、9-3号他道路整備他工事 暫定駅西広場整備工事
- ・工事負担金(水道工事、ガス工事)
- 〇土地区画整理事業の法的手続き及び進捗の管理等を行う。
- •使用収益開始等業務委託 事業計画変更図書作成業務委託

#### 事業成果

桑名駅西口周辺を中心とした建物移転補償、西口駅前線、9-3号道路整備工事を始め、道路及び宅地整備工事並びに水道等の工事を行い、桑名駅西土地区画整理事業が進捗した。

※(%)は計画に対する進捗率

平成30年度末 令和元年度末 令和2年度末 仮換地の使用収益開始面積(m) 17,703(10.3%) 18,053(10.5%) 18,053 (10.5%) 事業費の累計(百万円) 15,264 (53.7%) 16,722(58.8%) 19,107(67.2%) 移転補償契約戸数(戸) 222(50.1%) 247(55.8%) 279 (63.0%) 整備道路延長(m) 1,864(22.3%) 2,043(24.4%) 2,365 (28.2%)

### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分		
	計	2,653,399	1,930,013	365,100		
	国支出金	766,258	472,165	83,538		
<b>声</b>	県支出金					
事業費	地方債	1,443,001	1,096,560	201,201		
	その他	4,726	4,726			
	一般財源	439,414	356,562	80,361		
その他財源の内訳		土地売払収入 4,726千円				

### 今後の方向性

桑名駅自由通路で接続された桑名駅東口の複合施設等整備事業と桑名駅西土地区画整理事業との相乗効果による桑名駅周辺のにぎわい創出を図るため、桑名駅西口の駅前広場や幹線道路の整備を集中して進めていくとともに、桑名中央東員線以南の幹線道路整備に係る物件移転補償を進める。

所属 消防本部総務課

消防体制の充実強化

事業名称	中事業 車両購入費			—— 算 分	款 項 目 大事業	消防費 消防費 常備消防費 消防施設整備事業費
総合計画	ビジョン	基	基本計画	Ī		基本事業
の体系	命を守ることが最優先	消	消防•救急			消防体制の充実強化

### 事業目的

消防·救急

車両整備計画に基づき、桑名市消防署配備車両1台、桑名市消防署大山田分署配備車両1台の計2台を更 新する。

#### 事業内容

各車両とも、その使用頻度の高さからも更新が必要なため購入する。

命を守ることが最優先

- ■桑名市消防署配備「桑名41」(救助工作車) 平成13年度登録から18年経過 156,660千円
- 桑名市消防署大山田分署配備「大山田31」(屈折梯子付消防ポンプ自動車) 平成15年度登録から16年経 過 104,638千円

### 事業成果

老朽化した救助工作車及び屈折梯子付消防ポンプ自動車を更新したことにより、救助消火活動に関して、よ り迅速な対応が可能となった。

# 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額   繰越分
	計	261,430	261,298	
	国支出金			
車 業 弗	県支出金			
事業費	地方債	261,000	253,200	
	その他			
	一般財源	430	8,098	
その他は	・ ・源の内訳			=

### 今後の方向性

老朽化した消防車両及び積載装備品が原因で、緊急出場時に対応ができなくなることを防ぐために、消防車 両の更新基準をもとに、今後も計画的に整備を実施し、さらなる安全・安心を提供する。

所属 消防本部総務課

[ 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	事業     中事業     予算       名称     消火栓整備費     区分	款 項 目 大事	消防費 消防費 常備消防費 業 消防水利施設整備事業費
---	--	-------------------	--------------------------------------

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	命を守ることが最優先	消防・救急	消防体制の充実強化

### 事業目的

消防水利の環境整備を計画的に進める事により、火災発生時の消防活動に万全を期する。また、劣化が著しい消火栓は過去の事故のように市民生活やライフラインに極めて高い危険を及ぼす恐れがあることから、安全・安心なまちづくりのため早急な対策を行う。

### 事業内容

桑名市の消火栓の新設・交換・移設を実施する。

- <事業費内訳>

- ・老朽化による改修3基 2,328千円 ・水道管布設替えに伴う移設25基 16,003千円 ・上下水道部によるコストキャップ事業に伴う移設7基 4,390千円

### 事業成果

消火栓設置による水利整備の充実を行い、老朽化による事故を未然に防ぐことで災害に備え、安全・安心な まちづくりの構築につながった。

決算額 (単位:千円) 								
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分				
	計	37,470	22,721					
	国支出金							
事業費	県支出金							
尹 未 其 	地方債	37,466	22,720					
	その他							
	一般財源	4	1					
その他財源の内訳			•					

### 今後の方向性

劣化の著しい消火栓の緊急交換修繕により消防水利の安全確保を図り、安全・安心なまちづくりを構築す

所属 消防本部総務課

事 業 名 称	中事業 消防活動用機器整備費		予算区分	款 項 目 大事業	消防費 消防費 常備消防費 消防活動用機器整備費
総合計画	ビジョン	基本計画			基本事業
の体系	命を守ることが最優先	消	消防∙救急		消防体制の充実強化

### 事業目的

消防業務を取り巻く様々な事案に的確に対応し、消防体制の充実を図るため活動用機器を整備する。

#### 事業内容

- ○現場活動で劣化した消防用ホースや老朽化した潜水隊用ドライス一ツ、使用期限を越えた空気ボンベを 更新購入する。
- 65mmホース40本、40mmホース16本(合計2,227千円) 空気ボンベ 8本(862千円)
- -ドライス―ツ6着(1,036千円)

### 事業成果

劣化老朽化した消防用ホース・潜水隊用ドライスーツ、使用期限を越えた空気ボンベを更新購入することに より、隊員が安全のもと現場活動に従事することができ、質の高い住民サービスを提供することができた。

	決算額 (単位:千円)							
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分				
	計	4,130	4,125					
	国支出金							
事業費	県支出金	2,146 2,14						
→ 未 箕 	地方債							
	その他	1,468	1,468					
	一般財源	516	511					
その他財源の内訳 消防本部経費負担金 1,468千円								

老朽化した装備品や使用期限の切れた消耗品が原因で、隊員が怪我をすることなく安全に現場活動に従事 できるように、今後も計画的に更新購入を図り、さらなる安全・安心な住民サービスを提供できるようにする。

所属 防災•危機管理課

			款	消防費
事 業	中事業	予 算	項	消防費
名 称	備蓄資機材整備費	区分	目	災害対策費
		. , , ,	大事第	<b>〟防災施設整備費</b>

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	命を守ることが最優先	防災	防災体制および災害対策機能の強化

## 事業目的

地震や風水害などの災害時に被災者支援に必要となる備蓄用食糧及び資機材を計画的に整備する。

### 事業内容

### 〇飲料水、食糧等

- 飲料水(2,200箱: 29,800本) 4,540千円
- 7年保存レトルトパン(25箱:1,250食) 402千円
- 保存用ビスケット(50箱:3,000食) 540千円

#### 〇資機材

- -ゴムボート(4艇) 1,426千円
- ライフジャケット(32着) 113千円
- -トイレ用消耗品(30箱:200回分) 164千円
- 毛布(300枚) 867千円

### 事業成果

備蓄資機材等整備計画に基づき整備を行った。

# 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分
	計	23,963	21,187	
	国支出金	14,227	13,240	
   東 <del>樂</del> 弗	県支出金	1,581	1,581	
事業費	地方債			
	その他	7,677	5,935	
	一般財源	478	431	
		> 7 L I 4 I II + A AB 1 A		

新型コロナウイルス感染症緊急対策基金繰入金 2,696千円

### 今後の方向性

今後も引き続き備蓄資機材等整備計画に基づき、食糧、資機材等を整備していく。

所属: 防災・危機管理課

				款	消防費
事 業	中事業	予	算	項	消防費
名 称	避難行動要支援者名簿更新事業費	区	分	目	災害対策費
				大事業	避難行動要支援者名簿更新事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	命を守ることが最優先	防災	避難対策の推進

### 事業目的

災害発生時に要介護者や障害者等の避難行動要支援者の円滑な避難のためには、事前の準備を進め、迅 速に避難支援等を行う必要がある。そのため市では災害時の避難行動に支援を要する方を改めて把握し、名簿を作成するとともに、自主防災組織、自治会、民生委員等にも提供することで災害時に安否確認や避難 支援を的確に行える体制を構築する。

### 事業内容

### 〇避難行動要支援者名簿の作成

- ■印刷製本費 108千円
- 郵便料 2,103千円使用料及び賃借料 164千円
- 複合プリンタ使用料 28千円

### 事業成果

災害時の避難行動に支援を要する方を改めて把握し、名簿を作成するとともに、自主防災組織、民生委員な どに提供を行った。

### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分
	計	2,404	2,403	
	国支出金			
事業費	県支出金	1,114	1,114	
→ 未 其   	地方債			
	その他	1,290	1,289	
	一般財源			
その他財源の内訳 ふるさと応援基金繰入金 1,289千円				

### 今後の方向性

避難行動要支援者名簿の更新を定期的に行っていく。

所属 防災・危機管理課

			款	消防費
事 業	中事業	予 算	項	消防費
名称	防災拠点施設整備事業費	区分	目	災害対策費
		. , .	大事業	国土強靭化推進事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	命を守ることが最優先	防災	防災体制および災害対策機能の強化

## 事業目的

災害発生時における災害応急対策の円滑化を図るため、また平常時において、市民の防災に関する知識の普及及び防災意識の高揚を図るため、防災活動拠点を整備する。

### 事業内容

### <防災拠点施設整備>

- ○建築工事等152,813千円(繰越明許費)
- (手数料86千円、委託料5,055千円、工事請負費147,672千円)
- <資機材整備>

〇バッテリー式フォークリフト(2台) 2,519千円、かご台車(20台) 475千円、パレット(50枚) 135千円、医療 救護所用エアーテント(一式) 3,442千円、屋外テント(10張) 1,999千円、簡易無線機(10台) 116千円、非 常用発電機(三相200V)(2台) 1,947千円

### 事業成果

予定どおり契約を行い、事業に着手し、令和2年10月に完成、11月に開所した。

### 決算額 (単位:千円)

	<b>八</b> 开版 (十位·111)						
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分			
	計	194,341	185,670	152,813			
	国支出金						
事業費	県支出金	537	537				
争未复	地方債	172,600	164,500	152,500			
	その他						
	一般財源	21,204	20,633	313			
その他則	 オ源の内訳						

### 今後の方向性

引き続き、指定避難所に配送するために必要な資機材を整備し、施設の維持・管理に努める。

所属 防災•危機管理課

事業名称	中事業津波避難施設整備事業費	予算区分	款 項 目 大事業	消防費 消防費 災害対策費 国土強靭化推進事業費
	L*2*=> .	**************************************		甘士市米

 総合計画
 ビジョン
 基本計画
 基本事業

 の体系
 命を守ることが最優先
 防災
 避難対策の推進

### 事業目的

南海トラフ地震発生時の津波浸水想定等を踏まえ、地理的に津波からの避難が極めて困難となることが想定される地区(長島町伊曽島地区)に一時的な津波避難施設となる「津波避難誘導デッキ」を整備する。

### 事業内容

### <令和2年度>

- ▪契約
- -解体工事着手
- ※債務負担行為設定(令和2~4年度)

### 事業成果

- 令和2年度: 事業者と契約を締結し、事業に着手

### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分			
	計	34,500	34,500				
	国支出金						
事業費	県支出金						
争 未 負	地方債	33,300	33,300				
	その他						
	一般財源	1,200	1,200				
その他則	 オ源の内訳						

### 今後の方向性

令和3~4年度にかけて予定通り、設計、工事等を進め、一時的な津波避難施設となる「津波避難誘導デッキ」を整備する。

所属 : 学校支援課

事 業 名 称	中事業 学校指導体制支援事業費	予算区分	項 目	教育費 教育総務費 教育振興費 児童生徒指導事業費
総合計画	ビジョン	基本計画		基本事業
の体系	こどもを3人育てられるまち			豊かな心の育成

### 事業目的

いじめ・不登校・個別の支援・子どもの貧困等、教育現場における課題は多様化・複雑化しており、専門的で組織的かつ適切な対応・支援が求められている。そのため、幼児・児童生徒・保護者の不安や悩みを解消するとともに、福祉的な視点からのアプローチ等により、学習及び生活環境を整え組織的な支援体制を確立する。

#### 事業内容

<スクールソーシャルワーカー、以下SSW>市教育委員会に臨床心理士や社会福祉士等をSSWとして配置し、小中学校及び県立学校における福祉的なアプローチが必要な事案に対して、SSWが具体的な指導助言を行う。また、SSWによる福祉的なアプローチで学校、家庭、地域に働きかけるとともに、学校内外の専門家が、それぞれの立場の専門性を十分に発揮できるような環境整備に努める。

<スクールハートパートナー、以下SHP>SSWを中心とした支援体制のもと、SHPが小学校における日常的な見守りや初期対応の支援にあたる。

<教育相談員>学校生活・不登校・発達等について、臨床心理士・特別支援教育士等による相談窓口を設置する。

### 事業成果

<SSW>支援件数 令和2年度のべ664件、令和元年度のべ607件

問題を抱えた児童生徒の環境への働きかけ、関係機関との連携等を通じ、教育課題の解決を図った。学校内においては管理職、生徒指導担当者等を中心にチームで支援する意識づけを行い体制づくりを支援した。 <SHP>支援件数(派遣実施) 令和2年度のべ3,102件(36週)、令和元年度のべ2,929件(35週)

派遣実施を増やしたことで、支援件数が増加し、改善につながった。SSW・スクールカウンセラー(以下SC)等と連携を取り、気になる児童の見守りや相談を通して、初期対応支援にあたった。

<教育相談員>相談件数 令和2年度のべ366件、令和元年度288件

相談時間枠を105時間増やしたことで相談機会の確保につなげることができた。子ども本人とその保護者を対象に、子育て・発育発達・不登校等について相談を受け、カウンセリングや助言を行った。

### 決算額 (単位:千円)

1							
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分			
	計	11,829	11,586				
	国支出金						
事業費	県支出金						
□ 尹 未 其 □	地方債						
	その他						
	一般財源	11,829	11,586				
その他則	オ源の内訳		-				

#### 今後の方向性

本事業開始から4年が経過し、SSW等についての理解が深まり、多様な支援方法を用いて課題解決を図ってきた。しかしながら、学校現場が抱える課題が多様化・複雑化しているなか、専門的で組織的かつ適切な対応や支援が一層求められており、関係機関と協働して支援体制を整備してSSWをはじめ、SC・SHPの活用を図り、組織的な支援体制を充実させる必要がある。また、「教育相談員活用事業」が令和3年度より県費負担にて実施されたことを受け、生徒を身近な視点からも見守る活動が中学校へも拡大され、組織拡大による一層の丁寧な対応を図る。

所属 : 学校支援課

事業名称	中事業 英語教育プラン推進事業費			算 分	項目	教育費 教育総務費 教育振興費 児童生徒指導事業費
総合計画	ビジョン	其	基本計画			基本事業
の体系	世界に向けて開かれたまち	国際	祭理解教	<u></u> 教育		英語教育の推進

### 事業目的

グローバル化の進む社会において、自己実現をし、さまざまな人々と共生していくためのコミュニケーションカの育成を図るための英語教育が円滑かつ効果的に進められるよう、各小中学校において、指導方法及び指導体制の充実を図る。

#### 事 業 内 容

- ①市立小中学校において、桑名市英語教育プランを推進するため、外国語指導助手(ALT)、小学校英語教育支援員(JTE)を派遣し、授業の補助や指導教材の作成、校内研修の補助を行う。
- ②積極的に英語でのコミュニケーションを図り、交流する場として桑名子ども英語コンテストを行う。

#### 事業成果

- ①外国語指導助手(ALT:幼小中兼任3名・小専任1名)、小学校英語教育支援員(JTE:13名)を市内各校に派遣し、授業における指導の支援を行った。児童生徒が英語を使う喜びを味わい、異文化理解を深めた。また、小学校新学習指導要領全面実施となり、言語活動による実践力を重視するようになっている。そこで、既習語彙や表現をくり返し用いて、自らの考えや気持ちを伝える場において、担当教員と協力したALT、JTEの支援が、その教育効果を高めている。
- ②新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、桑名イングリッシュデーと桑名子ども英語コンテストを実施することができなかった。

決算額	(単位:	千円)
クトナーロス	\ <del>+</del>   <del>2</del> .	1 1 1/

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分	
	計	3,587	3,077		
	国支出金				
<b>声</b>	県支出金				
事業費	地方債				
	その他	1,008	1,008		
	一般財源	2,579	2,069		
その他則	その他財源の内訳 外国語指導助手家賃本人負担金 1,008千円				

### 今後の方向性

新学習指導要領に基づき、コミュニケーションの資質・能力向上を図るための授業改善をより一層推進するために、校内指導体制を確立し、研修を深める必要がある。

所属: 教育総務課

事業名称	中事業 教育ICT環境整備事業費	予算区分	B	教育費 教育総務費 教育振興費 教育情報化事業費
		基本計画		基本事業
		<b>学</b> 坛 <u></u>		数容環境の救備

### 事業目的

新学習指導要領で学習の基盤となる資質・能力に定義された情報活用能力を、桑名の子ども達が9年間の 義務教育を通して身に付けられるようにするため、市内小中学校におけるICT環境の整備を継続的に行って いく。

#### 事業内容

- ・新学習指導要領実施に伴い、文部科学省より示された「平成30年度以降の学校におけるICT環境の整備方 針」に基づき、市立小中学校のICT環境整備を継続的に行っていく。
- ・令和元年度に機器設定設置・ネットワーク構築を行い、令和2年度以降システム運用保守を行う。 ・端末については1年間のメーカー保証のみで運用するため、2年目以降の通常故障は修繕にて対応する。
- 日常的に授業や成績処理などの校務を行っている中学校非常勤職員分の校務用PCの配備を行う。

#### 事業成果

- 小中学校校内通信ネットワーク整備 373,450,000円(繰越分)
- -校務用PC、校務支援システム、普通教室無線LAN、学習用ソフトウェア、デジタル教科書、各校1クラス分 のiPad整備、保守業務 〈リース〉12,877,758円×12月=154,533,096円
- ■GIGA一人一台端末整備、端末保守、校内LAN拡張保守業務 〈リース・委託〉10,817,730円×3月 =32,453,190円
- ・ウイルス対策ソフト年間ライセンス 2.922.480円(36校分)、回線利用料 9.605.200円
- •校務用PC追加整備、設定業務(9台) 1,580,040円
- -ICTコーディネーターによる情報化支援 110,000円(年額)、校務用パソコン等修繕 776,346円、モバイルルーター(198台)及び液晶保護フィルム 2,671,020円

### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分				
	計	614,775	578,101	373,450				
事業費	国支出金	382,539	382,537	179,965				
	県支出金							
	地方債	227,300	193,400	193,400				
	その他	4,878	2,079					
	一般財源	58	85	85				
その他則	オ源の内訳	情報システム整備基金繰入金 1,967千円 新型コロナウイルス感染症緊急対策基金繰入 112千円						

### 今後の方向性

運用状況に応じて回線速度の増強を実施するなど、市立小中学校におけるICT環境の整備を継続的に行っ ていく。

所属 : 学校支援課

			款	教育費
事 業	中事業	予 算	項	教育総務費
名称	くわなの宝はまぐり体験事業費	区分	目	教育振興費
			大事業	SDGs推進事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	こどもを3人育てられるまち	学校教育	地域とともにある学校づくり

### 事業目的

桑名市におけるブランドの一つである「はまぐり」の歴史や、復活の取り組み等を学ぶとともに、干潟での潮 干狩りを体験することにより、『桑名の宝』である「はまぐり」を、同じく『桑名の宝』である子どもたちに伝えていく。

#### 事業内容

桑名の名産である「はまぐり」の生態や「はまぐり」漁の歴史等を学習する。干潟(城南沖干潟)で実際に潮干狩りを体験し、自然の恵みや環境保全等について学習する。

実施時期:10月15日開催

実施校数:9校(令和元年度9校)

### 事業成果

日進小・城南小・多度東小・多度中小・多度北小・多度青葉小・益世小・桑部小・在良小の5年生約440名が参加した。

「はまぐり」の生態や歴史、漁獲量の回復につながった地元の漁師さんたちの取り組み等についての事前学習と、実際の潮干狩り体験をあわせることができた。また現地で、漁獲量の回復までの取り組みや苦労されたことのお話を聞くことで、事前学習をより一層深めることができた。

### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分				
	計	1,498	1,488					
	国支出金							
事業費	県支出金							
争未复	地方債							
	その他	1,498	1,488					
	一般財源							
その他則	オ源の内訳	ふるさと応援基金繰入金 1,488千円						

### 今後の方向性

自然の恵みや環境保全の大切さを学ぶ企画として2年目を終えた。令和3年度の実施により全校実施完了するため、事業については一旦区切りとなるが、今後も桑名の子どもたちが地元の自然の恵みや環境保全等へ関心をもち学習を深められるよう努める。

所属 : 教育総務課

事業名称	中事業学校施設適正管理計画策定事業費			算 分	B	教育費 教育総務費 教育振興費 学校施設適正管理計画策定事業費
		基本計	画		基本事業	
		学校教	苔		数容環境の救備	

### 事業目的

学校施設の中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能・性能を確保するため、集約化・複合化を見据えた学校施設適正管理に関する計画の策定を行う。

#### 事業内容

学校施設の運営・活用・老朽化状況などの実態を調査し、施設整備の基本方針や整備水準を決定し、適正管理に係る集約化・複合化を見据えた改修等の優先順位付けによる計画の策定と継続費用の見通しなどの効果を検証する。

### 事業成果

学校施設の状況や将来的な需要見通しを踏まえ、効率的・効果的な学校別・施設別の事業方法を選定するとともに、長寿命化のための事業計画を定めることで、予防保全的な維持管理、計画的な修繕や改善等を通じてライフサイクルコストの縮減を図り、併せて長期的な視点から財政負担の軽減・平準化を図ることを目的として定めた。

### 決算額 (単位:千円)

	777 III							
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分				
	計	6,963	6,963					
	国支出金							
事業費	県支出金							
→ 未 其   	地方債							
	その他	6,963	6,963					
	一般財源							
その他財源の内訳		ふるさと応援基金繰入金 6,963千円						

### 今後の方向性

児童生徒数の変化、社会経済情勢、国の補助制度の動向、学校再編により、必要に応じて見直しを行う。

所属: 新たな学校づくり課

事 業 名 称	中事業 多度地区小中一貫校整備事業費		予算区分		款 項 目 大事業	教育費 教育総務費 小中一貫校費 小中一貫校事業費
総合計画	ビジョン	基本計画				基本事業
の体系	こどもを3人育てられるまち	<u> </u>	学校教育			教育環境の整備

### 事業目的

多度地区において施設一体型小中一貫校の整備を行い、学校を軸としながら、学校に特化した機能や地域 の方、保護者の方が活用できる機能等を複合化することで、地域全体で子どもの育成を支え、子どもたちの 生きる力が育つ学習環境の整備を目指す。

#### 事業内容

## 多度地区小中一貫校整備事業

- 計画地の用地の整理を行う。(現地測量、用地測量等)
- 学校施設等の意見聴取

目指す子ども像やそれを実現するために必要とする学校施設、教育に関わる内容について、 地域住民、保護者、教職員等の方々からご意見を頂き、基本計画の策定につなげていく。

計画地の用地取得を進めるための不動産鑑定を行う。

#### 事業成果

- ・地域協議会や各検討会、ワークショップ、懇話会等を行い、基本計画を策定した。・計画地の現地測量、用地測量を実施し、地権者に対して説明及び土地調書の取得を行った。 また、用地取得に向けた不動産鑑定及び物件補償調査を行った。

### 決算額 (単位·千円)

	( - L - 1 1 1 /							
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分				
	計	17,095	16,858					
	国支出金							
事業費	県支出金							
尹未复	地方債							
	その他	17,095	16,858					
	一般財源							
その他財源の内訳		地域振興基金繰入金 16,858千円						

### 今後の方向性

- ■基本構想・基本計画の実現を目指し、設計施工一括方式(DB方式)による事業推進を図るため、公募 資料を作成し、令和4年の早期に事業者の公募にかかれるよう進めていく。
- -計画地の地権者に対し、用地買収および物件補償の契約を締結し、令和3年度内の用地取得を目指す。

所属 : 教育総務課

			款	教育費
事 業	中事業	予 算	項	小学校費
名称	教職員働き方改革推進事業費	区分	目	学校管理費
		. , , -	大事業	学校管理運営費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	納税者の視点で次の世代に責任ある財政に・行財政改革	全員参加型市政に向けた組織力と職員力の向上・ヒト	職場環境の向上

### 事業目的

平成31年1月25日付文部科学省より「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」が示されたが、勤務時間終了後の電話対応は教職員の長時間労働の一因となっている。自動応答装置を導入することで教職員の負担軽減につながり、教職員一人ひとりが心身ともに健康を保ち教育に携わることができる環境整備や働き方改革の推進につなげる。

### 事業内容

市立27小学校に自動応答装置を設置し、業務時間外の電話応答を自動音声アナウンスに切り替える。 (市立9中学校においても、同様に予算計上を行っている)

### 事業成果

自動応答装置を導入することにより、勤務時間終了後の電話対応を抑制し、教職員一人ひとりが心身ともに健康を保ち教育に携わることができる環境整備を行った。

### 決算額 (単位:千円)

	<b>八</b> 升段 (十旦·11)							
		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分				
	計	2,165	2,165					
	国支出金							
事業費	県支出金							
→ 未 箕 	地方債							
	その他							
	一般財源	2,165	2,165					
その他則	 才源の内訳							

### 今後の方向性

自動応答装置の運用を継続し、引き続き教職員の働き方改革の推進につなげる。

所属: ブランド推進課

			款	教育費
事 業	中事業	予 算	項	社会教育費
名称	特別展示費	区分	目	博物館費
			大事業	ま ブランド推進事業費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	桑名をまちごとブランドに	文化・スポーツ	文化財の保護・活用

### 事業目的

令和2年が文化財保護法制定70年を迎える事を記念し、三重県ゆかりの刀剣に関する展覧会を開催する。 文化財は自然に残ったものではなく人の手によって残されたものであり、中でも刀剣は手入れをしないと錆び てしまうため、文化財保存について知っていただく上での好例である。

本展では村正をはじめとして三重県ゆかりの刀剣類を展示し、郷土の歴史と文化に興味を持っていただく事を目的とする。

### 事業内容

文化財保護法制定70周年記念特別企画展「三重刀剣紀行ー甦る村正の煌めきー」 各地より村正やその一門に関連する刀剣を借用し、その鑑賞を通じて文化財保護への理解を深めていただく。

会期: 令和2年10月17日(土)~11月29日(日) ※38日間 教育普及事業: 展示解説会(ほんぱく)、 博物館×図書館連携事業セミナー 主な借用先: 太宰府天満宮、京都国立博物館、四日市市立博物館、亀山市歴史博物館

#### 事業成果

入館料:500円 来館者数:2,973人 日数:38日間 図録販売数(期間内):525冊(購買率5.6人に1人)

村正の刀剣を中心に、地域で活躍した刀工の作品を紹介した。令和元年の研磨修理で漆が研がれた三重県指定文化財く太刀銘 村正>・く太刀銘 正重>(桑名宗社蔵)を公開した。コロナ禍での展覧会開催ではあったが、多くのお客様にご来館いただくことができた。

決算額	(単位:千円)
2 年 度	2

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分
	計	3,731	3,577	
	国支出金			
事業費	県支出金			
→ 未 項 	地方債			
	その他	1,723	1,981	
	一般財源	2,008	1,596	
その他財源の内訳		博物館使用料 763千円、T 文化事業助成金 500千円	刊行物等売払収入 718千円	1

### 今後の方向性

重要文化財等、普段見ることができない貴重な資料を展示・公開する特別企画展は、「地方公共団体は、その地域の特性に応じた文化芸術に関する施策の推進を図るように努める」という文化芸術基本法第4条及び第35条規定に基づき、桑名地域の豊かな歴史・文化の展覧会を開催(博物館法第3条)する事業であり、ふるさと桑名に対する市民の理解と愛情を育むとともに「桑名ブランド」の魅力を観光客へPRすることが出来る桑名市の観光文化の発展に不可欠な事業であることから、今後も継続的に開催していく。

所属 : 教育総務課

事業名称	中事業 施設維持補修費		予算区分		款 項 目 大事業	教育費 保健体育費 学校保健体育費 学校給食事業費
総合計画 ビジョン		基本計画			基本事業	
の体系	こどもを3人育てられるまち	<b>学</b> 校教育		教育環境の整備		

### 事業目的

自校式小学校給食施設は開設以来長期間が経過し、全校的に老朽化が進んでいる。学校給食の安全・安心な提供を維持するため、衛生管理上必要な施設維持補修を行う。

#### 事業内容

毎年度各小学校において給食施設および備品等の点検を実施している。調査結果を基に衛生管理上必要な施設修繕および給食備品等の交換を行う。

給食備品については高額な物が多いため、使用年数・耐用年数を考慮し、買い替え計画を立て、交換を行っていく。

補正予算としては、9月10日夜の豪雨により、久米小学校調理室が19cm程水に浸かったため、調理室内に設置の食器消毒保管庫3台(電気式2台、ガス式1台)の使用ができなくなったため、買い替えを行う。

## 事業成果

給食室の施設修繕、給食備品の買い替えを行い、安全・安心な学校給食を提供することができた。

<令和2年度> 需用費(修繕料):1,386千円 備品購入費:7,968千円

施設修繕として、給食室の床修繕、洗面器新設工事などの給食室修繕を実施した。 備品購入として、食器消毒保管庫、検食用冷凍庫、牛乳保冷庫、ガス回転釜等の給食室備品の買い替え・新設を実施した。

### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分			
	計	9,384	9,354				
	国支出金						
事業費	県支出金						
→ 未 其   	地方債						
	その他	9,384	9,354				
	一般財源						
その他財源の内訳		ふるさと応援基金繰入金 9	 ,354千円				

### 今後の方向性

今後も引き続き、衛生管理上必要な施設修繕および給食備品等の交換を行う。 給食備品についても買い替え計画をもとに、交換を行う。

所属 生涯学習・スポーツ課

			款	教育費
事 業	中事業	予 算	項	保健体育費
名称	国民体育大会開催準備経費	区分	目	社会体育振興費
			大事業	スポーツイベント関係経費

総合計画	ビジョン	基本計画	基本事業
の体系	桑名をまちごとブランドに	文化・スポーツ	スポーツ活動の支援

### 事業目的

第76回国民体育大会において、桑名市開催競技の円滑な運営を期するために必要な事業を行う。

#### 桑名市開催競技

正式競技 女子ゴルフ(令和3年9月26日(日)~28日(火))

公開競技 武術太極拳(令和3年9月18日(土)~19日(日))

### 事業内容

### 令和2年度

- ・三重とこわか国体桑名市実行委員会設立総会、第1回総会、常任委員会、専門委員会の開催
- -開催啓発活動
- 競技会場設営設計業務委託

### 事業成果

三重とこわか国体桑名市実行委員会設立総会、第1回総会、第1~3回常任委員会、第1~2回専門委員会を開催した。

市ホームページ内に国体特設ページを開設することや、啓発物品(ポスター、懸垂幕、顔出しパネル、EVラッピング等)を作製することで、国体開催の啓発に努めた。

三重とこわか国体開催記念ゴルフ大会を開催し、ゴルフ競技開催の周知・啓発に努めた。

競技会場等設営設計業務委託契約を締結し、ゴルフ競技会場のレイアウト及び必要物品の設営設計を実施した。

### 決算額 (単位:千円)

		2 年 度 予算現額(繰越含)	2 年 度 決算額(繰越含)	うち2年度決算額 繰越分			
	計	2,565	2,565				
	国支出金						
事業費	県支出金						
→ 未 項 	地方債						
	その他	2,565	2,565				
	一般財源						
その他財源の内訳		ふるさと応援基金繰入金 2	2,565千円				

### 今後の方向性

三重とこわか国体の開催に向けて、本市開催競技の円滑な運営を期するために必要な事業を実施していく。